

第三十五回 帝國議會 衆議院議事速記録第九號

大正三年十二月二十二日(火曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第八號 大正三年十二月二十二日

午後一時開議

質問

- 一 銀行業取締ニ關スル質問(人見米次郎君提出)
- 二 選舉人名簿調製ニ關スル質問(原真澄君提出)
- 三 對支外交ニ關スル質問(伊東知也君提出)
- 四 內閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問(橫田千之助君提出)
- 五 水產講習所移管ニ關スル質問(三浦寛一君提出)
- 六 移民政策ニ關スル質問(西村丹治郎君提出)
- 七 靜岡縣政ニ關スル質問(松城兵作君提出)

- 第一 衆議院議員選舉法中改正法律案(關直彦君外四名提出) 第一讀會
- 第二 蠶絲業法中改正法律案(高津仲次郎君外四名提出) 第一讀會
- 第三 營業稅法廢止法律案(高木益太郎君外五名提出) 第一讀會
- 第四 地租條例中改正法律案(高木益太郎君外四名提出) 第一讀會
- 第五 社寺上地下戻ニ關スル法律案(小川平吉君外一名提出) 第一讀會
- 第六 刑法中改正法律案(宮古啓三郎君外六名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第七 刑事訴訟法中改正法律案(宮古啓三郎君外六名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第八 軍人恩給法中改正法律案(森茂生君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第九 齒科醫師法中改正法律案(清水市太郎君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十 實用新案法中改正法律案(伊東知也君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十一 田畑地價修正ニ關スル建議案(有田溫三君外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十二 中學校ノ法制經濟科ニ關スル建議案(相島勲次郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十三 府縣稅及市町村稅制限ニ關スル建議案(石黑磐君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長)
- 第十四 陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案(石黑磐君外四名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十五 熱田神宮禮遇復興ニ關スル建議案(石黑磐君外二名提出)
第十六 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也君提出) (委員長報告)

○議長(奧繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案(第一號)大正三年度歲入歳出總豫算追加案(第四號)大正四年度歲入歳出總豫算追加案
臨時軍事費豫算追加案
一 貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
畜產組合法案
一 政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正三年十二月二十二日

內閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議長奧繁三郎殿

衆議院議員人見米次郎君提出銀行業取締ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員人見米次郎君提出銀行業取締ニ關スル質問ニ對スル答辯書
普通銀行ノ監督ニ就テハ從來成ル可ク法規上ノ拘束ヲ加ヘス自然ノ發達ニ委スルノ方針ヲ採リ來リタルモ我國銀行業ノ現狀ニ顧ルニ遺憾ノ點少ナカラサルヲ以テ之カ監督ヲ嚴ニスルノ必要ヲ認メ之ニ關スル經費増額ヲ大正四年度總豫算ニ掲上セリ貯蓄銀行ノ制度ハ不備ノ點少ナカラス近時据置預金等ノ名ヲ以テ長期預金ヲ取扱フ者簇生シ其ノ弊害少ナカラサルヲ以テ之カ取締ニ關スル改正法律案ヲ具シ本期議會ニ提出スル見込ナリ

右及答辯候也

大正三年十二月二十二日

大藏大臣若槻禮次郎

大正三年十二月二十二日

內閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議長奧繁三郎殿

衆議院議員小西和君外一名提出米價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員小西和君外一名提出米價調節ニ關スル質問ニ對スル答辯書
本邦主要食物タル米ノ價格屢々激變スルニ付テハ政府ニ於テモ之レカ調節ヲ圖ルノ必要アリト認ム而シテ目下其ノ平準ヲ保タシムル方法ニ付特ニ省內ニ委員ヲ設ケテ慎重審議中ニ屬ス
右及答辯候也

大正三年十二月二十二日

農商務大臣子爵大浦兼武

大正三年十二月二十二日

内閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議長奥繁二郎殿

衆議院議員八木逸郎君提出傳染病研究所移管ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書
差進候

(別紙)

衆議院議員八木逸郎君提出傳染病研究所移管ニ關スル質問ニ對スル答
辯書

一 傳染病研究所ノ移管ハ行政整理文政統一ノ趣旨ニ出ツ

二 傳染病研究所ハ傳染病ニ關スル學理ノ研究ヲ主タル目的トスルモノタルヲ以テ同シク醫學上ノ研究ヲ掌ル所ノ東京帝國大學醫學科大學ト十分ナル連絡ヲ保チ互ニ相扶ケテ研究上ノ進歩ヲ圖ルヲ適當トス故ニ研究所ハ明年度ヨリ現在ノ組織ノ儘之ヲ東京帝國大學ノ所屬トスルノ趣旨ヲ以テ先ツ之ヲ文部省ノ所管ニ移シタルナリ所謂文政ノ統一ナルモノハ即チ此ノ意味ニ外ナラス而シテ傳染病研究所ハ學理研究ノ外衛生行政ニ關スル事項ヲモ處理スルモノナル故ニ此等ノ事項ニ付テハ今後モ内務大臣ノ指揮監督ヲ受クルコト、シテ衛生行政上支障ナカラシメンコトヲ期セリ

三 傳染病研究所ノ移管ハ其ノ組織及研究方法ニ何等ノ變更ヲ及ボスモノニ非サルカ故ニ研究所ノ學術研究ニ對スル特性ナルモノアリトスルモ其特性ハ移管ノ爲ニ毫モ影響ヲ受クルコトナシ

四 質問ノ意若シ文政統一ノ意義如何トイフニ在ラハ第二ニ述ヘタル所ニ依リテ了承セラレタシ

五 政府ハ初ヨリ主トシテ傳染病ニ關スル學理ヲ研究セシムルカ爲ニ研究所ヲ設立シタルニ外ナラス而シテ今回ノ移管ハ益々此ノ研究ニ便セントスルモノナルカ故ニ毫モ研究所設立ノ歴史ニ背反スルモノニ非ス

六 移管ノ問題ハ内閣ニ於テ審議ノ上決定シタルモノナリ

七 移管ニ關シ研究所ノ當事者ノ意見ヲ徵セサリシハ前述ノ如ク今回ノ移管タル單ニ其ノ所屬ヲ改ムルニ止マリ内部ノ組織及研究方法等ニ何等ノ變更ヲ加フルモノニ非サルカ故ニ特ニ當事者ノ意見ヲ聞クノ必要ヲ認メサリシニ因ル毫モ學問ノ權威ヲ無視シ學者ヲ尊重セサルノ精神ニ非ス

八 質問ノ如キ事實ナシ
九 質問ノ如キ事實ナシ
右及答辯候也

大正三年十二月二十三日

内務大臣伯爵大隈重信
文部大臣法學博士一木喜徳郎

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

質屋取締法中改正法律案

提出者 光森 徳治君

運河法中改正法律案

提出者 漆 昌 巖君

衆議院議員選舉法中改正法律案

提出者 翠川 鐵三君

蠶絲業救濟補償法案

提出者 戸水 寛人君

米價調節所法案

提出者 高橋 光威君

羽越鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 加藤 勝彌君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

靜岡縣政ニ關スル質問

提出者 松城 兵作君

一 去十九日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

巡查看守退廳料及遺族扶助料法中改正法律案

相川 久太郎君

鈴木 巖君

清水 隆徳君

衆議院議員選舉法中改正法律案

則元 由庸君

熊谷五右衛門君

小泉 又次郎君

岸本 賀昌君

津島源右衛門君

大内 暢三君

早川 六三郎君

國光 五郎君

高野 金重君

原 眞澄君

齋藤 隆夫君

田中 善立君

三國港護岸施工ニ關スル建議案

松田 吉三郎君 熊谷五右衛門君
金子 圭介君 佐藤 信古君
本田 恆之君 山谷 虎三君
置賜輕便鐵道建設ニ關スル建議案外一件

長 晴 登君 遠藤 真吉君
高島 茂平君 早川 六三郎君
松村 時次君 伊東 知也君
瓦斯事業取締法制定ニ關スル建議案

稻茂登三郎君 佐藤 信古君
島田 俊雄君 堀内 啓治君
安東 敏之君 高木 益太郎君
棉花栽培獎勵ニ關スル建議案

井上 篤太郎君 三浦 盛徳君
金子 圭介君 西風 重遠君
山宮 藤吉君 青地 雄太郎君
大阪臨港鐵道速成ニ關スル建議案

三谷 軌秀君 秋岡 義一君
則元 由庸君 渡邊 祐策君
岩崎 安次郎君 相島 勘次郎君
港灣政務統一ニ關スル建議案

井上 敏夫君 米田 穰君
田代 進四郎君 福井 準造君
宇佐美 一實君 守屋 此助君
又去十九日印紙稅法中改正法律案外一件委員小山田信藏君辭任ニ付其補闕

トシテ高津仲次郎君、國債基金特別會計法中改正法律案委員本出保太郎君、同
委員西谷金藏君辭任ニ付其補闕トシテ堀切善兵衛君、兒玉亮太郎君ヲ議長ニ於
テ選定セリ

一委員長及理事左ノ通當選セラレタリ
大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案委員會
委員長 早川 龍介君 理事 増田 穰三君

農工銀行法中改正法律案委員會
委員長 恆松 隆慶君 理事 竹村 欽次郎君
巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案委員會
委員長 森田 俊左久君 理事 伊藤 英一君

衆議院議員選舉法中改正法律案委員會
委員長 則元 由庸君 理事 高野 金重君
三國港護岸施工ニ關スル建議案委員會
委員長 熊谷五右衛門君 理事 岸本 賀昌君
理事 八田 裕二郎君

棉花栽培獎勵ニ關スル建議案委員會

委員長 井上 篤太郎君 理事 青地 雄太郎君
大阪臨港鐵道速成ニ關スル建議案委員會
委員長 三谷 軌秀君 理事 相島 勘次郎君
銀行業取締ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

近來銀行業ノ監督緩慢ニ流ルルノ嫌アリ其ノ結果預金吸收ニ恐ルヘキ競争ヲ生シ
往々破産ヲ來シ一般財界ヲ紊亂シ其ノ弊頗ル大ナリ之ニ對スル當局者ノ取締方針
如何
右及質問候也

內閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正三年十二月十四日
提出者 橫田 千之助 贊成者 長 晴 登
外二十九人

內閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問主意書
一大正三年九月十八日內閣總理大臣 大隈伯カ東京市ニ於テ發行スル新聞紙ノ
主ナル記者八名ニ對シ外務省令第一號ノ旨趣ニ背戾スル事項ヲ記錄シタル覺書
ヲ交付シ及同十月六日全國新聞記者同盟俱樂部實行委員會十八名ニ對シ江水
內閣書記官長立合ノ上外務省令第一號ノ旨趣ニ背戾スル事項ヲ宣言シ其ノ實
行ヲ公約シタル行爲ハ內閣官制ノ規定ニ違反シ官紀紊亂ノ太シキモノナリト思料
ス政府ノ所見如何

一前掲二回ノ首相ノ宣言公約ニ依リ外務省令第一號ノ規定ニ基テ當局大臣ノ行
使スル權能ハ毫末モ拘束ヲ受ケサルモノナリヤ政府ノ所見如何
一內閣總理大臣大隈伯ノ行爲果シテ內閣官制ニ違反シタルモノナリトセハ總理大
臣以下各國務大臣ハ之ニ對シ如何ナル責任ヲ負ハムトスルヤ
右及質問候也

選舉人名簿調製ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正三年十二月十二日
提出者 原 眞 澄 贊成者 佐々木 文一
外三十八人

選舉人名簿調製ニ關スル質問主意書
市町村ノ公民權即チ市町村會議議員ノ選舉權ハ市制第二十一條、町村制第十八

際ニ市町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期シ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシト規定シタルヲ以テ各府縣ノ市町村長ハ選舉人名簿調製ニ際シ所得稅ノ如キハ毎年政府ノ決定ニ依リ異動アリト雖前年度分ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ年度分ノ決定ヲ見ルマデハ引續キ納稅資格アル者トシテ有權者ト見做シ來レバ慣例ナリシナリ之レ選舉權ヲ尊重スルノ趣旨ニシテ所得稅決定前ナルノ理由ヲ以テ納稅資格無シト斷定スルカ如キハ徒ニ理論ニ拘泥シテ事實完全ニ選舉權ヲ有スル者ニ對シ不法ノ推定ニ依リ貴重ナル選舉ノ權利ヲ剝奪スルノ結果ヲ生スルヲ以テナリ然レニ大正二年法律第十三號ヲ以テ所得稅法ヲ改正シタル結果納稅額ニ異動アルノミナラス納稅資格ヲ喪失スルモノヲ生シ岐阜縣ニ於テハ同年七月市町村會議員ノ選舉期ニ該當セルカ故ニ所得稅納稅者中納稅資格ヲ喪フモノアルヘキヲ豫想シ岐阜縣知事ハ大正二年四月十四日本件ニ對シ前年ノ納稅額ヲ以テ調査シテ可ナルヤ否ヤ內務省地方局長ニ回示ヲ請ヒタルニ地方局長ハ同年四月二十二日所得金額決定前ニ於テ納稅資格無キニ至リタル事實明瞭ナルヘキ答ナキニ付選舉人名簿調製ニ際シテハ前年度同一ノ狀態ニ在ルモノト推定調査スルノ外ナシト指示シタルヲ以テ之ニ依リ選舉ヲ執行シタルニ然ルニ岐阜市ニ於テ市會議員選舉ノ效力ニ關シ行政訴訟ヲ提起スルモノアルニ至リ其ノ主張ハ所得稅アルモノハ毎年政府ニ於テ決定スルモノナルヲ以テ其ノ決定以前ニ於テハ納稅資格アルモノト云フヲ得ス從テ岐阜市會議員ノ選舉當日大正二年七月三日ハ未タ大正二年度所得稅ノ決定ナカリシヲ以テ地租又ハ所得稅以外ノ直接國稅ニ依リ選舉權ヲ認メラレタル者ハ納稅資格アルモノト云フヲ得スト云フニ在リ之ニ對シ行政裁判所ハ左ノ如キ判決ヲ與ヘタリ其ノ要旨ハ

直接國稅ノ納稅資格及其ノ稅額ハ各稅法ノ規定ニ依テ定マリ當該官廳ノ爲ス決定ハ唯其ノ事實ヲ認定スルニ止マルノミナラス所得金額ノ決定及賦課ハ各年分各別ニ爲スモノナルヲ以テ當該官廳ノ右決定ヲ爲ス以前ト雖當該年分法定ノ所得金額ナキコト明ナル者ハ假令前年分法定ノ所得稅額ヲ納メタル者ト雖市制第九條ノ適用ニ於テハ當該年分ノ所得稅額ヲ納メタル者ニ非スト謂ハサルヲ得ス又前年分法定ノ所得稅額ヲ納付シタル者ニシテ事實上當該年分モ法定ノ所得稅額ヲ納付スヘキモノハ亦之ヲ當該年分所得稅額ヲ納ムル者ニ非スト云フヲ得スト云フニ在リ爲ニ市會議員八名ノ當選無効トナレリ

以上ノ事實ニ依リ政府當局ニ問ハムト欲スル所ハ市制第二十一條、町村制第十八條ニ依リ市町村長カ選舉期日前六十日ヲ期シ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ認メ名簿ヲ調製スルコトヲ得ヘシト認レバ否所得稅額ノ決定ハ毎年八月ニシテ營業稅額ノ決定ハ五月ナリ徵稅事務ノ收稅官吏各々自ノ納稅額決定ハ二三箇月ノ日子内ニ確定スルヲ得ス戸口少キ町村ニ在リテハ少數ノ日子ヲ以テ納稅資格ノ有無ヲ町村長カ調査シ得ルコトアルヤ知ルヘカラサルモ戸口數萬ノ市ニ在リテハ到底斯ノ如キ決定ヲ市長カ爲スコト至難ニシテ行政裁判所ノ判決ニ據ルモノトスレハ大都市ニ在リテハ所得稅營業稅ノ納稅額異動者多數ヲ出シ選舉人名簿ナルモノハ完全ニ作成スル能ハサルナリ衆議院議員ノ選舉權ニ關シ本件ノ如キ疑義ニ付大正元年十二月二十五日東京控訴院ニ於テハ

所得稅ニ關シテハ未タ其ノ年度ノ所得金額ノ決定無キ場合ハ前年度ノ納稅額ヲ標準トスヘキモノト解セサルヘカラストトシ其ノ理由トシテ「其ノ年ノ所得金額決定ニ至ル間ニ於テ選舉ヲ行フ場合ニハ第三種ノ所得ニ關シテハ專ラ前年度ノ納稅

額ヲ標準トシ同法第八條第三號ニ所謂仍引續キ納ムルモノナルヤ否ヲ決セシムルコトカ右法律ノ條意ナリト解セサルヘカラストレハ若シ之ヲ然ラストセムカ未タ其ノ年度ノ所得決定ナキカ爲メ前年度ノ所得額ニ基キ選舉人名簿ニ選舉人トシテ登錄セラレタル者カ實質上仍引續キ納稅義務ヲ負擔スルモノナルヤ否ヲ知リ難キ結果斯ク義務アル者ノミヲシテ投票ヲ爲サシムルニ由ナク從テ到底有效ノ選舉ヲ行フ能ハサルヘケレハナリ

結論シタル若夫行政裁判所ノ如キ解釋ナリトセハ有效ニ選舉ヲ執行スル能ハサル結果ヲ生シ自治團體ハ選舉ニ次クニ選舉ヲ以テセサルヘカラスト之レ自治行政上憂慮スヘキコトナリトス行政裁判所ハ當該官廳ノ決定以前ト雖所得金額ナキコト明ナル者ハ云云ト云フモ其ノ明ナルトハ何ヲ以テ之ヲ認定シ得ルカ選舉人ノ財產狀態ヲ個々別ニ調査シテ之ヲ認定スルノ意ナルカ果シテ然ラハ人事複雜ナル現社會ニ於テ殊ニ第三種所得ノ如キ種々雜多ノ所得ヲ包含スルモノニ對シ當局者カ選舉人名簿調製ノ際ニ一々調査シ得ルヤ都市ニ於テハ不可能ノ事實ニ屬ス況ヤ本件ノ疑點ハ所得稅ノミナラス決定以前ニ於ケル營業稅ニ對シテモ亦適用セラルニ於テオヤ而シテ假ニ調査シ得ルストスルモ法律上根據ナキ調査當局者ノ推定ニ依リ貴重ナル選舉權ヲ否認セララルニ於テハ誰カ之ニ服從スルモノアラムヤ其ノ結果ハ選舉人名簿ニ對スル異議ノ申立ナリ確定權アル當該官廳ノ決定ヲ待ツノ外ナク從テ其ノ期間ニ爲シタル選舉ノ大部分ハ之カ影響ヲ被ルモノト認メサルヲ得ス何トナレハ所得稅營業稅ノ如キハ毎年多少ノ變動ヲ免カレサルモノナルカ故ニ如何ニ頭腦明晰ナル當局者ト雖當該官廳ノ決定以前ニ於テ之ト符合シ誤ラサル認定ヲ爲ス能ハス本件ハ事選舉權ノ有無ニ關スル重大問題ナルト選舉界ニ影響スル結果亦至大ナルヲ認ムルカ故ニ實例ヲ舉ゲテ質問ヲ提出セル所以ナリ

更ニ質問ノ要點ヲ列舉シテ其ノ答辯ヲ望ム
一 政府ハ納稅ノ選舉權ニ關スル法律ノ解釋何故ニ一定セサルカ
二 行政裁判所カ市會議員選舉ノ效力ニ關シ大正三年十月二十七日決定ヲ與ヘタル新判例カ將來我カ國縣、郡、市町村會議員ノ選舉ヲ擾亂シ建訟ノ弊ヲ惹起シ延テ自治團體ノ發達ヲ阻害スルノ虞無シト認ムルヤ否
三 若行政裁判所ノ新判例ヲ適當ナリトセハ現行市町村制ノ法條ニ依リ市町村ノ行政當局者ハ容易ニ選舉人名簿ヲ調製シ得ルモノト認レバ否
四 若又市町村制ノ法條不備ナリトセハ政府ハ之カ改正ヲ爲スノ意アリヤ否
右及質問候也

對支外交ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正三年十二月十一日
提出者 伊東 知也

贊成者 關 直彦
外三十二人

對支外交ニ關スル質問主意書
青島稅關長任命事件ニ關シ北京駐劄英國公使「ジョルダン」氏ノ行動ハ英國外相「グレイ」氏ヨリ我カ駐英井上大使ニ交附シタル覺書ト矛盾シ甚シキモノト思惟ス我カ當局ノ之ニ對スル所見如何又現ニ如何ナル處置ヲ執リツツアルヤ
右及質問候也

水産講習所移管ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年十二月十四日

提出者 三浦 覺一

賛成者 吉田 虎之助

外三十三人

水産講習所移管ニ關スル質問主意書

一 政府ハ世運ノ進歩ト時代ノ趨勢ト鑑ミ實業教育ハ産業主管ノ官省ニ直屬セシムルヲ可トスルノ意ナキ乎

二 本移管ハ名ヲ學制ノ統一ト財政ノ整理ト藉リテ實業教育ノ精神ヲ滅却スルモノニ非サル乎

三 大隈首相カ本問題ニ關シ村田保其ノ他ニ内約セシ事項如何

四 政府ハ本移管ニ依リ水産教育ニ關シ大缺陥ト水産事業ノ啓發振興ニ大障害ヲ生シ且政費節約ノ主旨ニ反スルモノト認メサル乎

右及質問候也

移民政策ニ關スル質問主意書

大正三年十二月十七日

賛成者 關 直彦

外三十二人

移民政策ニ關スル質問主意書

一 政府ハ曩ニ我カ移民ハ滿韓ニ集中スルノ方針ナリト聲明シタリ今尙此ノ方針ヲ執リツアルヤ

二 濠洲ニ於ケル移民制限法ノ撤廢若ハ之カ改正ニ付何等カノ手段ヲ執リシコトアリヤ若シ之レナカリシトセハ今後ノ方針如何

三 明治四十一年以來墨西哥移民ヲ絕對ニ禁止セリト云フ其ノ理由及今後ノ方針如何

四 近時「ブラジル」ニ於テ排日思想起ラムトスルノ傾向アリト聞ク果シテ然ル乎若然リトセハ之ニ對シテ防止ノ手段ヲ執リツアル乎

五 加州土地法ニ關スル六月以後ニ於ケル交渉ノ經過如何

右及質問候也

靜岡縣政ニ關スル質問主意書

大正三年十二月十九日

賛成者 清 峯太郎

外三十二人

靜岡縣政ニ關スル質問主意書

靜岡縣知事湯淺倉平カ大正三年度追加豫算及大正四年度豫算ニ對シ縣會ハ決議ヲ無視シテ遂ニ二十二萬餘圓ノ原案執行ヲ稟申シタルニ内務大臣ハ之カ認可ヲ與ヘタリ其ノ理由如何

右及質問候也

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス、若槻大藏大臣ヨリ演說ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス——若槻大藏大臣

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

(拍手起ル)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 諸君、大正三年臨時事件ニ關スル經費ノ追加豫算ガ、昨日本院ニ提出ニ相成リマシタ、仍テ此機會ニ於テ大體ヲ説明シテ御紹介スルガ、昨有シマス、臨時軍費豫算追加ニ計上シテアリマス所ノ金額ハ一千八百八十二萬四千八百圓アリマシテ、大正三年度及同四年度ニ亘ッテ一般會計カラ繰入レル金額ヲ以テ之ヲ支辨スル計畫アリマス、又第一號ノ大正三年度歳入歳出總豫算追加ハ計上シテアリマス、私ハ臨時軍費特別會計ニ繰入ルベキ三千三百三十四萬四千圓ト、臨時事件豫備費二百二十萬圓合計千五百一十三萬三千四百四十圓アリマシテ、前年度剩餘金五百二十八萬八千三百五圓、並ニ陸海軍經常軍費ニ於テ時局ニ關シ臨時軍費支辨ニ移リマシタモノ、アル爲ニ、不用ニナツタ金額ガ九百九十五萬二千三百二十五圓アリマスカラ、此二ツノ財源ヲ以テ支辨スル計畫デアリマス、尙第四號大正四年度歳入歳出總豫算ノ追加ニ計上シテアリマス所ノ金額ハ、臨時軍費特別會計繰入金八百七十九萬七千三百六十圓ト、臨時事件豫備費四百四十萬圓ト合セテ二千三百九十九萬七千三百六十圓デアリマシテ、是ハ皆前年度剩餘金ヲ以テ支辨スル計畫デアリマス、今ヤ時局ニ關スル軍事ノ行動ハ、我陸海軍ノ武勇ニ依リマシテ既ニ其大半ヲ了シ、相當ノ成功ヲ收ムルコトヲ得タノデアリマス、併ナガラ占領地ノ守備ハ尙將來ニ向ッテ之ヲ完ウセヌケレバナリマセヌ、又海上ノ警戒モ未ダ全ク之ヲ撤廢スルコトガ出來ナイノミナラス、機ニ臨ミ變ニ應ジモ還算ナキコトヲ期セヌケレバナリマセヌ、而シテ臨時事件ニ關シ各省ニ於テ施設セル諸般ノ事項ニ付テモ、尙引續キテ是ガ經費ノ支出ヲ要スルコトガアルノデアリマス、是ガ臨時軍費及臨時事件豫備費ノ追加豫算ヲ要求シタ次第アルノデアリマス、諸君、私ハ諸君ガ慎重審議速ニ御協賛ヲ御與ヘニナラント希望致シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 內閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問——横田千之助君

○伊東知也君 議事ノ進行ニ付テチヨット質問シマス、此公報ニ列記セラレタ順序ニ依ッテ質問セラレナイノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) ソレハ日程第一ノ銀行業取締ニ關スル質問ハ、答辯ガ出タノデ別ニ質問ガアリマセヌ

○伊東知也君 第二第二ガアリマス

○議長(奥繁三郎君) ソレカラ日程第二ノ選舉人名簿調製ニ關スル質問、原眞澄君、此方ガ横田君ト順ヲ換ヘルト云フ御申出ガアリマシタ

○伊東知也君 サウデスカ、ソレナラ宜シウゴザイマス、分リマシタ

四 內閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問(横田千之助君提)

(横田千之助君登壇)

(拍手起ル)

○横田千之助君 諸君、私ハ質問ノ趣意ヲ辯ズルニ先チマシテ一言御斷リラシテ置カナケレバナラヌコトガアル、私ハ質問ノ第一項ハ、既ニ豫算委員總會ニ於テ內閣總理大臣ニ向ッテ此質問ヲ發シタモノデアリマス、併ナガラ之ニ對シテ內閣總理大臣ハ正面ノ御答ガナクテデアリマス、是ニ於テ餘儀ナク書面ヲ以テ提出スルノ已ムヲ得ザル次第ニナツタデアリマス、而シテ第二ニ御斷リシテ置カナケレバナラヌコトハ、此質問ノ趣意タルヤ、單ニ法律命令ノ解釋ニ付テ些末ナ點ヲ爭フノデアリマセヌ、今日ノ時局ニ於テ、

今日ノ國家重大ナ立場ニ入リテ居ル際ニ於テ、内閣總理大臣ノ行動心術ガ、苟クモ大政ノ統一ト云フコトヲ誤ルト云フコトニナタナラバ、非常ナル重大ナル危險ヲ國政ノ上ニ與ヘルモノト私ハ信ズルノデアリマス、(「ヒヤ、」ト呼フ者アリ)加之内閣總理大臣ノ心術輕佻ニシテ浮薄ニシテ漫リニ宣告ヲ爲シ、濫リニ聲明ヲ爲スト云フコトガアツタナラバ、其危險實ニ測リ知ルベカラザルモノデアリマス、此ニ於テ私ハ深ク此點ニ付テ内閣諸君ノ熱慮、内閣諸公ノ熟慮ヲ仰ギ、總理大臣ノ良心ノ響キヲ聞カウト云フコトガ本件ノ質問ノ趣意デアリマス、大正三年九月十六日ニ外務大臣加藤高明氏ハ、新聞紙法二十七條ガ外務大臣ニ授ケタルコロノ權限ニ依リテ、國交ニ關スル新聞紙ノ記事論說ノ掲載ニ付テ或ル制限ヲ加ヘタノデアリマス、其制限ハ即チ協約國同盟國ニ對スルコロノ記事論說ニ付テハ、外務省ノ認可ヲ受ケタ上テナケレバ掲載ヲサセナイ、議長、チヨット書類ヲ自席ニ忘レテ來マシタ

(「横田千之助君議席ニ赴キ再ヒ登場」)

(「ユックリヤリ給」ト呼フ者アリ)

○横田千之助君 然ルニ加藤外務大臣ノ提出致シマシタコロノ——發布シタコロノ省令ニ對シマシテ、東京市ニ於ケルコロノ發行スル新聞紙ノ記者八名ト云フモノハ、非常ニ心配ヲセラレテ、總理大臣ニ對シテ是ガ改廢ノコトヲ交渉セラレタモノト見エラマシタ、斯ウ云フ覺悟ト云フモノヲ渡サレタノデアリマス、外務省令第一號存續中ニ雖モ新聞紙ニ對スル取締ハ殊更ニ嚴シク方針ニアラバシテ、大體從前ト差違ナク外交ニ關スル新聞紙ノ議論批評主張等ハ總テ自由ナリ前條ノ省令ハ適當ナル機會ニ於テ消滅ニ歸セシメント期ス、是ガ要項デアリマス、斯ノ如キ聲明ヲセラレタノデアアルガ、全國新聞同盟俱樂部ノ代表者十八名ハ是等ノ人ノ交渉ニ満足ヲシマシテ、十月六日如キ生溫キ交渉デハイカスト云フモノハ、更ニ實行委員ト云フモノヲ選ビマシテ、十月六日ニ内閣總理大臣ト其官邸ニ於テ會見ヲ遂ゲタノデアリマス、會見ヲ遂ゲタ結果此參考書ヲ忘レテ參リマシタガ、要スルニ其趣意ハ大體ニ於テ其取締ト云フモノハ、新聞紙ノ取締ト云フモノハ、從來ト差違ガナイ外交ニ關スルコロノ記事論說等ハ自由ニ記載シテモ宜シ、斯ウ云フ意味ノコトヲ聲明サレタノデアリマス、十月十八日——九月十八日ニ於ケルコロノ有志ノ記者ニ對スルコロノ聲明ト云フモノハ、是ハ或ハ情誼上現内閣ニ同情ヲ表シテ居ルコロノ記者諸君トノ私話ト見ルコトモ出來ルカモ知レマセ、併ナガラ十月六日ニ於ケルコロノ全國新聞同盟記者俱樂部ノ十八名ノ人ト云フモノハ、全國ニ於ケルコロノ言論機關ノ代表者トシテ首相ニ面會ヲ求メタモノデアリマス、而シテ其席ニ於テハ首相ノ高等行政ニ參與スベキコロノ内閣書記官長ガ立會ツテ居ルデアリマス、ノミナラズ其終リ方ニハ——聲明ノ終リ方ニハ此聲明ト云フモノハ、此宣言ト云フモノハ、之ヲ外務大臣ニ通告シ、而シテ當局ノ此事ヲ取扱フトコロノ官吏ニ向テ内訓ヲ與ヘルト云フコトガ書イテアルデアリマス、此ニ至リテ此仕事ガ單純ナルトコロノ私人ノ對話談論ニアラズシテ、内閣總理大臣ガ國家ノ事務トシテ全國ノ言論機關ノ代表者ニ向テ、一ノ公約ヲナシタト云フコトノ色彩ヲ以テ闡明ニナタモノデアリマス、諸君、内閣ノ官制ヲ見ルニ「内閣總理大臣ハ各大臣ノ首班トシテ機務ヲ奏宣シ旨ヲ承ケテ行政各部ノ統一ヲ保持ス」ト云フコトニナツテ居リマス、内閣官制ノ最も主ナル要點ハ、行政各部ノ統一ニアルデアアル、總理大臣ニシテ行政各部ノ統一ヲ少シニテモ緩メルト云フガ如キ考ノ人デアッタナラバ、此時ニ於テ此人ノ心事ハ既ニ總理大臣ニ適セヌト云フコトヲ證明スルモノデアリマス、而シテ官制ノ又一箇條ニ「内閣總理大

臣ハ須要ト認ムルトキハ行政各部ノ處分又ハ命令ヲ中止セシメ勅裁ヲ待ツコトヲ得」ト云フコトガアリマス、即チ部下ノ行政長官ノ所爲ガ若シモ總理大臣ノ認メテ以テ不當トシタ場合ニハ、之ヲ差止メテ置イテ、勅裁ヲ待タケレバナラヌデアアル、總理大臣大隈伯ニシテ眞ニ外務大臣ノ外務省令ヲ發布ト云フモノヲ、國政ノ上ニ宜シカラズト認メタナラバ、何故此勅裁事項ニ對シテ勅裁ヲ受ケルトコロノ相當ノ手續ヲ執ラナカッタデアアルカ、勅裁ヲ受ケベキ事項ヲ勅裁ヲ受ケシテ勅裁ヲ受ケルトコロノ同様ノ所作ヲシテ、部下行政長官ノ行動ヲ拘束シタト云フモノハ何事デアアル、之ヲシモ官紀紊亂ト云フコトガ出來ナカッタナラバ、世ノ中ニ官紀紊亂ト云フコトハ私ハ無カラウト思フデアアル(「ヒヤ、」ト呼フ者アリ)此點ニ付テ總理大臣ノ明確ナル答辯ヲ得タモノデアリマス、或ハ總理大臣ハ斯ウ云フ答辯ヲセラル、カモ知レヌ、一回ノ宣言聲明ハ單ニ外務省令ノ運用ニ關スル手加減ニ付テノ言明ニ過ぎナイ、外務省令ノ内容ト其勸ニ毫末モ影響デイモノデアルト云フコトヲ言フカモ知レヌ、然ラバ——然ラバ問ハシ、即チ第二ノ質問ガ其處ニアルトデアリマス、有志記者八名ノ人ハ私ハ論外ニ措キマス、全國ノ言論機關ノ代表者トシテ精義軒其他ニ數回ノ會議ヲ開イテ、サウシテ總理大臣ノ官邸ニ、書記官長立會ノ上交渉ヲシタ人々ハ、外務省令ノ廢止ヲ以テ目的トシテ動イタ人ニデアアル、此人ミガ唯其運用ニ付テノ手加減ニ付テノ首相ノ言明ヲ聞イテ阿容ミ退イタカドウデアアル、記者十八名ノ實行委員ノ人ノ報告書ヲ見マスルニ云フト、確カニ斯ウ云フコトガアリマス、吾ミハ内閣總理大臣ノ口カラ明白ク地ニ國家ノ法令ヲ無効トスルノ宣言ヲ聽ケリト云フコトガ明記シテアリマス、之ヲ首相ノ聲明ト外務省令トノ内容ニ對照シ來レバ、實行委員諸君吾ガ欺カズデアアル、明ニ其趣意ハ外務省令ヲ打消シテ居ルデアアル、打消シテ居ルデアアルガ、政府ガ詭辯ヲ弄シテ若シモ唯運用手加減ニ付テノ訓示若クハ注意ヲ與ヘタモノト云フテ逃ゲルナラバ、内閣總理大臣ハ全國數千數百ノ言論機關ノ代表者ニ向テ、甘言巧辭ヲ以テ一時ヲ瞞過シタト云フコトニナルデアアル、斯ノ如キ事ハ内閣總理大臣ノ立場カラ爲スベキモノデアリマス、ガ尙且然リト答辯スルノ勇氣有リヤ否ヤト云フコトガ第二ノ質問ノ要點ニナルデアリマス、第三ノ質問ノ趣意ハ、總理大臣ノ行為ガ質問ノ第一ニ觸レタモノ第二ニ觸レタモノ、第一ニ觸レタ場合ニハ最モ然リ、内閣總理大臣及此部下ノ内閣諸公ハ如何ニ此場合ニ於テ責任ヲ取ラントスルデアラウカ、私ハ豫算委員總會ニ於テ或ハ大分縣ノ郡書記ノ首ヲ九名職ツタ、町長助役若クハ村長ノ認可ガ何箇月過レタト云フ質問ガアリマス、是等ノ事ハ問題外デアアル、總理大臣自ラ官紀ノ紊亂ヲ疑ヒ立派ニアルトコロノ内閣ノ下ニ、官紀ノ引締ト云フモノガ出來ル譯ノモノデアリマス、有司百官ヲ率井全國ノ大小ノ官吏ニ向テ號令ヲ爲スベキ立場カラ、斯ノ如キ不當ナル處分ヲ爲ストコロノ總理大臣ノ下ニ、現内閣ノ政綱トシテ掲ゲタトコロノ官紀ノ振肅ハ思ヒモ寄ラヌモノト私ハ考ヘルデアリマス、現内閣ノ諸公ハ統一トカ或ハ振肅トカ云フコトニ付テハ、非常ニ念ヲ入レテ居ル人ニデアアル、其口舌ノ上ニハ確ニ念ヲ入レテ居ル人ニデアアル、論ヨリ證據、委員總會ニ於テ滿鐵重役解職ノ事ニ付テノ質問應答ノ速記録ヲ諸君ハ御覽ニナルガ宜シ、滿鐵ノ總裁副總裁野村伊藤ノ兩氏ヲ解職シタノハドウ云フ譯デアアルカト言ヘバ、即チ職務ノ不統一ト云フコトデアアル、職務ノ不統一ト云フ内容ノ事實ハ何デアルト尋ネテ見ルト云フト、理事ノ一人犬塚某ナル者ガ氣紛レニ自由行動ヲ執ルト云フコト一時放言シタル事蹟ガアル、但シ其自由行動ナルモノハ變テ溫泉場ノ滞在トナリ、更ニ轉ジテ東京ノ本社ニ出勤シテ忠實ニ事務ヲ執ツテ居タト云フコトノ事蹟モアツタデアアル、併ナガラ現政府ハ現内閣ハ此行爲ヲ以テ社務ノ不統一ナリシテ、仙石眞君ナドガ覺束ナゲナルトコロノ法律命令論ナ

ドラ振廻シテ、サウシテ敢テ野村伊藤ノ正副總裁ニ向テ解職ノ事ヲ斷行シテ居ルノデアル、諸君、斯ノ如ク統一好キ振舞好キノ現内閣ハ、總理大臣ハ外務大臣加藤高明氏ノ省令發布ニ對シテ爲シタル此行爲ニ對シテ、如何ナル處置ヲ執ラウトスルノデアルカ、私ノ最モ聽カントスル所デアル、時局最モ重大ニシテ危險ナリト云フノハ、現内閣ガ二個師團ヲ増加サレントスルコトノ惟一ノ與ノ手デアル、與ノ手デアルガ、時局最モ重大ニシテ危險ナルガ故ニ、行政ノ統一最モ注意セザルベカラズ、之ガ新聞記者諸君ニ向テ爲シタルコトノ宣言聲明カラ宜シイノデアル、若モ外務大臣ノ上ニ立ッテ居ルトコロノ總理大臣ガ、國際關係ニ於テ斯ノ如キ輕佻浮薄ノ聲明若クハ宣言ヲシタルバドウデアリマセウ、豫算委員會總會及本會議ノ質問應答ノ狀態ニ依テ國民不安ノ狀況ガ躍然トシテ議場ニ現レテ居ルノデアリマスガ、其現レテ居ルトコロノ要點ヲ捉ヘレバ、何カ國民ノ知ラヌ宣言若クハ聲明ガ大ニ國家ニ累ヒテ掛ケヘセカト云フコトガ、危險ノ要點ニナッテ居ルヤウデアリマス、尤モデアル、國家ノ善惡ニ付テ之ヲ處置スルニ付テ最モ注意ヲシナケレバナラヌトコロノ此省令ノ勅ニ付テ、發布ノ善惡ハ別問題デアル、此省令ガ國家ノ關係ヲ變理スルニ付テ重大ナル省令ノ勅ヲ決スルノニ、總理大臣ト主務大臣ノ扞格顛倒ト云フコトハ斯ノ如ク國民ノ面前ニ暴露サレテ居ルノデアル、此暴露サレル所ノ狀態カラ推シテ以テ、國民ガ此内閣ノ外交其他各般ノ方面ニ向ッテ、幾多ノ危懼ヲ懷クト云フコトハ、私ハ疑フ者ガ當然ニシテ、此疑ヲ否定スル者ガ大ナル誤リナリト論斷スルニ憚カラヌデアリマス、内閣諸公ハ此質問ノ内容ニ含マレテ居ル事柄ハ、内外諸政ニ向ッテ國民ノ疑惑ガ含マレテ居ルト云フコトノ主意ニ於テ、諸君ハ又質問ニ對スル答辯ガ此疑ヲ解決スルヤ否ヤト云フコトヲ期待スル意味ニ於テ、諸公ノ答辯ヲ待タレンコトヲ希望シテ此壇ヲ降リルコトニ致シマス

(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 對支外交ニ關スル質問——伊東知也君
○伊東知也君 私人名前ハ「トモヤ」デゴザイマス、以後御注意ヲ願ヒマス

三 對支外交ニ關スル質問(伊東知也君提出)

○伊東知也君 私人當局ノ對支外交ノ失敗トモ申シマセウカ、現ニ懸案中ニナッテ居ル一事件ニ就テ、聊カ質問ヲ試ミタイ思ヒマス、ソレハ何デアルカト云フト、我が忠勇義烈ナル軍隊ト陸軍大臣ノ所謂或程度ニ於テ勇敢ナル英吉利軍ノ參加ニ依テ占領シタル所ノ青島、其處ノ稅關長ノ任命事件ニ關係シタコトデゴザイマス、獨逸ガ支那政府ト約束シテ支那政府ニ於テ之ヲ任命セキ手續ニナッテ居ルノデアリマス、所ガ我が帝國政府ガ青島ノ稅關長ヲ推舉シテ支那政府ニ任命シテ貰ハウトシタル所ガ、案外ナリ妨ガ起ッタルデアリマス、諸君、私ハ外務省ノ報告ニ依テ之ヲ言フノデアリマセウ、私ハ私ニ有スル所ノ偵察機關ノ報告ニ依テ、之ヲ土臺トシテ言フノデアリマスカラ其御積リ願ヒマス、其報告ニ依リマスル我國カラ推薦シテ支那政府ニ任命サセヤウトシタル稅關長ト云フモノハ、英吉利ノ政府ニ取ッテ餘リ面白クナイ人デアッタラシイ、此ニ於テ平私ノ聞ク所ニ依リマスレバ、英吉利ノ公使「ジョルダン」ト云フ人ガ何カ手ヲ入レテ多少其妨害ヲシ、青島ハ開放スルガ宜カラウ、稅關長ハ日本人ト英吉利人ト兩方カラ出シテヤッタ宜カラウト云フヤウナ策ヲ講ジタラシイ、併ナガラ我當局モ如何ニシテモ是ニハ屈服シナカッタデアリマス、サウシテソレハイケナイ言ッテ割付ケタ所ガ、何ゾ圖ラン今度ハドウ手ヲ廻ハシタカ知ラヌガ、支那政府ガ日本ニ何等ノ交渉モナクシテ、直接ニ直ニ青島稅關長ト云フモノヲ任命シテマッタデアリマス、然ルニ或ハ英吉利人ヲ任命スル

トカ、佛蘭西人ヲ任命スルカト云フコトデアラナラバ、多少喧嘩ニモナルカモ知ラヌガ、唯日本ニ鼻ヲ明カサセヤウト云フ考カラヤッタデアルカラ、現ニ大連ノ稅關長デアル立花政樹ト云フ日本人ヲ持テ來テ、グイト青島ノ稅關長ニ任命シテシマッタ、多少日本政府ハ鼻ノ毛ヲ拔カレタヤウナ氣味ガアッタデアリマス、是ニ對シテ私ノ偵察スル所ニ依レバ、此芝居ト云フモノハ一ニ北京ニ居ル所ノ英吉利ノ「モリソン」博士及「ジョルダン」公使ノカラクリニナッテ居ルト云フコトヲ確メタルデアリマス、併ナガラ諸君、私ガ此質問書ヲ出シテヨリ後二日バカリ過ギテカラ、此北京ノ各新聞ニ此青島ノ稅關長任命問題ニ關シテイロノノ事ガ記載サレタルデアリマス、ソレニ依リマス、日本政府及英吉利ノ公使モ共ニ支那ノ當局ニ翻弄セラレテ、支那政府ガ日本ト英吉利ト喧嘩ヲサセテ、其間ニ廿イコトヲシヤウト云フ考カラ、ア、云フ突飛ノ馬鹿氣タコトヲヤッタデアルト云フコトガ、東京朝日新聞其他ノ新聞ニ記載サレタシタ、私ハ或ハ是ガ事實デナイカ知ラヌト一時ハ疑ッタガ、之ヲ信用スベキカ其新聞ノ記事ヲ信用スルニハ、餘リ私ハ當局ガソレ程マデニ意氣地ガナイトハ私ハ思ハヌデアリマス、如何ニ我が外務當局無能ナリト雖モ、此新聞ニ掲載シタルガ如ク、アノ殆ド力ノ無イ勢ノ無イ支那政府ノ翻弄ニ一任シテ、ア、云フ馬鹿氣タ真似ヲサレタルマデニ無能ナル外交ヲシテハ居ラヌト、私ハ其位ノ程度ニ於テ外務當局ニ信用ヲ拂ッテ居タルデアアル、若シ新聞紙ノ記事ガ若シ事實トシタルバ、英吉利ノ堂々タル大英國ノ全權公使「ジョルダン」及我が堂々タル大日本帝國ノ外務大臣初メ、北京駐劄公使其他ト云フモノハ、彼ノ力ノ無イ何等ノ勢モ無イ所ノ支那政府ニ翻弄サレタルコトヲ結果ニナルデアリマス、是程マデ無能ナリト私ハ當局ヲ思ウテ居リマセウ、マデ幾ラカヤララウト信用シテ居ル、ソレデカラ是ニハ何カ事情ガアッタモノダラウト思フ、サウシテ見レバ私ノ偵察ニ依ル所ノヤハリ此陰ニハ英吉利ガ潛シテ居タルコト云フコトハ、私ハ當局ニ信用ヲ拂フ程度ニ於テ事實ト認ムルデアリマス、而シテ若又數百歩ヲ讓ッテ此新聞ニ記載サレタヤウナコトガ事實デアッタシタルバ、是レコソ殆ド我が外務當局ナルモノハ、ド位無能デアルカ分ラヌデアアル、アノ支那ノ政府ニ翻弄セラレ、而モ英吉利ノ全權公使モ皆一緒ニ愚弄セラレテ、ア、云フ馬鹿ノ真似ヲセラレタ云フコトハ殆ド考モ及バヌ所デゴザイマス、諸君試ニ御覽ナサイ、稅關長ノ任命ト云フモノハ、例ヘバ青島ナラ我が日本ノ推薦ニ依テ支那政府ガ承認シ、サウシテ支那ノ總稅務司ガ之ヲ任命スルコト云フ人デアッテ、諸君ノ御承知ノ一番初メニ總稅務司ニナッタル「ロバートハート」其人ニ代ッテ「ブレイネン」ト云フ人ガナッタ、其「ブレイネン」ト云フ人ガ本國ニ引揚ノ際ニマダ漢口ノ稅關長デアッテ、一向下デアル今ノ「ブレイネン」ト云フ人ヲ引上ゲテ總稅務司ニシタルデアアル、從ッテ此現在ノ總稅務司ナル者ハ一ニ「モリソン」博士デアルトカ「ジョルダン」公使ノ指先ニ使ハレテ、唯々諸公命ヲ奉ズルコト云フ人デアリマス、然ルニ英吉利ノ公使ニモ「モリソン」博士ニモ何等相談ナクシテ、青島ノ稅關長ヲ、唯支那ノ言ヒナリ放題ニヤッタト云フコトハ、是ハ到底信用ノ出來ナイ話デアリマス、私ハ此一青島ノ稅關長ノ任命問題其モノニ重キヲ措クモノデアリマセウ、併ナガラ我當局ノ支那ニ對スル措置、事々物々此ノ如ク機先ヲ制セラレ、或ハ英吉利デアルトカ、或ハ獨逸デアルトカ、佛蘭西デアルトカノタメニ、殆ド事々物々機先ヲ制セラレテ、我國威ヲ輝シ國力ヲ發展シテ、大陸ニ延ビテ行クトコロノ力ヲ漸次壓抑サレツ、アルノデアリマス、現ニ此小問題——此小サイ問題デスラモ私ノ信ズル所ニ依レバ、英吉利ニ翻弄サレテ居ル、若シ新聞紙ノ報告スルトコロニ依ッタナラバ、支那ノ政府ニ翻弄サレタ結果ニナッテ居ルノデアリマス、諸君、英吉利ハ我尊ブベキ同盟國デアルガ、一度北京ニ行ッテ

御覽ナサイ、彼ノ國ガ我國ノ支那大陸ニ發展スルコトニ付テ、或ハ嫉妬デアルカ或ハ排擠デアルカ知ラヌガ、有ラユル手段ヲ用テ妨害ヲ加ヘツ、アルコトハ顯著ナル事實デアリス、ドウデス、南滿洲東蒙古ト云フモノハ日本ノ勢力範圍デアルト云フコトヲ、諸君モ認メ政府モ之ヲ公言シツ、アルデアリマセヌカ、然ルニ何ゾ今日新聞デモ御覽ニナツタデアリマセウガ、曾テ朝陽ヨリ喇嘛廟ニ至ル、最モ有力ナル東蒙古鐵道ハ英吉利ノ手ニ歸シタト云フ噂デアル、又聞ク所ニ依レバ此項北京ヨリ熱河ニ至ル鐵道モ英吉利ノ手ニ歸シタト云フ噂デアル、即チ過日申シマシタガ津浦線ノ北段、若シ之ヲ日本ノ手ニ收メナカッタナラバ、山東鐵道ト云フモノハアデモ役ニ立タヌト云フヤウナ結果ヲ來スノデアルガ、此津浦ノ北段モ將ニ英吉利ノ手ニ歸シツ、アラントスル有様デアリマス、若シ津浦線ガ一度英吉利ノ手ニ歸シタナラバ、彼ハ上海ヨリ南京ニ出デテ津浦鐵道ニ依ッテ北京ニ行キ、開外線ニ依ッテ我奉天ヲ衝ク恐レモゴザイマス、商業上、工業上、到底日本ハ大陸ニ發展ノ餘地ガナイ、南ニ於テハ長江一帶英吉利ノ勢力トシテ押付ケラレ、北ハ此鐵道ノ橫斷ニ依ッテ排擠サレントスル形勢ヲ呈シテ居リマス、同盟モ結構デゴザイマセウガ、愚弄サレ翻弄サレト云フコトハ同盟ノ趣意デナカラウト思ヒマス、能ク此邊ノコトハ當局ニ於テ調和ヲ取ッテヤラナケレバナラス、然ルニ此今度ノ小サナ稅關長任命問題ニ見マシテモ、殆ドヤハリ依然トシテ彼ノ操リニ委セ、彼ノ愚弄ニ任ズル有様ヲ呈シテ居ル、嘆ハシイ次第デアリマス、諸君、我當局ハ排日問題、支那ノ排日熱ガ盛デアル、排日ガ盛デアル、何トカ歡心ヲ得ナケレバナラヌト云フコトヲ常ニ申シマスガ、排日ノ根據、排日ノ根元ト云フモノハ何所ニアルカト云フコトヲ確カメラレス、確カメテ居ラヌト信ズルノデアリマス、唯支那人ノ表面ニ立ッテ日本ニ向ッテ排日ヲ鼓吹スル、或ハ新聞デ書ク、或ハ「ボイコット」ヲヤルコト云フコトハ、單ニ表面ニ現ハレタ一小事實デアツテ、其背面ニハ之ヲヤラセ之ヲ操縱スル彼ノ大ナル人形遣ガアルト云フコトニ御氣付ガナイデゴザイマセウカ、諸君、申スマデモナイコトデゴザイマスガ、我仲哀天皇ノ時代ニ熊襲ガ頻リ九州ヲ荒シ廻ツタ、トコロガ仲哀天皇ガ之ヲ御征伐ニナツタガ、熊襲ヲ征伐サレテ不幸ニシテ矢ニ當ツテ御崩御アラセラレタ、其時ニ我神功皇后ハドウデス、熊襲ヲ征伐シテモイカヌ、熊襲ノ後ロニ立ッテ居ル所謂人形使ナル新羅ヲ征伐シナケレバナラヌト云ツテ、海ヲ渡ッテ新羅ヲ征伐セラレタ、以後熊襲ノ亂ハ直ニ平定シタデアリマセヌカ、是ト同ジデアル、支那ノ排日ト云ツテ表ニ現ハレタ事ノミニ纏繞スルナシ、膏藥貼リヲシテ居ッテモ到底駄目デ、ドウシテモ是ハ所謂排日ノ根元タルコロノ、其後ロニ潛ンデ居ルト云フ人形遣ノ首玉ヲ押ヘナケレバ、到底排日思想ハ撲滅スルコトガ出來ナイノデアル、私ハ此一小事實、稅關長問題ハ今尙我當局ト支那政府トノ間ニ交渉中デアルト云フコトハ承知シテ居リマス、併ナガラ是ハ或ハ甘ク落著スルカ知ラヌガ、此事實茲ニ現ハレタ一小事實ヲ以テシテモ、我當局ノ支那ニ對スル政策ガ甚ダ緩慢デ、根本問題ニ觸レテ居ラヌト云フコトヲ御忠告申シ、旁、此問題ヲ質問スル次第デゴザイマス

(拍手起ル)

○議長(奥繁二郎君) 諸君、唯今ヨリ地租條例中改正法律案ノ特別委員會ノ委員長ヨリ、委員會ヲ開キタキ旨ノ許可ヲ請ハレマシタガ、是ハ許シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(奥繁二郎君) 御異議ナシト認メテ之ヲ許シマス、次ノ質問ニ移リマス、選舉人名簿調製ニ關スル質問 原眞澄君

二 選舉人名簿調製ニ關スル質問(原眞澄君提出)

(原眞澄君登壇)

○原眞澄君 私人質問ハ壇上ヲ踏張ルコトノ出來ヌ極メテ活氣ノナイ選舉人名簿調製ニ關スル件デゴザイマス、ソレハ市町村ノ選舉人名簿調製ニ關スル件デゴザイマス、事ハ輕微デアツテ或ハ一見愚問ノ如キ感ガアルカモ知レマセヌガ、其影響スルコロハ全國一般ノ町村長ガ此點ニ付テ疑感ヲ懷イテ居ルノデゴザイマス、質問ヲ提起シタ次第デゴザイマス、ソレハ市制ノ第二十一條ト町村制ノ第十八條ニ「市町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スル」是デケデゴザイマシテ何等疑義ヲ挟ム餘地ハナイヤウデゴザイマス、此點ニ付テ質問スルニ先チマシテ暫ク事實ヲ語ル、必要ガゴザイマス、其實例ヲ舉ゲテサウシテ質問ニ及ウト思ヒマス、ソレハ昨年大正二年ノ七月岐阜縣ニ於テ市町村會議員ノ選舉ヲ行ヒマシタノデ、サウ致シマス、七月選舉デアルガ故ニ其六十日以前、五月ニ於テ選舉人名簿ヲ調製スルニ當リマシテ、岐阜縣ノ知事ハ從來ノ慣例ニ依ルト、市制第九條ニ依リ直接國稅及地租ヲ納メル所謂公民權ヲ有スルモノハ、前年ノ納稅額ヲ以テ選舉人名簿ヲ調製スルコトヲ慣例デアアルケレドモ、昨年ハ所得稅法ノ改正ニ依リマシテ稅額ガ輕減サレタガタメニ、所得稅ノミヲ以テ納稅トスルモノニ選舉權ヲ有シナイモノガ出來ルカモ知レナイト云フコトヲ豫想シテ、是ハ選舉人名簿調製ノ際ニハ何レノモノヲ舉ゲテ調製シテ宜イカト云フコトヲ、內務省ノ地方局長ニ問合セタトコロガ、當該官廳ノ決定以前ニ際シテ、何人ガ納稅者デアアルカト云フコトハ分ラナイカラ、ソレハ從來ノ慣例上、從前納稅シテ居ル者ハ尙引續イテ納稅シテ居ル者ト看做シテ、選舉人名簿ヲ作レト云フ答ヲシタデアリマス、ソレハ岐阜市ニ於テハ、岐阜市長ハ尙此點ニ就テ所得稅ガ輕減サレテ四百五十圓以上ノ納メナイ者、及官吏ナド單ニ所得稅額ノミヲ以テ選舉權ヲ有スル者ガ、官職ヲ罷メラレタガタメニ俸給ヲ取ラナクナツタヤウナ者ハ、如何ニシテ之ヲ控除スベキカト云フコトヲ縣廳ニ問フタトコロガ、縣廳ノ當局者ハ是モヤハリ內務省ノ地方局長ノ答ト同ジク、前年納稅シタ者ハ、尙引續キ納稅スベキ者ト見テ選舉人名簿ヲ調製スベキモノト云フコトヲ答ヘテ居リマス、ソレニ據テ選舉人名簿ヲ調製シタノデゴザイマス、トコロガ選舉ノ結果、異議者ガ出來テ、訴願ヲシ、市會及縣參事會ノ裁決ニ服セシテ行政裁判所ノ審判ヲ仰グコトニナツタノデゴザイマス、其結果トシテ行政裁判所ハドウ云フ判決ヲ下シタカト云フ、其要點ハ「直接國稅ノ納稅資格及其稅額ハ各稅法ノ規定ニ依テ決定マリ當該官廳ノ爲メ決定ハ唯其ノ事實ヲ認定スルニ止マルノミナラス所得金額ノ決定及賦課ハ各年分各別ニ爲スモノナルヲ以テ當該官廳ノ右決定ヲ爲ス以前ト雖該年分法定所得金額ナキコト明カナル者ハ假令前年分法定所得稅額ヲ納メタル者ト雖市制第九條ノ適用ニ於テハ當該年分所得稅額ヲ納メタル者ニ非スト謂ハサルヲ得ヌ又前年分法定所得稅額ヲ納付シタル者ニシテ事實上該年分モ法定所得稅額ヲ納付スヘキモノハ亦之ヲ當該年分所得稅額ヲ納ムル者ニ非スト云フヲ得ヌ」斯ウ云フコトデ、其結果トシテ二級選舉當選者ガ十名、中デ八名無効失格シタデアリマス、斯ウ致シマス、所得稅決定ハ八月デアアルガ、其以前ニ掲ゲタ者ハ假令前年分納メテ居アモ其者ハ選舉權ヲ有シナイコトニナル、ソレハ市町村長ハ如何ニシテ名簿ヲ作ルカト申シマス、據ルベキ所ガナイガタメニ、豫メ小サナ町村役場ニ於テハ調査ガ出來マスガ、大都市ニ至ッテハ如何ナル者ガ今年所得稅額ヲ納メナクナルカ判定ガ付カヌ、殊ニ第三種ノ所得稅ニアリマシテハ、種々難多ノモノガ含マレデアリマス

定ヲ與ヘタ、此判例ガ將來我國ノ縣會議員、郡會議員、市町村會議員ノ選舉ヲ攪亂シテ、健訟ノ弊ヲ惹起シ、延テ自治團體ノ發達ヲ阻害スルノ虞ハナイデアラウカ、此點ニ付テ明ニ御答ヲ願ヒタイ、第三ニハ若シ行政裁判所ノ此判例ガ適當デアラナラバ、現行ノ市町村制ノ法條ニ依リ、市町村ノ行政當局者ハ容易ク選舉人名簿ガ是デ出來得ルト認ムルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデアリマス、第四ニハ若又市町村制ノ法條ガ不備デアルト云フナラバ、政府ハ之ニ向テ改正ヲ爲スノ意ガアルカ否カ、之ヲ承リタイノデアリマス、ツレカラ此質問趣意書ニハ書イテハゴザイマセヌガ、是ト相關聯シテ居ルコトデアリマスカラ、モウ一ツ第五シテ質問ヲ致シマス、ツレハ當選者ノ選舉ノ無効ト云フ場合ニ、投票數ノ控除ノ仕方デゴザイマスガ、是ハドウ云フ仕方デアルカト云フト、有志ニ於テ此市會議員ノ當選失格者ト云フ者ハ、此所得稅及外ノ事實ニ於テ資格ナキ選舉人ガ投票シタルモノト云フノガ四十三票アル、此四十三票ヲ如何ニ配合シテ之ヲ控除シタカト云フト、是ハ先例モアルサウデゴザイマスガ、次點者ノ最高數ヲ標準ト致シマシテ、當選者ノ最少數ノ得點者ヨリ四十三票ヅ、ノ無効票ヲ漸次引イテ行キマシテ次點者ノ最高點ヨリモ少數ナルマデ引イテ十名ノ中デ八名失格シタト云フコトニナリマス、サウ致シマスルト此控除ノ仕方ニ依レバ、四十三名ノ無効投票ガアツタガ爲ニ四十三票ヅ、八人引カレマスルト三百四十四票ト云フ票數ニナツテ、全ク二百票ト云フモノハ傍枝ヲ食ツテ無意味ニ投票數ヲ引カレタ結果ニナリマス、若シ是モ適當デアルトスレバ致方ガアリマセヌガ、ツレナラバ何故ニ此次點ノ方ニ於テモ必ズ次點者ノ投票ハ神聖ナルモノデアッテ、當選者ノ投票ノミ失格シタ者ガ——有權者デナイ者ガ投票シタト云フコトガ明言ガ出來マセヌカラ、均シク次點者ニ於キマシテモ引クベキガ當然ノヤウニ思ハレマススケレドモ、次點者ガ其儘ニシテ置イテ、當選者ニ於テ四十二票ヅ、引イテ、而モ二百票ガツレガ爲ニ無意味ニ傍枝ヲ食ツテ、神聖ナル投票ヲシタト云フ投票ガ無効ニナッタ結果ニナツテ居リマス、是ハ總テノ選舉ニ於キマシテ無効投票ノ仕方ガ斯ノ如キモノガ適當デアルカドウデアルカト云フコトハ、明カニ御回答ヲ願ヒタイ、能ク分リ切ツタヤウナコトデアリマススケレドモ、地方ノ市町村長ニ於テハ此點ニ付テハ非常ニ疑義ヲ懷イタ者ガ澤山ゴザイマスカラ、是ハ問題ハ小ナルガ如キコトデアリマススケレドモ、政府ニ於テ明カニ此解釋及本員ガ提起シタル質問ニ付テ御答ヲ願ツテ置キマスケレドモ、全國各府縣ノ自治體ノ行政執務者市町村長ガ之ニ由テ——此方針ニ於テ歸著スル所ガアツテ進ムコトガ出來ルカラ、其利益ハ多大デアラウト思ヒマス、故ニ茲ニ質問ヲ致シマシタ次第デアリマス、第一カラ乃至第五マデ明カニ書面デモ口頭デモ宜シイカラ御答ガ願ヒタイノデアリマス、私ノ質問ハ是ダケデアリマス

(拍手起ル)

○議長(奥鑒三郎君) 次ハ水産講習所移管ニ關スル質問——三浦覺一君

五 水産講習所移管ニ關スル質問(三浦覺一君提出)

(三浦覺一君登壇)

○三浦覺一君 私ハ實ハ斯ク云フ空席ニ向ッテ質問ヲ發シタクナイノデアリマス、文部大臣竝ニ農商務大臣ノ御出席ノアル時ニ實ハ質問ヲ致シタイト思ヒマシタケレドモガ、今日ノ時局ヲ鑑ミマスレバ今日私ハ與ヘラレタル時ニ於テ質問ヲ致シマセネバ、時間ガナایت云フコトヲ考ヘマス、故ニ唯今議長ノ宣告サレタル質問ニ付テ説明ヲ少シ致サネバナラヌト思ヒマス、實ハ水産講習所移管ニ關スル事柄ハ、此質問モ實ハ本日モ遅レタル感ガアリマスノデ、豫算ノ提出サレタル其當時ニ於テ實ハ質問ヲ致シタイト思ヒマシタケレドモガ、是モ時間ガ許シマセヌデ遂ニ今日ニナツタノデゴザイマス、私ガ此問題ニ付テ聽

(九)

キタイコトハ、何故ニ水産ノ教育ニ關スルコトヲ文部省ニ移サネバナラヌ必要ガアルト云フコトヲ第一ニ聽キタイノデゴザイマス、文部大臣ハ先達テ竹越君或ハ吉植君カラノ質問ニ對シテ、傳染病ノ移管或ハ水産講習所ノ移管ノ問題ハ、文政ノ統一行政財政ノ整理ノ爲ニスルノアルト云フコトヲ申サレタガ、傳染病研究所移轉問題ノ如キハ、既ニ其結果ガ詰ラズシテ馬ヲ殺シテ居ル、此水産講習所ノ如キハ、此移管問題モ強イテ之ヲ遂ゲヤウトスレバ、即チ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノデアル、往々文政統一デアル財政整理デアルト申シマスケレドモ、文政ノ統一ガ出來マシテモ其目的ヲ達スルコトガ出來ナカッタラバ、何ニモナラヌノデアリマス、又此問題ガ財政整理ノ一端デアルト云フケレドモ、財政整理ノ一端デハナイ、寧ろ却テ經費ヲ増スベキ問題ガ茲ニ生ズルノデアル、又文部大臣ハ先達テ此席ニ於テ各省ノ職司ヲ明カニスルコトガ即チ行政整理ノ大切ナル問題デアルト云フケレドモ、此問題ヲ決行致シマシタナラバ却テ此職司ヲ明カニスルドコロデハナイ、職司ヲシテ益々紛雜ヲ來サセル所ノ問題ニナルノデアル、況ヤ此水産講習所ハヤハリ北里君ガ經營サレタル所ノ傳染病研究所同シヤウナ歴史ヲ有テ居ルノデアリマシテ、唯政府ノ人等ガ文政統一デアル、今度自分等ノ内閣ニナツタカラ直チニ取上ゲテ自分等ノ好キニ致スト云フ單純ナル問題ノ爲ニ、之ヲ解決スルコトガ出來ナイノデ、又許サレヌ問題デゴザイマス、全體我國ハ四面海ヲ環ラシテ居テ、其水産物ハ澤山アルケレドモ、此會ノ起リマシタ當時ニ於キマシテハ、實ニ此水産ト云フモノハ幼稚ナモノデアル、世間カラハ漁師デアル、水産デアルト云フデ少シノ注意モ拂ハズ、寧ろ輕蔑ヲ受ケタル際ニ於テ、實ハ我國權ニモ關スル問題ガ反對ニ起ツタノデアル、即チ米國ノ密獵船ノ如キ或ハ英國ノ密獵船ノ如キハ我近海ニ來テ盛ニ鰐虎、鰐鰩ヲ獲リ、若クハ捕鯨ヲ致シテ密獵ヲ致シタノデアリマス、水産ガ振ハザルノミナラズ自分ノ近海ニ於テハ米國ヤ英國ノ密獵船カラ自分等ノ國權マデモ侵サレルト云フヤウナ情ケナイ時代ニ當リマシテ、先づ先輩ノ村田保君等ガ此水産ノ必要ナルコトヲ絶叫サレテ水産會ヲ起シテ、唯水産バカリデハイカナイ、是非トモ此水産ニ從事スル者ノ教育ヲ致シテ有望ナル水産ヲ振興セバナラヌト云フコトニナツテ、明治二十年頃デゴザイマシタラウ、水産會ヲ起シサウシテ此水産ニ從事スル者ノ教育ヲ、ヤハリ農業若クハ工業或ハ其他ノ商業ノ如キ子弟ノヤウニ、同様ニヤハリ水産ニ從事スル者ノ教育モシテヤラネバナラヌト云フコトニナツテ、サウシテ此水産會ノ會頭ニハ小松宮殿下ヲ奉戴致シマシテ、此宮殿下ハ非常ニナツテ、方ニ御熱心デアラレテ御盡力下サレマシテ、遂ニ私立ノ講習所ヲ起シテ、即チ今申シマシタ所ノ水産ノ子弟ヲ教育スル所ノ場所ヲ造ル、此時分ニ於テハ非常ニ微々トシテ其教育ノ機關モ振ヒマセヌノデゴザイマシタケレドモ、故宮殿下ハ何時モ其粗末ナル講習所ノ卒業式ナドニ御出デニナリマシテ、必ズ令旨ヲ賜ッテ水産ノ御獎勵ヲ遊バサレ、段々進デ參リマシタケレドモ、尙ホ一向振ヒマセヌ明治二十六年ニハ遂ニ此議會ノ建議ニ基イテ政府モ稍、水産ニ注意ヲ拂フコトニナリ、又力ヲ入レルコトニナリマシテ、僅カノ金ヲ以テ此講習所ナルモノニ補助ヲ與ヘルコトニナリマシタ、ツレ段々進シテ參リマシテ、明治二十年ニハ遂ニ初メテ此講習所ト云フモノガ國立ノ國費ヲ以テ支辨スルコトニナリマシタ、左様ナレ歴史ヲ有テ居リマスルカラ、此講習所ノ卒業式ニハ農商務大臣ノ主管デアリマス、講習所ノ卒業式デハゴザイマスルケレドモ、今日尙ホ宮殿下ガヤハリ御臨場ニナリマシテ、御令旨ヲ賜ハルト云フヤウナル歴史ヲ有テ居ルノデアリマス、故ニ唯文政ノ統一デアルトカ、財政ノ整理デアルトカト云フヤウナル事柄ノミヲ以テ之ヲ直チニ決行スルト云フコトハ、此一點ニ於テモ許サナイノデアリマス、又況ヤ其移シタル事柄ガ宜シケレバ宜シイケレドモ、私共ハ決シテ宜シウナイト思ヒマス、前ニモ申上ゲマス

通りニ、即チ角ヲ矯メテ所謂牛ヲ殺スヤウナル結果ニ陥ルノデアリマス、何故ナラバ水産ノ教育ハドウシテモ其實地ト云フコトガ大切デアリマス、是ハ獨リ水産教育バカリデハナイ、一體ニ此實業教育ト云フモノハ實際の人物ガ出來レバ宜イノデアリマシテ、唯高等ナル學校ニ出テ先生カラ教ヲ受ケテ、ツレガ口ノ人バカリニナツテ、實際腕ノ人ガ出來ネバ何ニモナラヌノデアル、今日文部省ノヤツテ居ル實業教育ト云フモノハ之ニ類スルコトガ多イノデアリマス、現ニ農學校ノ卒業生デアル、私共ノ縣ニアル農學校ニ致シマシテモ、農學校ニ出シタナラバ却テ農業ノ方ニハ從事シナイ、必ズ百人ノ卒業生ハ百人トモ縣廳ノ雇ニシテ吳レロ、或ハ何處ノ巡回教師ニ採用シテ吳レト云フ、折角父兄ハ農業ノ教育ヲサセルタメニ學校ニ出シタコトガ、今度ハ反對ニ自分ノ家モ繼ガナイ、家業モ繼ガナイ、又實際ニ農業ニモ從事シナイ、所謂高等遊民ヲ殖シテ居ルデハアリマセヌカ、是ハ獨リ農業バカリデナク總テ實業教育ト云フモノハ、今文部省ノヤツテ居ルノハ斯様ナ傾ガアル、名ハ宜シイ、實業教育ヲ盛ニスルト云フコトヲ始終仰シタルケレドモ、實業學校ヲ出テ者ガ實際實業ニ從事シテ居ル者ガアリハシナイ、皆卒業生ハドウカト云フコトヲ給料取りニナル、夫等ガ口ガナイト云フハ遂ニ是ガ高等遊民ニナツテシマフ、名ハ實業教育ト云フケレドモ事實ノ上ニ於テハ所謂高等遊民ノ製造所見タウニナツテ居ル、ツレデ實業教育ト云フモノハ農業ノ教育デアレバ、百姓ニナルニ必要ナル學科ヲ教ヘテ貰ヘバ宜イ、又水産ニ從事スル者ガ水産ノ教育ヲ受ケルト云フノハ、水産ノ學者ニナルノデハナイ、實際ニ水産ノ仕事ノ出來ル人間ヲ養フノデアル、又生徒モ其意味ヲ以テコソ學校ニ來テ居ルノデアル、高等遊民ニナルヤウナ教育ヲサレテハ堪リマセヌケレドモ、今文部省ガ現ニヤツテ居ルヤウナルコトヲ致セバ、即チ斯ウ云フヤウナル結果ヲ來ス、文部大臣自ラモ此事ニ付テハ餘程心配ヲ致シテ居リマス見エマシテ、先達デモ水産學校長或ハ商船學校長ナドヲ集メタル際ニ於テ、其諮問案ノ一ツニ實業界ト直接ノ方法如何ト云フヤウナル諮問案ヲ發シテ居ル、ツレデアルカラ自分等ノ今教育ヲ致シテ居ルコトコソ實際ノ有様ハ、實業教育トハ云ヘドモ、實際ニ於テ疎クアツテ、其卒業者ガ社會ニ出テ役ニ立タヌト云フコトヲ社會ガ認メテ居ル、ツレデ斯様ナルトコロノ諮問案モ既ニ自分ガ氣付イテ發シテ居ルノデアリマス、又實業教育ト云フモノハ、唯學校ニ出テ教授バカリシテ、學理ノミヲ研究致シマシテモ何ニモナラヌ、寧ろ學理ト云フモノハ第二デアツテ、實際ノ一實物ニ就テ研究ヲ致スノガ是ガ一番大切デアルケレドモ、今此案ニ提出ニナツテ居ルヤウナル水産講習所デ、折角實用的ノ人間ガ出來居ルモノヲ、ツレバ文政統一ト云フヤウナル名ノ下ニ奪去ツテ、文部省ガ高等專門學校ト云フヤウナルモノニ於テ之ヲ養フタラバ、今私ガ申シマスルヤウナ必ズ高等遊民ヲ造ルノデアル、何ニモ役ニ立タナイトコロノ人間ヲ造ルノデアル、是ハ敢テ文部大臣ガ將來ヲ御覽ナサレト仰シタルカ知ラナイケレドモ、將來ヲ見ルニ及バナイ、今此處ニ實際ニ於テ適切ニ此結果ヲ示シテ居ル、現ニ文部省ガ御自慢デ爲サレテ居ルコトコソ、東北大學ニ水産科ガ既ニアル、文部省直轄ノ高等學校ニ於テ即チ東北大學ノ水産科ノ生徒ノ結果ヲ御覽ニナツタナラバ直チニ分ルノデアル、是ハ大正二年度ノ調べデゴザイマスルガ、東北大學ノ水産科ヲ卒業シタル人員ガ百五十名ノ中ニ於テ、今日無職ニ居ル者ガ四十七名アル、約三分ノ一ガ無職ニ居ルデハゴザイマセヌカ、而シテ農商務大臣ノ管轄ニアルモノヲ取上ゲテ、私ガ能ク育ッテヤラウト云フコトガ講習所ノ方ガ餘程成績ガ好シイノデアル、現ニ講習所ノ卒業生ハ千百七十二名ノ中ニ無職ト云フモノガ僅カニ二十三名ホカナイ、此無職ト云フノハ或ハ病氣デ職ニ就ケナイノカモ知レナイガ、此表ニ現レテ居ルモノデ見レバ千百七十二名モアリマスル中ニ僅カニ無職ノ者ガ十三名デアル、文部省御自慢ノ

學校卒業生タル者ハ百五十名ノ中ニ四十七名ノ無職者ガ既ニアルノデハナカ、自分等ガ是カラ能ク水産ノ教育ヲ盛シ致シマス、農商務大臣ガ持ッテ居ルヨリモ私ガ管轄シテ宜シクスト云フ其結果ハ斯様ナ結果ガ出テ居ルデハアリマセヌカ、斯様ナル育テ方ヲストコロノ文部省ニ、何故ニ此必要ナル生徒ノ教育ヲ頼マレカ、實際ニ於キマシテ斯様ナル結果ヲ來シテ居ルノミナラズ、又私共ハ文部省ノ今日執ッテ居ルストコロノ實業教育ノ方針ニ反對スルノデアル、實際斯様ナル特殊ノ教育ハナリハ特殊ノ機關ヲ監督スルトコロノ官省ガ管轄スルノガ最モ適當ナリト思フ、トコロガ文部大臣ハ先日モ此席ニ於テ、或ハ陸軍ノ幼年學校ノ如キ、或ハ逓信省ガ所管シテ居ル所ノ商船學校ノ如キ、特殊ノモノハナリハ特殊ノ機關ヲ監督スルトコロノ官廳ニ任セルコトガ相當ナリト斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、是ガ實際デアル、吾々ハ商船學校ヲ逓信省ガ持ッテ居ルノ最モ適當ナリト思フ又水産事業ノ如キ教育ヲスルモノハ農商務省ノ所管置クコトガ本統ナノデアル、蠶業講習所ノ如キモノハ文部省移シタルハ農商務大臣ガ寧ロ意氣地ガナカラデアル、自分ノ所管シテ居ルストコロノ機關ヲ、文部省ニ取上グラレルノハ農商務省ガ寧ロ意氣地ガナカ、今度ノ水産講習所モ文部省ニ移リマスガ、獨逸帝國ノ今日ノ工業其他ニ於テ非常ニ勃興ヲ致シタル原因ハ何デアルカ、此實業教育ガ立派ニ行居イタカラデアルガ、其實業教育ガ立派ニ行居イタルハ、實際的ノ人間ヲ造ッタルデアル、今文部省ガ造ッタル居ルヤウナ高等遊民ヲ製造シタルノデハナカ、獨逸ガ今日勃興シタル原因ハ、各種ノ事業ニ向ッテ適當ナル人物ヲ拵ヘ、サウシテ其人間ハ直チニ實業ニ從事シテ、働キ得ル人間ヲ拵ヘタカラ今日ノ隆盛ヲ來シタルノデアル、我國ガ今日國產獎勵トカ、始終此演壇ニ立ッテ國務大臣ハ御話ニナルガ、高等遊民ハカリ製造シテ居ル、サウ云フコトデドウシテ產業ガ發達スルカ、水産ノ如キハ農商務大臣ノ方ヘ取ッタルガ宜イ、養蠶講習所ノ如キハ文部省ニ移シタル如キモ間違デアル、ソレ等モ早く取ッタル農商務大臣ノ管轄スルコトニシテ貴ヒタイト云フ意見ヲ常ニ持ッテ居ルノデアル、ソレカラ大體教育ノ方針ガ間違ッテ居ル、尙財政整理ナド、云フケレドモ、前ニモ申シマシタルウニ、決シテ是ハ財政整理ニハナラナイ、農商務省カラ文部省ガ奪ッテ何ト致シマシタルカ、高等專門水産學校ト斯ウ名ヲシケテアリマスガ、併ナガラ之ヲ教育スルニ付テハ、ヤハリ農商務大臣ガ所管シテ居ル、今度試驗所ハ廢止サレマシタガ、其試驗所ヘ往ッテ其試驗ノ結果ニ依ッテ生徒ヲ教育スルニアラザレバ、何ヲ以テ教育ノ材料ト致シマスカ、此水産ニ關シタル教育材料ハ先進國ニハナイ、水産ノ高遠ナル學理ヲ教ヘル、學理ハ諸外國ニモ無イデハナカ、サウ致シマスレバ、我邦ニ於テ實驗致シタル其結果ヲ以テ生徒ヲ教養スルノデアル、ソレハドコデスルカ、實地ニ試驗シナケレバナラヌト云フト、農商務省ノ試驗所ヘ生徒ヲ引率レテ往ッテ、舊古ヲヤラナケレバナラヌ、ソレデ何ガ經費ノ節減ニナルカ、却テ職司ノ紛雜ヲ來シ、經費ハ餘計ニカカルヤウニナル、而シテ又此處ニ文部大臣ガ居ルナラ開イテ見タイト思ヒマスガ、此水産專門學校ヲ造ッテ誰ガ先生ニナルモノガアリマスカ、帝國大學ヲ卒業シタル化學ナリ物理ナリノ專門ノ事ヲ知ッテ居ル先生ガヤテ來テ教ヘルデアリマセウガ、此學校ノ主トストコロノモノハ何デアルカ、漁業スルコトガ一番主モナルコトデアリマセウ、此先生等ハ船ニ乗ッテ品川沖位マデハ宜イガ、其先キヘ行ケバ船ニ酔ッテシマッテ人ニ教ヘルストコロデハナイ、自分ノ命ガ危イ位ニ思ッテアリマセウ、漁業ト云フコトヲ教ヘルニハ狂瀾怒濤ノ中ニ立ッテ魚ヲ漁ルコトヲ教ヘナケレバナラヌ、文部省ハドコニサウ云フ先生ガ居リマスカ、教員其者ガ無イ、隅田川位ナラ出ラレマセウガ沖ノ方ヘ出ルト船ニ酔ッテ何ニモナラナイ、ソ

ンナ學校ヲ育ッタル人ノ役ニ立タヌストハ極リキッテ居ル、第一ニ教科材料モ無ケレバ教員モ無イ、仕方ガナイ、時間ガナイカラ——實ハモウ少シ國務大臣デモ此處ニ御出デナレバ、實業教育ニ付テ獨リ水産ノコトバカリデハナイ、實業教育ノ方針ニ付テ十分御尋シタイト思ッテ居リマシタケレドモ、誰モ御居デナラヌ、次官サヘモ御居デナラヌ、空席ニ向ッテ質問ヲ發シテモ何ニモ役ニ立チマセヌカラ、何レアトテ書面ナドヲ御答ガアリマセウ、御答ガアリマセウガ、ドウゾ國務大臣ハ明カニ答ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウニ答ヘテ貰ヒタイ、此水産專門學校ノ經費ノ否決ヲ望ムト云フ答辯ヲ望ム、ソレカラ農商務大臣ハオマヘノ說ハ成程尤デアル、自分ハ惡カッタカラ水産講習所復活ノ經費ヲ直チニ出スノガ宜イト云フコトニスル、云フ潔イ答辯ヲ求ムルノデアル、文政統一ナドハモウ聽キ飽キタ、行政整理ノ一端デアルト云フコトモ實ハ聽キ飽イタ、サウ云フコトハ能ク知ッテ居ル、左様ナル答辯ヲ求ムルノデハナカ、ドウゾ此水産專門學校ト云フモノハ、滿場一致ヲ以テ否決スルト云フコトヲ欲シ、尙私ハ水産講習所ノ追加豫算ヲ出スカ、其時ハドウカ諸君ノ御贊成ヲ願ヒタイト云フ答辯ガ大切ダト思ヒマス、又ドウカ農商務大臣ハ此處ニ居ラヌガ、空席ニ向ッテ言ッテ置キマスガ笑聲起ル農商務大臣ハモウ少シ元氣ヲ出シテ、自分ノ仕事ヲ他ニ奪ハル、ヤウデハ遂ニ農商務省其物ガ無クナッテシマフ、實業ノ獎勵トコロデハナイ、國務大臣ノ居ル官省ガ無クナッテ仕事ハ全ク無イヤウニナラシマフ、故ニ農商務大臣ノモウ少シ元氣ヲ出シテ長イコトハナイデラウガ、居ル間ハ元氣ヲ出シテ、自分ノ所管ノ仕事ハ他ニ奪ハレヌヤウニ、國產獎勵ヲ振ヒ興スコトヲヤッテ貰ヒタイ、サウシテ今私が申シタルヤウナ御答ヲ得レバ洵ニ満足ストコロデアリマス、私ハ實ハ御答ニナルコトヲ知ッテ居リマス、先日村田君等ガ之ニ反對ノコトニ付キマシテ、大隈總理大臣ヲ尋ネマシタ、丁度斯ウ云フ意味ノヤウナ御答ダッタサウデス、實ハ能ク知ラナカッタガ、成程聽イテ見レバドウモ自分等ガソレハウカリシテ居テ宜クナッタ、傳染病研究所ノ方ハ自分が主張シタガ、水産ノ方ハウカリシテ居タルノデアル、ドウカ此議會ノ方デ恢復ニナルデアラウ、又議會デモ解散ニナッタ原案ガ又戻ッテ來ルカラ、ソレヲ希望スルト云フヤウナ口吻ヲ漏ラシタト云フガ、是ハ平生大隈伯ハ法螺ヲ吹クトカ何ト云フ世評ガアルガ、此事ダケハナカ、正直ニ言ッテ居ル、ソレデ今私が説明致シマシタルウニ趣意ニ依ッテ御修正ニナルコト、信ジマス、尙ドウゾ滿場ノ御贊成ヲ得マシテ、今豫算審議中デアリマスカラ、斯ノ如キ趣意ニ依ッテ御贊成アラフコトヲ希望致シマス、大臣ノ答辯ハ實ハ要リマセヌ

○議長(奧繁三郎君) 移民政策ニ關スル質問——西村丹治郎君

六 移民政策ニ關スル質問(西村丹治郎君提出)

(西村丹治郎君登壇)

○西村丹治郎君 ちヨット御斷リシテ置キマスガ、此質問書ノ第二項ヲ少シク修正致シマス其事ヲ御承知ヲ願ヒマス、「第二濠州ニ於ケル移民制限法ノ改正若クハ之ヲ有利ニ適用セシムル」トアリマスノヲ、「撤廢若クハ是カ改正ニ付キ何等カノ手段ヲ採リシコトアルヤ若シ是レ無カリセハ今後ノ方針如何」斯ク修正致シマシタカラ左様御承知ヲ願ヒマス、私ノ質問ノ箇條ハ五箇條ニナッテ居リマス、併ナガラ此五箇條ノ此場合一々説明ヲ加ヘマスト大變ナ時間ヲ要シマスカラ、幸ヒ此處ニ通商局長モ御居デノヤウデスカラ、大體ニ關シ質問ノ趣意ヲ辯明致シマスカラ、其積リデ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、我國ノ如キ土地ガ極ク狹クシテ而モ其上ニ國ノ產物ト云フモノハ甚ダ少ナイノデアル、例ヲ引イテ申シマスナラバ、先ッ第一ニ米ノ如キモ足ラナイノデアル、麥モ足ラナイノデアル、大豆モ足ラナイノデアル、砂糖モ足ラナイ、綿モ足ラナイ、殊ニ工業ノ基礎トナルベキ

鐵ノ如キモ殆ド其大部分ヲ之ヲ海外ニ仰イテ居ルト云フヤウナ有様、斯ノ如ク土地ガ非常ニ狹ク、而シテ國ノ產物ハ甚ダ少ナク、更ニ一面ヲ見マスナラバ、人口ハ殆ド無限ノ増殖力ヲ以テ殖エツ、アルノデア、此ニ於テ我日本帝國ノ運命ヲ開拓スルニハ、ドウシテモ海外ニ向テ發展スル、海外ニ張り出ス、海外ニ伸ビルト云フ外ニハ途ハナイノデアヲト思フノデアリマス、殊ニ戰後我國勢ノ發展民族ノ膨張ト云フモノハ、實ニ驚クベキモノガアルデアヲト私ハ信ズルノデアリマス、此際ニ當テ移民政策ノ根本義ヲ確立スルト云フコトハ、最も必要アルデアヲト信ズルノデアリマス、然ルニ諸君、海外各地ノ有様ヲ見マスレバ、如何デアリマス、北米合衆國ニ於テ絕對ニ排斥サレテ居ル加奈陀ニ於テモ我大和民族ハ排斥サレテ居ル、更ニ南濠洲ヲ見マスレバドウデア、濠洲方面ニ於テモ排斥サレテ居ル「ニュージランド」ニ於テモ排斥サレテ居ル、南米方面ニ於テモ今日各地ニ我大和民族ノ排斥熱ガ起ラントシツ、アルト云フ有様デア、我日本帝國ノ運命ハ海外ニ發展スルニアリ、海外ニ伸ビルニアリ、然ルニ海外各國地ヲ見レバ、東モ南モ總テ八方塞ガリト云フヤウナ狀態デアリマス、今カラ數年前デアリマシタカ、時ノ外務大臣小村侯爵ハ此壇上ニ立テ我大和民族ガ世界各地ニ排斥サレテ居ル、而モ之ヲ打破ルケノ外交的手段ナクシテ、外交的力ナクシテ、己ノ無能、己ノ失敗ヲ蔽ハシガ爲ニ、移民政策ノ大方針ハ決シテ海外各地ニ我移民ヲ散布スルト云フヤウナ方針デア、總テ大和民族ノ海外ニ出ルモノハ、之ヲ滿韓ノ地ニ集中スルノデア、強イテ排斥ヲ食ッテ居ル地方ニ我政府ハ強イテ送ルト云フ考ハ毫モナイ、是等ノ移民ハ舉ゲテ滿韓ノ地ニ集中スルノデア、爾ト云フコトヲ、曾テ此壇上ニ聲明サレタノデアリマス、併ナガラハ唯外交ノ失敗ヲ蔽フ一時ノテレカクシニ言ハレタモノトシテ、吾々ハ殆ド重キヲ措カナカッタノデアリマス、最早今日ニ於テ私ガ茲ニ滿韓ハ我移民ノ行クベキ土地ニアラスト云フヤウナ說法ヲ諸君ニ致ス必要ハ毫モナイと思ヒマス、ソレ故ニ私ハ尙ホ我移民ヲ滿韓ニ集中スルト云フノ政策ヲ今日ニ於テモ、尙ホソレヲ執リツ、アルノデア、將來モヤハリ此方針ヲ以テ行カントスルノデア、爾ト云フコトガ第一ノ質問デアリマス、私ガ敢テ此際ニ火事場泥坊ヲヤレト云フテ政府ニ勸メルノデアアリマセヌ、併ナガラ諸君、我移民政策ノ根本義ヲ確立シテ、我大和民族ノ海外ニ發展スベキ根柢ヲ形ヅクルノハ、今日ヲ以テ最後ノ時期ト私ハ信ズルノデアリマス、諸君、今月ノ十四五日ノ頃デアッタ記憶シテ居リマス、都下各新聞ニ英國ノ對日感情ト云フノ電報ガ出テ居リマシタ、其中ニ如何ナルコトガアッタカト申シマスレバ、其一二句ヲ申シマスレバ、日本ハ此度正義ノ爲メニ成遂ケタル偉大ナル成績ハ、濠洲殖民地ニ於ケル感情ヲ昂進セシムルコト疑フ容レズ云々ト云フ文句ガ其中ニアッタノデアリマス、諸君、今日濠洲ニ於テ我帝國ノ移民ガ如何ニ迫害サレ、如何ニ排斥サレツ、アルカト云フコトハ、私ガ此處ニ委シク申上ゲルノ必要ハナイと思ヒマスガ、其一節ヲ茲ニ申上ゲルノ必要ガアルと思ヒマス、先ツ御承知ノ通り千九百一一年ニ濠洲ノ移民制限法ト云フモノヲ制定致シマシテ、其一條項ニ持ッテ行ッテ歐羅巴語ヲ以テ語數五十字以上ノ文章ヲ作り、且ツ之ニ署名シ得ルモノニ限ッテ濠洲ニ入國ヲ許ス、斯カル法律ガ制定サレテ居ルノデアリマス、然ルニ諸君、此法律制定ノ以前ニ於テ濠洲ニハ我移民ガ行ツタモノデ、今日存在シテ居ルモノガ約一千人居ルノデアリマス、此法律アルガ爲メニ此一千人ノ我移民ハ十有餘年ノ間本國ヨリ妻子ヲ迎

フルコト能ハズ、又新タニ結婚スルコトノ自由ヲ有セズ、海外萬里ノ異域ニ於テ此一千人ノ我憐ムベキ同胞ハ、今日マデ獨身生活ヲナスノ止ムナキ狀態ニ陥ッテ居ルノデアリマス、歐羅巴語ヲ以テ試驗スルト云フコトガ規定シテアル、故ニ我移民ニシテ濠洲ニ渡航セント欲スルモノハ、英語ヲ話ス國デアラカラ、英語サヘ習ッテ行ツタナラバ宜カラウ歐羅巴語ノ一タル英語サヘ習ッテ置イタラ、是デ確ニ試驗ニ合格ガ出來ル、斯ク考ヘテ或ル妻或ル子弟ハ日夜千辛萬苦英語ヲ習ッテ、而シテ其良人ノ處、其親ノ處ニ行カントシテ本國ヲ出發シテ向フニ參リマス、焉シテ試験官ハ彼奴ハ英語ダケヲ知ッテ居ルヤウナ面付キダ、是レハ一ツ佛蘭西ヲ以テ試驗スル、又或ハ獨逸語ヲ以テ試驗スル、若クハ伊太利語ヲ以テ試驗スルカ云フ如ク、英語ヲ知ッテ居ルト思ッテ居ル奴ハ佛蘭西語ヲ以テ、佛蘭西語ヲ知ッテ居ルト思フ奴ハ獨逸語ヲ試驗スルト云フ如キ、斯ノ如キコトヲ試驗官ガヤルガ爲メニ、折角多年ノ間千辛萬苦シテ親ニ遇ヘ又良人ニ逢ハンガ爲メニ遙々出掛ケテ行ツテモ遂ニ上陸スルコト能ハズシテ、涙ヲ吞シテ日本ニ放逐サレタト云フコトガ隨分アッタノデアリマス、然ルニ諸君、歐羅巴カラ參リマスル移民ハ如何ナル制限ヲ受ケテ居ルカト申シマスレバ、實際ニ於テ殆ド英語デ自分ノ名スラ能ウ書キ得ナイト云フヤウナ者マデモ、ドシノ濠洲ニ入り得ルノデアリマス、況ヤ佛蘭西人デアレバ佛蘭西語ヲ以テ試驗スル、英吉利人ハ英語ヲ以テ試驗スル、伊太利人デアレバ伊太利語ヲ以テ試驗スル、云フヤウニ、斯ク各々自國ノ言葉ヲ以テ試驗ヲ致シマスカラ全然自由ニ入り得ルノデア、殆ド其試驗制度ハアレドモ無キガ如キ狀態ニナッテ居リマス、然ルニ諸君、我帝國ノ移民ハ斯ノ如ク殘忍酷薄ナル取扱ヲ彼移民官カラ受ケテ居ルノデアリマス、又新嘉坡及ビ西濠洲間ニ定期航海ヲ開イテ居ル汽船會社ノ船賃ハ、非常ナル所ノ差別的待遇ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレハ何デア、新嘉坡西濠洲間ヲ往來シテ居ル汽船會社ハ日本人ニ對シテハ白人ニ對スル船賃ノ恰度倍額ヲ課シテ居ルト云フ現在ノ有様ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ又濠洲内地ニ於テ如何ナル取扱ヲ受ケテ居ルカト申シマスレバ、土地所有權ノ無キコトハ勿論、土地借地權スラ之ヲ有セズ、又製造業モ一切許サレテ居ラヌト云フ有様デア、又酒ノ小賣モ許サレテ居ラヌ、鑛山ニ從事スルコトモ許サレテ居ラヌ、鑛山ノ勞働ニ從事スルコトモ許サレテ居ラヌト云フ有様デア、尙ホ滑稽ナ話ガアリマス、或移民ガ自分ノ友人ガ本國カラヤッテ來タ爲ニ波止場ニ迎ヘニ出タ、而シテ其友人ノ荷物ヲ手ニシテ之ヲ助ケテ陸ニ上ッタト云フ爲ニ、巡査ニ提ッテ告發サレテ罰金ヲ科セラレタト云フコトガアル、其理由ニ曰ク彼ハ契約移民デア、荷物ヲ持ツト云フコトハ勞働者ノ職ヲ奪ツタト云フノテ遂ニ罰金ヲ科セラレタト云フコトガアル、又契約移民ガ自分ノ友達ノ庭ヲ掃除シテヤッタト云フノテ、勞働賃金ハ一錢デモ貰ッタノデアアリマセヌ、所謂厚意ヨリ庭ヲ掃イテヤッタ、其者ガ又勞働者ニ見付カデ告發サレテ、是亦罰金ヲ科セラレタト云フ事例ガアルノデアリマス、諸君、斯ノ如ク我ガ移民ハ濠洲ニ於テ移民制限法ニ於テ非常ナル迫害壓迫ヲ蒙リ、尙ホ内地ニ於テ斯ノ如ク殘酷至極ナル取扱ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此ニ於テ私ハ問ハントスル、此度ノ日英協同動作ナルモノハ、何ノ爲ニ執ッタノデア、勿論加藤外務大臣ガ此壇上ニ於テ、日英同盟ノ誼ニ依リ東洋平和ノ爲ニ執ッタノデア、斯ウ辯明サレテ居リマス、無論其通りデアルト私モ信ズルノデア、日英同盟ノ誼ニ依テ日本ハ立ッタコトハ勿論デ

アルト信ズルノデアリマス、併ナガラ諸君、日英同盟ノ誼ニシロ、國家ノ利益國民ノ幸福ヲ無視シテ日英同盟何カアラント私ハ信ズルノデアリマス、如何ナル協約如何ナル同盟ト雖モ、國家國民ノ利益ヲ外ニシテ爲スベキ者ハナイト確ク私ハ信ズルノデアリマス、諸君、曩ニ「タイムス」紙上ニ論セラレテ居タル所ノ英國ノ對日感情ヲ朗讀致シマシタガ、即チ濠洲ニ於ケル我が移民ニ對スル所ノ感情モ確ニ此際改マルデアラウ、確ニ一變スルモデアラウト云フコトヲ「タイムス」新聞モ論ジテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、戰後ニ於テ南洋方面ニ於ケル地圖ノ色ガ如何ニ變ラウトモ、亦如何ニ變ヘキカト云フコトハ、私ハ今日此處ニ論斷スル時機ト思ヒマセヌガ、併ナガラ南洋ニ於ケル地圖ハ如何ニ變化スルトモ、南洋ノ勢力消長ハ如何ニナルカハ知レマセヌガ、此際此時ニ當テ是非トモ我が大和民族ガ南洋方面ニ向テ發展スルト云フコトニ付テハ、今後何等ノ拘束ヲ受ケズ何等ノ制限ヲ受ケズ、自由自在ニ南洋方面ニ向テハ橫行濶歩シ得ル地方ヲ此際是非トモ確定シナケレバナラヌ最好ノ時機ト信ジマス、或ハ現内閣ニ向テ斯ル重大ナルコトヲ望ムノハ無理デアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ是タケノコトハ是非トモ此際ニ確立スル所ノ政策ヲ執ラナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアリマス、最後ニ私ハ加州土地法ニ關シテ六月以後ノ交渉經過如何ト云フ質問ヲ發シテ居リマスカラ、之ヲ一言此ニ辯明致サウト思ヒマス、既ニ先般此問題ニ付テハ御質問ニナッタ御方モアルト考ヘマス、又既ニ加藤外務大臣ガ今尙交渉中デアルト云フヤウナ御返答ガアタヤウニ聞イテ居リマス、既ニ斯ル質問ガアリ、斯ル答辯ガアテ居ルカラ、私が茲ニ質問スル要ハナイヤウデアリマス、併ナガラ私ハ更ニ之ヲ問フ必要ガアルト確信スルノデアリマス、何故デアル、今年六月二十四日カ五日デアッタ記憶シテ居リマス、加藤外務大臣ハ此壇上ニ立ッテ前外務大臣ノ或種ノ提議ハ六月十日ノ之ヲ撤回シタリト云フコトヲ聲明セラレタト私ハ記憶シテ居リマス、前外務大臣ノ亞米利加政府ニ向テ提議セラレテ居タル或種ノ提議ハ、現政府ハ之ヲ撤回シタト云フコトヲ此壇上テ聲明セラレタルデアル、諸君、前牧野外務大臣ガ殆ド一年間モ掛ッテイロ／＼ナ交渉イロ／＼ナ協議ヲサレタト云フ顛末ハ、本年ノ春ノ議會ニ此壇上ニ於テ公ニサレテ居リマスガ、交渉協議ノ結果、最後ノ提議トシテ或種ノ内容ハ分リマセヌ、或種ト云フ言葉ヲ以テ此議會ニ紹介セラレテ居リマスカラ、私モ或種ト云フ其提議ヲ千辛萬苦ノ末練リニ練ッテ前内閣ノ外務大臣ガ亞米利加ニ提議シテ、之ヲ加藤男爵ガ協議ヲ爲サルヤ否ヤ、問モ無ク此提議ヲ撤回セラレタト云フコトニ付テハ、確カニ加藤外務大臣ノ胸中ニ一大抱負アリ、一大經綸アッテ爲サレタコトデアルト思ッテ、私ハ確ニ其成功ヲ期シテ今日マデ待ッテ居タルデアル（拍手起ル）諸君、前内閣ガ斯クマデ苦心シテヤッタモノヲ、自分ガ其衝ニ當ルヤ否ヤ、問モナクツレバ有害ナリ無益ナリトシテ撤回シテシマッタ以上ハ、自分ノ責任トシテ一日モ速ニ之ヲ解決シ、而モ一大抱負ヲ以テ之ヲ解決スベキ政治上ノ責任アリト私ハ信ズルノデアリマス（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）然ルニ諸君、既ニ半歳ヲ過ル今日ニ至ルマデ何等開ク所ガナイノデアリマセヌカ（拍手起ル）外交上ノ怠慢ト言ハシカ、餘リニ緩慢デアリマセヌカ（其通り）ト呼フ者ナリ）更ニ私ハ之ヲ評スニ外交無能ナリト言フコトヲ斷言スルニ躊躇シナイノデアル（拍手起ル）夫故ニ私ハ一日モ速ニ此期間モサウ長イコトハナイト思ヒマスガ、此期間ニ於テ——此開會期間ニ於テ速ニ此結果ヲ公表サレンコトヲ當局者ニ望ムノデアリマス

（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス（拍手起ル）
○議長（奥繁三郎君） 靜岡縣政ニ關スル質問——松城兵作君

七 靜岡縣政ニ關スル質問（松城兵作君提出）

○松城兵作君 本員ハ質問ノ件ニ付キ書記官長ヲ經テ内務大臣ノ出席ヲ求メマシタ所、差支ガアルト云フコトデアル、其差支ハ病氣カ或ハ如何ナル差支デアルカ、若シ病氣ナラ據所ナイガ、病氣デナイナラ院議ヲ以テ内務大臣ノ出席ヲ望ミマス
○議長（奥繁三郎君） 病氣ノ爲ニ出席シナイト云フコトデアリマス
（「ヤレ／＼」ト呼フ者アリ）
（松城兵作君登壇）

（拍手起ル）

○松城兵作君 本員ハ靜岡縣政ニ關シマスル質問ヲ致シマスニ付テハ、是非共内務大臣大隈伯爵ノ出席ヲ希望シテ居ルノデアル、併ナガラ病氣差支アリトスレバ是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマシテ、實ハ次回マデ延期シヤウト云フ考モ起シマシタガ、最早議會モ此期間ニ質問セヌト、ドウナルカ分ラヌ（其通り）「大ニヤッテ呉レ」ト呼フ者アリ）此場合ニ於テ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ質問致シタイト思フ、内務次官ノ下岡君モ見エルヤウデアリマスガ、下岡君ニ質問スルデハナイ、私ハ大臣ニ質問スルノデアリマスカラ、責任アル大臣ノ答辯ヲ求メタイト考ヘテ居リマス（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）靜岡縣政ニ關シマスル質問ハ、本年ノ靜岡縣通常縣會ニ於ケル豫算ノ件デアリマス、此豫算ノ縣會ノ決議ニ對シテ殆ド縣會ノ意志ノ大部分ハ没却サレテ、知事ノ要求ノ全部ガ原案ニ悉クナッタト云フノデアリマス、此原案執行ニナリマシタ所ノ條項ニ付テ、其理由ヲ私ハ質問見タイノデアリマス、御承知ノ通り靜岡縣ハ本年ニ於キマシテハ大水害ヲ受ケテ居ル、一面ニ於テ靜岡縣ノ重要物産ハ如何ナルモノデアルカト云フト、第一ガ茶デアル、生絲デアル、漆器デアル、柑橘デアル、椎茸デアル、或ハ之ヲ小ニシテハ薑、絲瓜、落花生ノ類デアリマス、總テ輸出品デアル、物産ノ重ナルモノハ海外ノ貿易品デアル、夫故ニ此時局ノ影響ヲ受ケタル經濟上ノ打撃ヲ受ケタルコトハ實ニ慘澹タルモノデアル、漆器職工テ失業者既ニ三千人ニ垂ントシテ居ル、此場合ニ於キマシテハ靜岡縣民ハ殆ド困憊ノ状態ニ陥ッテ居ルノデアルカラシテ、地方費ノ負擔ト云フモノハ、斯カル場合ニハ非常ニ輕減ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ縣下一般ノ輿論デアル、單ニ靜岡縣バカリデナク——此時局ノ爲メニ經濟上ノ影響ヲ受ケタルコトハ單ニ靜岡縣バカリデナイノデアルカラ、不急ノ支出ハ本年ノ如キ場合ニ於テハ成ベク新事業ハ繰延ベテ、所謂直接産業ノ發展ニ關係アル費用ハ免ニ角、私ハ各府縣知事ナドノ虛榮ヲ充スヤウナ何カ御土産ニシタイト云フヤウナ案ハ、是ハ成ルベク何處ノ府縣トシテモ止メテ貰ヒタイト云フノガ天下ノ輿論デアル、然ルニ大正四年度ノ靜岡縣ノ豫算ハ如何デアッタカ、大水害ノ結果トシテ追加豫算約百万圓デアリマス、之ニ大正四年度ノ經常臨時ノ知事ノ提案シタル所ノ要求額ガ幾ラデアルト云フニ、二百五十万圓合セテ三百五十万圓デアル、此三百五十万圓ノ大豫算ヲ縣會ニ提出シタト云フコトハ湯淺知事ガ始メテアッテカラニ、未ダ會テ斯ル廣大ナル豫算ガ靜岡縣ノ縣會ニ現レタコトハナイノデアル、故ニ縣民ノ理想トシテハ成ベク不急ノ事業ハ繰延ベテ、即チ此時局ノ爲メニ經濟的大打撃ヲ受ケ

タルトコロノ此狀態ヲ、幾分デモ救ハナケレバナスト云フ意志ヲ以テ、建築事業ノ如キ若クバ其他不急ノ土木ノ事業ト云フモノハ、繰延ノ精神ヲ以テ否決シテ貫ヒタイト云フ意味デ、縣會ハ此縣民ノ意思ヲ容レテ、茲ニ査定ヲ加ヘタルノアル、例ヘバ郡役所ノ新築案ノ如キ、警察署ノ新築案ノ如キ、或ハ蠶絲検査所ノ新築ノ如キ、是等ノ事業ト云フモノハ繰延ベテ差支ナイ事業アル、其他知事ノ理想トシテ將來縣民ノ福利ニ關係ガアリハセヌカト云ツテ、知事一個ノ理想カラ割出サレテ出シタモノ、斯ウ云フ新事業ハ繰延ノ精神ヲ以テ否決シタラ宜カラウト云フノガ所謂縣會ノ意思アル、然レニ縣會ノ將ニ會期盡キントスル其當日デアリマシタガ、知事ハ縣會ノ議場ニ於テ演說シテ曰ク、ドウモ御同意ガ出來ナイノデアラカシテ、豫算ニ査定ヲ加ヘタル大部分ニ向ッテ御同意ガ出來ナイ、故ニ府縣制ノ條項ニ依テ再議ニ附スベキ筈デアラガ、其但書ニ依レバ敢テ再議ヲ附セナクテモ或場合ニ於テハ直ニ內務大臣ノ指揮ヲ乞フコトガ出來ルカラ、私ハ此處デ演說ダケハスル、御同意ノ出來ヌト云フ演說ハスルガ再議ニ附サヌ、斯ウ云フ甚ダ縣民ニ對スル不忠實ノ言明ラサレタ、而モ縣會ノ最終日デアリマシタケレドモ、午後二時デアル、時間ノ上カラ行キマスト十分再議ニ附シテ之ヲ審議スル餘裕ガアルニモ拘ラズ、再議ニ附セズシテ直ニ原案ヲ執行スルト云フコトヲ縣會ニ言明サレタノデアル、夫故ニ最早排戰ノ態度デアル、地方自治ヲ圓滿ニ解決スルト云フコトノ意志ガ知レナイト云フコトヲ認メタ爲メニ、縣會ハ大多數ヲ以テ知事ノ不信任案ヲ決議シタノデアル、湯淺知事ノ不信任案ヲ決議シタノデアル、(尤モダ)ト呼ブ者アリ)所ガ其不信任案ト云フモノハ、縣會ノ決議スベカラザル條項デアルト云フノデ、府縣制ノ八十二條ノ條項ニ依ッテ直ニ知事ガ之ヲ取消シタノデアル、取消シタ所ガ議員ハ散會シテ居ラヌノデアル、唯議長ガ後トノ整理ノ爲ニ議長席ニ居ッタモノダカラ、內務部長ヲシテ議長ノ手許ヘハ之ヲ取消スト云フ通告ヲシテ來タケレドモ、縣會ハ散會ヲシテ誰モ居ラナイ、故ニ形式ノ上カラ云ツタラバ取消シタデアラウケレドモ、事實ニ於テハ靜岡縣會ハ散會シテ居ッタカラ、現在知事ノ不信任ヲ決議シテ居ルノヲ、知事ハ其實議長ヘ通告スルコトガ出來ナイヤウナ有様ニナツテ居ル、諸原案執行ハ如何ナル條項ニ向ッテ原案ヲ執行シタカ、治水堤防費デアル、砂防費デアル、鰐ノ流網デアル、港灣ノ改良費デアル、國道ノ改良費デアル、郡市町村土木補助費デアル、是ニ向ッテ原案ヲ執行シテ內務大臣ハ本月十四日許可サレタノデアル、治水堤防ノ費用デアリマスガ、此事ハ縣ノ技術家ガ內務當局ノ出張サレタコロノ土木技術ト交渉シ、折衝査定シタ案デアルガ尙不完全デアル最初縣ノ要求額カラ申シマスト、四五萬圓程內務省デ査定シタト云フノデ、甚ダ急場デ以テ設計シタモノデアラカラ、如何ニ技術家ガヤッタコトデモ甚ダ杜撰デアル、併ナガラ治水堤防費ト云フヤウナコト、云フモノハ、技術家ノ所謂技術上ニ關スル問題デアラカラ、如何ニモ原案執行ハ不當デアル、甚ダ當ラ得ナイ、斯ウ云フコトヲ議論シタコロデ、ソレハ常識論ト技術ノ眼ヲ以テ見ルト違フカラト云ヘバ水掛論ニナツテシマヒマスカラ、今此處デ私ハ深ク論ジナイ、或ハ砂防費ノ如キ、砂防費ハ八箇所ニ對シテ縣會ハ四箇所認メタ、所謂根固メ工事護岸工事ヲ認メタ、所謂靜岡縣ハ山ヤ土質ノ關係カラシテ土砂打止ヲシナクテモ、護岸工事差支ナイト云フコトデアル、之ヲ技術家ハ國土保安上水源涵養トカニ云フ名目ノ下ニ原案ヲ執行シタノデアル、是ガ必要デアルカ必要デナ

イカハヤハリ水掛論ニナルカラコ、テ私ハ深ク論ジナイ、諸原案ヲ執行シタル一條項ノ中デ私ノ問ハントスルノハ、是ハ金額ハ甚ダ小ナモノデアアル、僅ニ千八百圓ノ金額デアアル、鰐ノ流網デアアル、鰐ト云フ魚ヲ捕ル流網ト云フモノハ、今回靜岡縣會ヘ初メテ要求サレタ是ハ新事業デアアル、此ノ新ナル流網ノ如キハ縣會ニ於テハ斯ル年柄ニ於テ縣民ニ負擔セテ試驗ヲスル必要ハナイ、折角費用ヲ議決シタコロデ果シテ魚族ガ群集シテ來テ、年々歳々駿河灣遠江灘ニ於テ好成绩ヲ舉グルコトガ出來ルヤ否ヤハ疑問デアアル、斯ル年柄ニ於テハ延期シテ貫ヒタイト云フ意味ヲ以テ否決シタニ拘ラズ、是モ原案執行ヲ要求シテ、內務大臣ハ如何ナル理由ヲ以テ許可シタカ、モウ一ツハ下田港ノ改良費デアリマス、浚渫費デアリマス、下田港ノ改良ヲスルト云フト、成程一面カラ云ヘバ港灣ノ改良立派デアラガ、實ハ下田ノ港口ヘ流レル川ヲ直スノダ、河口稻生澤川ト云フ川ヲ掘ルノデアル、下田ハ御承知ノ通り近來ノ商船トスベキ何千噸ト云フヤウナ船ガ輻輳シテ荷物ノ揚卸シラヌデモ何デモナイ、唯神奈川千葉並靜岡縣、此近縣ノ漁船ノ多ク出入スル川ニナツテ居ル、此ノ川ヲ改良ヘルノデアル、勿論川ヲ改良スルト云フコトハ惡ルイコトデハナイガ、此川ヲ掘リマス所謂浚渫船ニ依ッテ一萬圓ノ費額ニ依ッテ之ヲ掘リマス、サウ云フ事柄ハ縣會ハ斯ル年柄ニ於テ新事業テ港灣ヲ改良スルコトハ惡ルイコトデハナイ、惡イコトデハナイガサウ云フコトハ縣會唯一ノ港デアッテ、一日モ急ヲ要スル事業デモナイカラ、此意味ニ依ッテ否決シタノデアル、內務大臣ハ知事ノ請求ニ依テ原案執行ヲ許可シタノハ如何ナル理由デアアル、若シ斯ル問題ガ縣會デ否決シタカラト云ツテ一々內務大臣ガ實施ヲ許可スルト云フコトニナツタラ、或ハ各府縣ニモ起リマセウ、此港ヲ改良スレバ利益ガアルカラ此ノ費用ヲ要求スル、若シ行カズンバ縣民ノ福利ヲ阻害シテモ原案ヲ執行スルト云フコトニナツタナラバ、縣會ノ決議權ナルモノハ無クナツテ、所謂官權萬能デアッテ、知事ノスルコト爲スコトハ總テ意ノ如クナル、所謂決議機關ト云フモノ、意味ハ根本的ニ是ガ爲ニ破壞サレテ、純然タル一種ノ諮問機關トナツシマフ、斯ル費目ハ如何ナル理由ニ依ッテ許可サレタカ、モウ一ツハ國道ノ改良デアアル、此ノ國道ノ改良ノ中ニ愛知縣ノ靜岡縣トノ境ニ近イ所デアッテ、濱名湖ノ西岸ニ在ルトコロノ汝見坂ト云フ坂ガアル、此ノ坂ノ勾配ガ甚ダ國道デアラガキツ過ギル、六分一位ノ勾配デアッテ國道トシテ甚ダ不完全デアアルカラ、此道ヲ二萬四千圓掛ケテ勾配ヲ直スト云フ此費用デアアル、此道ハドウデアラカト云フト、御承知ノ通り濱名湖ニ知事ハ橋ガアルト云フガ橋ハ無イ、所謂鐵道ノ鐵橋ハアルケレドモ國道トシテノ橋ハ無イ、サレバ如何ナル者ガ便利ヲ得ルカト云フト、新居町ト云フトコロノ或部分ノ町民ガ此道ノ先キニ當ッテ多少利益ガアル次第デゴザイマス、ケレドモ縣下ヲ通ジテ利用スル途ハ少ナイノデアアル、況ン鷺津停車場カラ新居町ニ對シテ通ズル道路ハ、今ヤ繼續事業トシテ拵ヘテ居ル道ガアル、此ノ道ハ本年度デ完成スル筈デアアル、是ガ本年完成スレバ汝見坂ヲ改良スル必要ハナイ、又新居ノ停車場ガ出來ルカラト云フ理由モアルケレドモ、汝見坂ニ關係スルトコロノ白須賀町ノ住民シテハ、決シテ此坂ガアツデモ差支ハナイ、此事實ガアルニモ拘ラズ、二萬四千圓ト云フトコロノ費用ニ依ッテ其坂ノ勾配ヲ直スト云フコトハ、斯ル年柄ニ於テ急ニスベキモノデナイ、況ヤ軍事關係カラ云ツテモ其他ノ關係カラ云ツテモ、國庫補助ニ依ッテ今ヤ本坂峠ノ完成ヲ告ゲントシテ居ル、此本坂峠ノ出來マスレバ愛知縣トノ聯絡ハ十分ニ出來ル、所謂國道ト云フモノハ本坂峠ニ依ッテ

十分ニ便利ガ出來ルノデアル、然ルニ斯ル年柄デアルニモ拘ラズ、之ヲ縣トシテ提案シ、是ヲモ所謂原案執行ノ一事項トシテ要求サレテ、内務大臣ハ之ヲ許可シタ、最後ニモウツアリマスガ、是ハ郡市町村土木補助費デアル、郡市町村土木補助費ハ是ハ府縣ニ依ッテイロ、補助規程ガ變テ居リマセウガ、静岡縣ニ於テハ町村ノ道路ヲ改良スル場合ニ於テハ、總豫算ニ對シテ縣ハ七分ノ補助ヲ與ヘル慣例ニナッテ居ル、是ハ町村所謂市町村ガ主體デアリマシテ、毎年四月末日マデニ縣ニ起工ノ手續願フシテ來ル、サウシテ是ニ幾分ノ補助ヲ與ヘテ吳レト云フコトヲ願フト、縣ハ之ヲ査定シテ七分ノ補助ヲ與ヘル、サウ云フ慣例ニナッテ居ル、トコロガ大正四年度ニ於キマシテハ新ラシイノ道路ガ加ハリマシテ二十線以上線路ノ數ガ出テ居ル、甚ダドウモ數モ多イノミナラズ、斯ル年柄ニハ全部町村トシテモ負擔ニ苦シム譯デアルカラ、場合ニ依ッテハ全部否定シテモ宜クハナカト云フ議論モアツタ、然ルニ先例モアルコトデアリマシテ明治三十七年ニ於テ一十二萬圓ノ此郡市町村土木補助費ガ計畫シテアツタニモ拘ラズ、日露戰役ノ爲ニドウモ斯ル新事業ハ縣會ガ決議シテアツタニモ綠延ベヲシナケレバナラヌト云フノデ、龜井英三郎君ガ德島縣カラ著任スルト早々臨時縣會ヲ召集シテ、前回デ決議シタコロノ道路ヲ綠延ベクト云フ前例モアル、ツレ故ニ斯ル年柄ニハ全部道路ニ對シテ綠延ベテモ差支ナイガ、併シヤリ掛ケタ道路モアル、或ハ橋ヲ架ケナケレバナラヌト云フヤウナ道路モアル、故ニ此全部ヲ否決スルト云フコトニ付テハ甚ダ穩當ヲ缺ク、故ニ縣下三州、豆州、遠州、駿河ノ縣下三州ニ於テ一箇國ニ綠延ベヲ削ルノ最モ時宜ニ適シタルコロノ修正ノ仕方デアラウ、殊ニ町村ガ主體デアアル、主體ナルガ故ニ其緩急ヲ圖ルハ勿論ノコトデアアルガ、其町村ノ圓滿ニシテ所謂舉村一致シテノ希望ト云フヤウナ道路ニ對シテハ、無論是ハ補助ヲ與ヘナケレバナラヌガ、部落觀念ノ爲ニ非常ニ町村ガ亂レテ居ル、却ッテ縣會ガ補助ヲ與ヘルト云フコトヲ計畫スル爲ニ、町村ノ自治ヲ破壞スル町村ガ澤山アル、斯ウ云フモノニ對シテ縣會ガ補助ヲ決議シテ却ッテ町村ノ紛擾ヲ醸スカラ、此意味ニ於テ否決セヨト云フノデ六線ノ道路ヲ否決シタルデアアル、此事ニ付テハ知事ハ原案ノ執行ヲ内務大臣ニ要求スルト言ッテ、縣會ガ決議スルト同時ニ上京シテ、而モ東京ニ二週間モ滞在シテ居催促ヲシテ居タ、居催促ヲシタトキ吾々ノ方デモ縣會ノ意見ハ十分ニ内務大臣ヲ初メ内務省ニ對シテモ辯解シテ置ク必要ガアルト云フノデ、吾々ノ方カラモ内務省ニ理由書ヲ提出シタ、其時ニ私ハ内務省デ下岡次官ニ會ッテ、此町村ノ道路ヲ萬一内務省ニ於テ之ヲ内務大臣ガ認可ヲ知事ノ要求通り原案執行ヲ認可シタ所デ町村デハ起工ガ出來ナイ、六線ノ道路ノハ少クトモ三線以上過半ハ本年度内ニ決シテ起工ガ出來ナイ、必ズ線延ベニナルカ或ハ此豫算ノ執行ガ出來ナイト云フ事實ガ出來タラバドウスルカト云フ質問ヲシタ所ガ、ツレハ一向差支ナイ、サウ云フ事柄ガアツタモ内務省トシテハ差支ナイと思フ、斯ウ云フ御答ガアツテ、殊ニ類例ガ澤山アルト言ッタ、ツレハドウ云フ類例デアツタカ、補助ノ原案執行ヲシタ類例ト云フモノハ聞ク必要モナカッタガ、斯ルモノ、支出ニ對シテノ原案執行ノ類例アリトスレバ、ツレハ甚ダ惡例デアアル、テ此原案執行ヲ知事ガ内務大臣ニ請求シテ居催促ヲシテ居間ニ、此關係町村即チ縣會ニ於テ削除セラレタコロノ關係町村ノ部落カラハ、區民ノ多數ガ調印ヲシ内務大臣ニ向ッテ、ドウカ原案執行ヲ許シテ下サラヌヤウニシテ貰ヒタイ、萬一原案執行ヲ許サレト町

村ノ紛擾ヲ醸シ、自治ヲ破壞スルト云フ陳情書ヲ出シテ、内務省ニ來テ居ル(サウ云フコトハ澤山アル)ト呼フ者アリ)斯ウ云フコトガアルニモ拘ラズ、内務省ハ町村ノ圓滿ノ自治ヲ破壞シテマデモ知事ノ意志ヲ通スト云フ理由ハ何レニアルカ、甚ダ私ハ此理由ノ那邊ニ在ルカラ解釋スルニ苦ムノデアアル(暴政タト呼フ者アリ)是ハ私ハ内務大臣大隈伯露ニ進シテ承リタイと思フ、本月ノ三日ニ内務大臣ヲ訪問シタ、實ハ世間傳フル所ニ據ルト内務大臣ヲ訪問スル必要ハナカラウ、下岡次官ニ御話ニナツタ方ガ宜カラウ、或ハ大浦子露ニ話シタ方ガ宜カラウト云フ人ガアツタ、可笑シナコトヲ言フト考ヘタ、免ニ角内務大臣ガ認可スルノデカラ内務大臣ニ話スガ宜カラウ、併シ内務大臣ハ事實ノ内務大臣デハナイ、形式上ノ内務大臣デアアル、ツラ可笑シイガ内務省ノ實權ハ大浦子露ガ握ッテ、下岡支配人ガ總テ事ヲヤッテ居ルト云フコトデ、大隈伯ノ所ニ行ツタ所ガ、ツレハ唯ダ空中ノ飛行機ノヤウナ所謂高イ所ヲ飛ンデ行ツタデモ具體的ノ話ハ出來ヌカラ止メタ方ガ宜イト云フ、併ナガラ私ハ大隈伯ハ博覽強記精力絶倫ナル人ト見テ居ル、所謂内務大臣ヲ兼攝サレテ居ルトコロノ彼大隈伯ハ非常ナル絶倫ナルコロノ、絶大ナル勢力家デアアル爲ニ、網大漏サズ如何ナル事情ニモ通ジテ居ルト思フ、殊ニ行政ノ刷新黨打破ト云フコトヲ宣告セラレテ居ルノデ、無論此地方ノ事情ニモ精通シテ居ルト云フノデ、縣會ノ正副議長縣參事會員ニ吾々ハ附添フテ、本月ノ三日ニ總理大臣官邸ニ大隈伯ヲ訪問シタ、其時ニ伯露バドウ云フコトヲ言ハレタカト云フト、縣會ノ決議ノ經過ヲ話スト同時ニ、静岡縣會ハモウ斯ル知事ニハ信任ヲ措クコトハ出來ナイト云フノデ、不信任ヲ決議シマシタト云フコトヲ申シマシタトコロガ、伯ハ曰ク、不信任ヲ決議シタ、モウツレナラ今後ノ途ハドウスルカト云フト、無論解散ガ、解散ノ外ハナイ人心ヲ新タニスルニハ解散ヲスル、立憲政治ノ動作ト云フモノハ縣民ノ輿論ヲ聞クノデ、縣會ノ決議ガ不當カ縣當局者ノシタ所ガ間違ッテ居ルカト云フコトヲ輿論ニ問フデアアルカラ解散宜シイ、人心ヲ新タニスルニハ解散デアアル、數回解散ト云フコトヲ斷言サレタ(解散贊成ト呼フ者アリ)私ハ非常ニ是ハ信ジタ、無論解散ノ手續ヲサレルトコトデラウト信ジテ居タ、所ガ内務省ヘ行ッテ内務省側ノ様子ヲ聞イテ見ルト、ツレハトモモ解散ナドハ出來ヌ、又無論出來マセヌト云フ官判ヲ捺ス所ノ伯トモ思ッテ居ラヌ、無論大臣ガ責任ヲ以テ解散ヲスルト云フコトヲ言明サレタニモ拘ラズ、原案執行ハ許可ニナツタガ倍デ其後解散モナシ何等ノ音沙汰モナイ、是ハ大隈伯ガ官邸ニ於テ吾々ニ言明シタコロノ静岡縣會解散ノ意志ガナイカ、解散ノ手續ヲ執ルト云フ手續中デアアルカ、或ハ内務省ノ屬僚ノ言フガ如クニ伯ガサウ云フコトヲ言ッテモ、ツレハ出來マセヌト云フ所謂屬僚政治デアアルカ、此事ヲ私ハ内務大臣ニ伺ヒタイ(痛快々々)ト呼フ者アリ)府縣制ノ精神ハ一面ニ於テハ大隈伯露ガ言ハル通り、自治デモアルシ半分ハ自治デモアルト云フコトヲ言ハレタ、ツレハサウカモ知レヌ、市町村制トハ趣ヲ異ニシテ居ッテ、純然タル自治制度デナイト云フコトハ私モ承知シテ居ルガ、少クトモ苟クモ府縣ノ此行政ヲ圓滿ニシテ地方自治ヲ發展セシムルト云フ上カラ行ケバ、縣民ノ意志ト云フモノニ對シテハ餘程重キヲ措カナケレバナラヌ、所ガ段々此官僚政治ノ通弊ト稱スベキカ官權萬能主義ガ熾シナル故カ、ドウモ府縣會ノ權限ト云フモノハイツモ無視サレル、知事ト云フモノハ各府縣知事ガ五年十年居テ、所謂長二千石トシテ牧民官トシテ所謂縣民ヲ愚フノ熱誠ガナイ、大抵渡ッテ來ル

先づ長クテ二年カ三年、時トスルト一年半位テ更迭スル、ツレ故ニ眞面目ニ縣下ノ事情ヲ攻究シテ縣民ノ福利ノ爲ニ熱誠ヲ注グコトノ者ハナシ、所謂一種ノ虛榮心ニ驅ラレテ、何カ我輩ハ此縣ニ來タカラシテ、一ツ手土産ニ仕事ヲ貽シテ行カウト云フ、十分ニ利害ハ研究ヒズシテ何カ一ツ仕事ヲ出テ行キタイト云フヤウニ、甚ダ不眞面目ナ提案ヲ縣會ニ要求スル、是ハモウ敢テ靜岡縣ト云ハズ各府縣ヲ通ジテノ通弊デアル、大隈伯ハ黨弊打破ト云フガ寧ロ官弊打破ヲ先キニスルガ宜シ、黨弊打破ハ是ハ政友會ニ對シテノ黨弊カ、或ハ同志會ニ對スル黨弊カ、是ハ私が進シテ聽カント欲スル所デアル、私ハ最早多クハ費シマセヌガ、靜岡縣ノ此知事ノ原案ヲ執行サレタ後ノ人氣ハドウデアル、人心ハドウデアルカ、下岡内務次官ハ吾々ガ内務省經過及理由ヲ陳情ニ往ツタ場合、湯淺知事ハ府縣知事中公平ナ人デアル、此公平ナル人ト云フコトハ天下何人モ否定シナイ、斯ウ云フテ非常ニ湯淺知事ニ對スル保證ヲヒラタ、私ハ個人トシテ湯淺君ト懇意デアル、故ニ湯淺君ノ人格ハ知シテ居ル、湯淺君ノ明敏ナル人デアルコト、頭腦ハナカシカリシテ理窟ニ就イテハ強イ人デアル、先づ理窟一遍ト云フテハ語弊ガアルカモ知ランガ、人格上ニ於テ頭腦ノ上ニ於テ私ハ敬服シテ居ル、故ニ湯淺知事ノ人格論ヲ下岡内務次官ヨリ聽キニ行ツタノデハナシ、其仕事ハドウデアル、其シタ仕事ガ公平デアルカ、地方ノ牧民トシテ理窟ノミテ通ルモノデナシ、適才ヲ適所ニ用ヒナケレバナラヌ、湯淺知事ハ地方行政官、地方ノ行政長官トシテ人ヲ治ムルコトヲ適才デアルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ自ラ定論ガアルカラ今爰ニ論ズル必要ハナシ、免ニモ角ニモ此靜岡縣ノ狀態ハドウデアル、縣下十二郡ハ非常ニ人心ガ沸騰シタ、甚ダ憂慮スベキコトヲ傾向ガアル、今後ニ於テハ實ニ此儘所謂大隈伯ノ解散ト云フコトヲセズシテ其儘ニウツチヤラカシテ置キマシタナラバ、ドウ云フ結果ニ陥ルカト云ヘバ、縣參事會ハ毎度知事ノ提案ニ對シテ決議シナイ、成ルベク決議シナイ既ニ原案ヲ執行シタ、斯カル不信任ノ知事ノ提案ヲ否決スルナラバ、所謂府縣制ニ據ツテ又内務省ヘ持出ス、内務省ハ原案ヲ執行スル、故ニ昨日ノ縣參事會ハ知事ノ提案ニ對シテ決議シナイ、此場合ニ於テ大隈伯ノ言明シタ如ク解散スルカ、此事ヲ尙確メテ置キタイノミナラズ、縣下十二郡ノ各有志者ハ縣民大會ヲ開キ知事ニ辭職勸告ヲスル爲メ、既ニ五郡アタリハ委員ガ出來テ、一月アタリニハ續々迫リテアラウ、サウシテ知事辭職勸告委員ハ知事ニ辭職勸告ヲ追ルト云フ覺悟デアル、其他甚ダ面白カラザル不穩ナルコトモ聞イテ居ル、故ニ用意周到ニ神經過敏ナル知事ハ之ニ向ツテ何トカ官權ニ依ツテ壓迫スルカ、懷柔スルカ分ラヌガ、免ニ角ニ二十二日郡市長會議ヲ召集シテ居ル、ツレカラ引續イテ警察署長會議ヲ召集スル手續中デアル、是ハ此沸騰シタル人心ヲ鎮撫スル爲デアル、是ハ沸騰スル釜デス、免ニ角縣有物產ノ販路ハウマク行カヌ、繭ノ如キハドウデアル、米價ハドウデアル、漆器業者ノ如キ三千人ノ失業者ガアルト云ハレタノデアル、爰ニ縣民有志ハ縣經濟ノ何モノタルヲ無視シ、三百五十万ノ龐大ナル豫算ヲ提出シテ、而モ其知事ノ意見ヲ全部原案執行シタト云フコトハ、縣民ヲ沸騰セシメタコトハ勿論デアル、決シテ政黨政派ノ問題デナシ、ツレ故反對派ハ斯カル重要問題ニ就テ政友會ガ決議セザラ奇貨措クベシトシテ、縣政刷新會ヲ起シテ煽動セシメント試ミテ居ル、是ハ縣下全體ノ著キ大問題デアル、政黨政派ノ關係デナシト云フノデ、穩健ナル實業家ハ起ツテ之ニ反對スル傾向ガアル、此ノ如ク

惡影響ヲ醸シツ、アル、此狀態ニ對シ内務大臣トシテ如何ナル今後ノ此處置ヲ執ル積リデアルカ、如何ナル善後ノ策ヲ講ズル積リデアルカ、其儘ホツタラカシテ人心ノ沸騰ニ任セルト、或ハ甚シキニ至ツテハ不納同盟ガ出來テ、是ハ能クナイコトデアルガ、或ハ赤十字社山林大會愛國婦人會ナド總テ知事ガ會長タル關係ノモノニ對シテハ甚ダ大人氣ナイコトデアルケレドモ、外ニ方法ガナイカラ是等ニ關係アル役員ハ皆ナ辭サナケレバナラヌト云フコトヲ云ツテ居ル、サウ云フ場合ニ靜岡縣ハドウナル、之ヲシモ所謂大隈伯ノ最高ノ理想最高ノ權力ニ依ツテ壓迫スルカ、掃蕩スルカ、或ハ立憲的動作ヲ取ツテ府縣會ヲ解散シテ、此ニ於テ人心ヲ新タニシテ、所謂伯一流ノ理想ヲ現出スルカ、私ハ此事ニ就テ明白ナル政府ノ答辯アラントラ、内務大臣大隈伯ノ答辯アラントラ望シテ置キマス

○議長(奥繁三郎君) 質問ハ終了致シマシタガ、報告致スコトガガイマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

蠶絲業救済ニ關スル法律案

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正三年十二月二十二日

内閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議長奥繁三郎殿

衆議院議員横田千之助君提出内閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員横田千之助君提出内閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一本年外務省令第一號ノ旨趣ハ反覆之ヲ布衍闡明スルニ努メタルモ、同省令ノ旨趣ニ背反スル事項ヲ記シタル覺書ヲ交付シ、又ハ同様ナル事項ヲ宣言シタルノ事實ナシ

一前項ニ述フルカ如ク内閣總理大臣ノ言明ハ單ニ外務省令第一號ノ旨趣ノ説明ニ止マリ、從テ同省令ノ規定ニ基ク當局大臣ノ行使スル權能トハ、何等ノ關係ナキハ勿論ナリトス

一内閣總理大臣ノ行爲ハ、内閣官制ニ違反シタルモノニ非ス

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

新聞電報保護法案

提出者 石橋爲之助君 相島勘次郎君

酒造稅法中改正法律案

提出者 井上角五郎君 工藤吉次君 三浦盛徳君

砂糖消費稅法中改正法律案

提出者 鈴木巖君 小西和君

提出者 中川虎之助君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

區裁判所復活及地方裁判所支部權限復舊ニ關スル質問

提出者 村松恆一郎君

○議長(與繁二郎君) 御諮リスルコトガアリマス、第四部選出豫算委員石黑磐君、右豫算委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可シテ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(與繁二郎君) 御異議ガナイト認メマスニ依ッテ許可スルコトニ決シマシタ、此部ノ諸君ハ補缺選舉ノ上届出アルコトヲ望ミマス、日程第一衆議院議員選舉法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス

○中村啓次郎君 此場合日程ヲ變更シテ政府提出貴族院送付ニ係リマス畜産組合法案ヲ議題トセラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(與繁二郎君) 中村君ノ日程變更ノ動議ニハ贊成アリト認メマス、且ツ別ニ反對モアリマセヌカラ、日程ハ變更サレマシタコトニ致シマス——畜産組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス

畜産組合法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

畜産組合法案

畜産組合法

第一條 本法ニ於テ家畜ト稱スルハ牛馬羊豚ヲ謂フ

第二條 牛羊豚ヲ飼養スル者又ハ馬ノ生産ヲ業トスル者ハ本法ニ依リ畜産組合ヲ設置スルコトヲ得

第三條 畜産組合ハ法人トシ畜産上ノ改良發達ヲ圖リ組合員ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第四條 組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス但シ組合ノ經營上必要アル場合ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケ畜産上ノ施設ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第五條 組合ハ組合員ニ非サル者ニシテ其ノ區域内ニ於テ家畜ヲ所有シ又ハ保管スル者ノ委託ニ依リ委託者ノ費用ヲ以テ家畜衛生上必要ナル處置ヲ爲スコトヲ得

第六條 組合ヲ設置セムトスルキハ郡市ノ區域ニ依リ組合員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ定款ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ郡市ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ家畜又ハ組合員タルヘキ者ノ種類二種以上アルトキハ其ノ種類毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ヘシ

前項組合員タルヘキ者ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 組合ノ名稱中ニハ畜産組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ

畜産組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ畜産組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八條 組合成立シタルトキハ其ノ區域内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ組合員トス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 地方長官必要アリト認ムルトキハ組合ニ對シ種畜ノ供給、種付、家畜ノ系統若ハ能力ノ登錄、家畜衛生ニ關スル施設又ハ家畜市場ノ開設ヲ命スルコトヲ得

第十條 定款ヲ變更セムトスルキハ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決シ地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ

定款ノ變更ハ經費ノ分賦收入ニ關スルトキハ前項ノ出席者及議決權ノ數ハ家畜又ハ組合員ノ種類毎ニ之ヲ計算スヘシ

定款ノ變更カ區域ノ擴張又ハ家畜若ハ組合員タルヘキ者ノ種類ノ増加ニ關スルトキハ第一項ノ議決ノ外擴張又ハ増加ニ依リ新ニ組合員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得ヘシ此ノ場合ニ於テハ第六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一條 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ所有又ハ保管ニ係ル家畜、畜産物又ハ畜産上ノ設備ニ付検査ヲ爲シ又ハ試験ノ用ニ供スル爲必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得

組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ徵收シ、其ノ違反ニ係ル物品ノ沒收其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 組合ノ經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

第十三條 組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ組合長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次クモトス

第十四條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

一 經費ノ收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 起債並其ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法

四 共濟其ノ他ノ基金ノ積立、支出及利用ノ方法

五 事業報告及收支決算ノ承認

六 訴訟、訴訟及和解

七 定款ニ定メタル事項

八 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第十五條 前條ノ事項ニ付テハ總會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲ以テ組織スル評議員會ニ委任シテ議決セシムルコトヲ得

評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 第十四條第一號又ハ第三號ノ事項ニ關シ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ組合長ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第十七條 第十四條第一號乃至第四號ノ事項ニ付テハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十九條 總會ハ組合長之ヲ召集ス

組合員其ノ總數ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得會議ノ目的タル事項及召集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ十四日以内ニ總會ヲ召集スヘシ

組合長正當ノ事由ナクシテ前項ノ期間内ニ總會ヲ召集セサルトキハ請求者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ召集スルコトヲ得

第二十條 總會ヲ召集スルニハ少クモ七日前ニ會議ノ日時、場所及目的タル事項ヲ記載シテ各組合員ニ其ノ通知ヲ發スヘシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 組合員ハ總會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ一ヲ超エサル範圍内ニ於テ二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十二條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外出席者ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十三條 組合員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ議決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ議決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席者ト看做ス

第二十四條 組合ハ命令及定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ選舉シタル議員ヲ以テ組織スル總代會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得但シ組合ノ解散、合併又ハ分割ノ議決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外總代會ニ之ヲ準用ス

第二十五條 組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長 一人
組合副長 一人又ハ數人
評議員 數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ組合長又ハ組合副長ハ特別ノ事情アル場合ニ限り組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

役員ノ任期ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

役員ハ任期中ト雖之ヲ解任スルコトヲ得

役員ノ選任又ハ解任ハ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス但シ定款ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第二十六條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アル場合ニ於テ其ノ代理ノ順序ハ定款ノ定ムル所ニ依ル

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應シ又ハ業務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十七條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條 組合ハ畜産上ノ検査ニ從事セシムル爲検査員ヲ置クコトヲ得

第二十九條 組合長ハ定款、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員又ハ組合ノ債權者ハ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合長ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十條 組合ハ左ノ事由ニ因リ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生
二 總會ノ議決
三 組合ノ合併
四 組合ノ分割
五 組合員五人以下ト爲リタルトキ
六 監督官廳ノ處分

第三十一條 組合ニシテ解散、合併又ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ第二項ノ場合ヲ除クノ外之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決スヘシ

家畜ノ種類ニ依リ組合ノ分割ヲ爲サムトスルトキハ其ノ種類ノ組合員ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ有スル者ノ同意ヲ以テ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ組合ニ對シ之ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ組合ハ其ノ權利義務ノ分割ニ付總會ニ關スル規定ニ準シ他ノ種類ノ組合員ノ議決ヲ經テ請求者ト協議スヘシ協議調ハサルトキハ地方長官之ヲ決定ス

第三十二條 組合ノ解散、合併又ハ分割ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 組合合併シタルトキハ合併ニ因リテ解散シタル組合ノ權利義務ハ合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設置シタル組合之ヲ承繼ス

第三十四條 組合分割シタルトキハ其ノ定ムル所ニ從ヒ分割ニ因リテ設置シタル組合其ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス

第三十五條 組合解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外清算ヲ

爲スヘシ

民法第七十二條、第七十三條及第七十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

民法第七十九條及第八十條ノ規定ハ第三十條第一號、第五號又ハ第六號ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 組合ハ債權者ノ同意ヲ得又ハ異議アル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ若ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ組合ノ解散、合併、分割若ハ區域ノ除外又ハ家畜若ハ組合員ノ種類ノ減少ニ關スル定款ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 組合ノ會議ノ議決又ハ役員ノ行為カ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ其ノ議決ヲ取消シ、議員若ハ評議員ノ改選ヲ命シ、組合長若ハ組合副長ヲ解任シ又ハ組合ノ業務停止若ハ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十八條 主務大臣又ハ地方長官ハ組合ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類帳簿業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、定款又ハ豫算ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ組合ノ合併又ハ分割ヲ命スルコトヲ得

第三十九條 地方長官左ニ掲クル事項ニ付認可ヲ爲シ又ハ前二條ノ處分ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示スヘシ

一 組合ノ設置
二 組合ノ區域ノ擴張又ハ家畜若ハ組合員タルヘキ者ノ種類ノ増加ニ關スル定款ノ變更
三 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任
四 組合ノ解散、合併又ハ分割

主務大臣前項ノ事項ニ付前二條ノ處分ヲ爲シタルトキハ關係地方長官ヲシテ之ヲ告示セシムヘシ

第四十條 組合ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲畜產組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得

畜產組合聯合會ハ法人トス

第四十一條 聯合會ヲ設置セムトスルトキハ定款ヲ作り其ノ區域一府縣以內ノモノニ在リテハ地方長官、二以上ノ府縣ニ互ルモノニ在リテハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條 聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人
副會長 一人又ハ數人
評議員 數人

第四十三條 畜產組合ニ關スル規定ハ第二條、第三條、第六條、第八條、第十條、第十三條、第二十三條、第二十四條及第二十五條第一項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ聯合會ニ準用ス但シ地方長官トアルハ二以上ノ府縣ニ互ル聯合會ニ在リテハ主務大臣トシ第十一條及第二十五條第二項中組合員トアルハ聯合會ヲ組織スル組合ノ組合員トシ第三十條第五號中五人以下トアルハ一トス

條第三項、第十三條、第二十三條、第二十四條及第二十五條第一項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ聯合會ニ準用ス但シ地方長官トアルハ二以上ノ府縣ニ互ル聯合會ニ在リテハ主務大臣トシ第十一條及第二十五條第二項中組合員トアルハ聯合會ヲ組織スル組合ノ組合員トシ第三十條第五號中五人以下トアルハ一トス

一府縣以內ノ區域ニ依リタル聯合會ニシテ合併又ハ區域ノ擴張ニ依リ二以上ノ府縣ニ互ルヘキ場合ニ於テハ其ノ認可ハ主務大臣之ヲ行フ

第四十四條 組合又ハ聯合會ノ役員ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ三百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第四十五條 組合又ハ聯合會ノ役員又ハ検査員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス四テ不正ノ行為ヲ爲シ又ハ相當ノ行為ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第四十六條 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第四十七條 本法中府縣、郡、市町村トアルハ府縣制、郡制、市制、町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

產牛馬組合法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前產牛馬組合法ニ依リ設置シタル組合又ハ聯合會ハ本法ニ依リ之ヲ設置シタルモノト看做ス但シ其ノ定款中本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スルモノアルトキハ命令ノ定ムル期間內ニ之カ變更ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

(政府委員上山滿之進君登壇)

○政府委員(上山滿之進君) 唯今貴族院ヨリ本院ニ送付ニナリマシタ畜產組合法案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、此法律案ハ現行法ノ產牛馬組合法ニ代ル性質ノモノデ、產牛馬組合法デハ產牛ト產馬ダケニ付テシカ組合ノ出來ナイモノデアールコトハ、法律ノ名前ノ示ストコロデアリマス、併シナガラ此法律制定以後段々畜產業ガ發達致シマシテ、今日ニ於テハ羊及豚ニ付テモ組合ヲ設ケサス必要ノアルヤウナ狀況ニナリマシタ、ツレデ此範圍ヲ廣ク致シマシテ、畜產組合法ト云フモノニ致シマシタノデアリマス、尙其法律ニ依テ支配サル、家畜ノ種類ガ殖エテ來テ、是マデハ家畜ノ生産ダケニ付テ組合ガ設ケラル、コトニナッテ居リマシタガ、今後ハ生産ノ外ニ其飼養飼育ニ付テモ、組合ノ設ケ

ラル、ヤウニシタイト云フノガ一ノ要點アリマス、ツレカラ尙今一ノ要點ハ組合ノ經費、之ヲ市町村稅徵收ノ方法ニ依テ取立テルコトヲ途ヲ聞クト云フ點ニアリマス、是ハ此公ノ法人デアル組合ノ事業ヲ遂行シテ行く上ニ於テ、是非必要ナコトヲゴザイマス、ノミナラズ今度ノ組合法案ニ於キマシテ、或程度ニ於テ組合ハ營利事業ヲ營ムコトが出来ルヤウニ致シマシタ、營利事業ヲ營ム以上ハイロ／＼ノ人ト債權債務ノ關係ヲ生ズル、此債權者ヲ保護スル上ニ於テモ組合ノ成立ノ確實デアルコトガ必要デアリマスカラ、旁ラ此規定ヲ入レマシタ、是ハ外ニモ段々例ガゴザイマシテ、現行法ニ於テモ耕地整理法ニ於テモ、ヤハリ此規定ガゴザイマス、其他總テ現在ノ規定ノ不備ノ點ヲ補足致シマスニ過ギマセヌ、ツレ等ノ詳細ノ點ハ何レ委員ガ設ケラレマスレバ、委員會ニ於テ詳シク御説明ヲ致シマス、ドウゾ速カニ議決セラレテ確定スルコトヲ偏ニ希望致シマス

○議長(奧繁三郎君) 別ニ質問モナイヤウデスカラ次ニ移リマス、畜産組合法案、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 中村君ノ動議ニ反對ハナイト認メマス、依ッテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

○中村啓次郎君 此場合尙日程ヲ變更シ米價調節所法案ヲ議案トセラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 中村君提出ノ日程變更ノ動議ニハ贊成アリト認メマス、尙別ニ反對ガアリマセヌカラ日程ハ變更致シマシタ、米價調節所法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者戸水寛人君

米價調節所法案(戸水寛人君外六名提出)

第一讀會

米價調節所法案

第一條 米價調節所ハ爲米價調節所ヲ設ク

第二條 米價調節所ハ農商務大臣ノ所管トス

第三條 本法ニ於テ米價調節所ハ日本ニ於テ生産スル玄米ヲ謂フ

第四條 主務大臣ハ米價著ク下落若ハ騰貴ノ場合ニ於テハ委員會ニ諮問シ

最低最高價格ヲ定メ之ヲ公布スヘシ

第五條 主務大臣ハ市場ニ於ケル玄米一石ノ價格最高標準ヲ超過スルトキ

ハ米穀取引所ノ米ノ取引ヲ停止スヘシ市價最低標準以下ニ落ルトキハ政

府ハ市場ヨリ米ヲ買收シ市價最低價格標準ニ至ルニ及テ止ム

第六條 米價調節所ハ前條ノ處分ヲ爲スニ方リ豫メ委員會ノ決議ヲ經主務

大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 米價調節所ノ組織及委員並委員會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ

定ム

第八條 米價調節ニ要スル資金ハ米價調節所請券ヲ以テ之ニ充ツ證券ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(「戸水寛人君登壇」)

○戸水寛人君 米價調節所法、斯ウ云フ法律案ヲ提出致シタノデゴザイマス、米價ガ非常ニ下落致シテ之ヲ調節シナケレバナラヌト云フ議論ガ朝野ニ喧シイト云フコトハ、諸君モ御存ジノ通りデゴザイマシテ、ツレデ此議會ニ於テ質問モ出マシタノデアル、建議案モ提出セラレマシタ、今日會議ノ劈頭ニ於テ朗讀セラレタコロノ政府ノ答辯ヲ聽キマスト云フト、政府ニ於テモヤハリ委員會ヲ設ケテ事實ヲ調査調ベテ居ルサウデアル、洵ニ結構ナコト、思ヒマスガ、私共モ米價調節ニ關シテイロ／＼研究致シマシテ、法律案ヲ二ツ拵ヘマシタノデアルガ、其一ヲ提出致シマシタノデ、委員會ガ開カレタナラバ、今一ツノ案モドウカ委員ノ前ニ提出致シマシテ、御研究ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、強イテ此案ヲ固執シタイト云フ譯デモゴザイマセヌガ、米價調節ニ關シテ適當ナル法律案ノ出ルト云フコトヲ希望スルノデゴザイマシテ、諸君ノ御協賛ヲ願ヒタイノデアリマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 中村君ノ動議ニハ贊成アリト認メマス、且反對ガアリマセヌカラ中村君ノ發議通り、議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ可決ニナリマシタ

○中村啓次郎君 此場合尙日程ヲ變更シ、蠶絲業救濟補償法案ヲ議題トセラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 中村君發議ノ日程變更ニハ贊成アリト認メマス

(「此時」能ク分リマセヌ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 蠶絲業救濟補償法案ヲ日程ニ載セルト云フノデス

○伊東知也君 餘リ日程ノ變更ハ望ミマセヌ

○議長(奧繁三郎君) 日程變更ニ反對デスカ——反對ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○伊東知也君 是デケハ贊成致シマス

○議長(奧繁三郎君) 全部贊成ト認メマス、日程ハ變更サレマシタ、依ッテ蠶絲業救濟補償法案ノ第一讀會ヲ開キマス——西谷金藏君

蠶絲業救濟補償法案(戸水寛人君外九名提出) 第一讀會

蠶絲業救濟補償法案

蠶絲業救濟補償法

第一條 政府ハ本邦ニ於テ製造シタル生絲カ時局ノ影響ニ依リ價格ノ甚ク

低落シタル場合ニ於テハ横濱正金銀行及政府ノ指定セル銀行ヲシテ金二

千萬圓ヲ限度トシ生絲ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲サシムルコトヲ得

第二條 前條ノ資金ハ日本銀行ヨリ融通セシメ其ノ貸付利子ハ年六分トシ

内二分ハ日本銀行ニ收メ一分ヲ取扱銀行ノ手数料トシ三分ヲ貸付金損失ノ補償積立金トス

前項ノ融通金ニ對シテハ兌換券發行稅ヲ免除ス

第三條 前條ノ擔保價格ヲ協定スル爲横濱正金銀行ニ若干名ノ商議員ヲ置ク

前項ノ商議員ハ主務大臣之ヲ囑託ス

協定セル擔保價格ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 横濱正金銀行及政府ノ指定セル銀行カ第一條ノ貸付ニ依リ缺損ヲ生シ第二條ノ補償金ヲ以テスルモ尙足ラサル場合ニ於テハ政府ハ其ノ缺損ノ補償ヲ爲シ又過剩アルトキハ政府ニ納ムヘシ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔西谷金藏君登壇〕

○西谷金藏君 諸君、私共提出致シマシタ蠶絲業救済補償法案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ケマス、此時局ノ突發致シマシタ以來、輸出貿易ガ多大ノ打撃ヲ受ケマシタコトハ申スマデモゴザイマセヌガ、其中ニ付テ生絲輸出ガ最大打撃ヲ受ケマシタコトモ亦諸君既ニ御承知ノ通りデアラウト考ヘマス、此理由ヲ申上ケマスレバ、餘程長ク時間ガ掛ルト考ヘマスルガ、總テノ點ニ付テハ既ニ是マデ建議案提出ノ際ニ於テ本會ニ提出者ヨリイロ／＼其理由ヲ陳述セラレ、又各種ノ委員會ニ於テツレ／＼其理由ヲ發表サレマシテ、既ニ本會諸君ハ逐一御承知ニ相成ツテ居ルコト存ジマスルガ故ニ、其詳細ナル理由ヲ略シマスルガ、茲ニ極ク簡單ニ一ニ申シマスレバ、本年ノ八月ニ歐羅巴ノ戰亂ガ始マリマシテ當時丁度夏秋蠶ノ掃立ノ——秋蠶ノ掃立ノ時期ニ遭遇致シテ居リマシタガタメニ、各地ノ養蠶家ハ是ガタメニ非常ナ杞憂ヲ懷キマシタ結果、本年ハ横濱ニ出ストコロノ絲ノ箇數ガ昨年ニ比較致シマシテ約五万捆或ハ多クハ六万捆ニ達スルカモ知レマセヌ、唯僅ニ秋蠶ノ或ル一部ヲ飼育スルトキニ方ツテ此事ガ起リマシタ結果トシテ二十六万捆、昨午出マシタモノガ本年急三十一万捆、若クハ其以內ニ減ズル見込デゴザイマス、又此輸出ノ金ニ於テ考ヘマシテモ、輸出總額ハ昨年ノ生絲總額ハ約一億圓ニ達シテ居ルト存ジマス、然ルニ是モ本年ノ同期若クハ今日ノ生絲相場ヲ以テ明年五月即チ明年ノ新繭マデニ生絲賣出價格ヲ推算致シマスレバ、約七千八百五十二万七千九百八十七圓ハカリノ損失ニナルト考ヘマス、此爲メニ製絲家若クハ此生絲賣出問屋或ハ之ヲ援ケテ居ルトコロノ銀行ガ窮地ニ陥ツテ居ルト云フコトハ申スマデモゴザイマセヌガ、更ニヨリ多クノ杞憂ヲ懷キマスルコトハ斯ノ如クニシテ推行ケバ明年以後ノ此生絲ノ產額、所謂此養蠶ノ掃立ノ上ニ偉大ナル關係ヲ及ボシ、遂ニ帝國唯一ノ國產ノ基礎タルトロノモノヲ破壊セントスルノ虞ガゴザイマスルガ故ニ、吾々ハ茲ニ此法律案ヲ提出致シマシタ次第ニシテ、此法律案ノ内容等ノ詳細ニ至リマシテハ、委員會ニ於テ篤ト説明ヲ致シタイト考ヘマス、茲ニ簡單ニ提出ノ理由ヲ申上ケテ諸君ノ御賛成ヲ乞ヒタイト存ジマス（拍手起ル）

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 中村君ノ發議ニ贊成ガアルト認メマス、因テ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——相島勸次郎君

第一 衆議院議員選舉法中改正法律案（關直彦君外 第一讀會 四名提出）

衆議院議員選舉法中改正法律案

衆議院議員選舉法中左ノ通改正ス

第八條第一號中「年齡滿二十五年以上ノ者」ヲ「年齡滿二十年以上ノ者」ニ改ム

同條第三號中「選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上土地租十圓以上又ハ滿二年以上土地租以外ノ直接國稅十圓以上若ハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ十圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者」ヲ「選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上直接國稅五圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者」ニ改ム

同條第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

四 府縣立師範學校、中學校若ハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校又ハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學、政治學、理財學ヲ教授スル私立學校ヲ卒業セル者

第十條中「年齡滿三十年以上ノ者」ヲ「年齡滿二十五年以上ノ者」ニ改ム

第十八條第四項中「及納稅地」ヲ「納稅地及學歷」ニ改ム

第十九條ノ二 選舉人第八條第四號ニ該當スルトキハ選舉人名簿調製ノ期日滿一箇年前ニ其ノ證據ヲ具ヘテ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期日迄ニ届出ヲ爲ササルトキハ選舉權ヲ有セス

別表中左ノ如ク改ム

東京府	市	十五人
郡	部伊豆七島トモ	八人
大阪府	市	十人
堺市	市	一人
郡	部	七人
神奈川縣	市	三人
橫濱市	市	一人
橫須賀市	市	一人
郡	部	五人
兵庫縣	市	三人
神戸市	市	八人

北海道廳

札幌區

一 人

函館區

一 人

小樽區

一 人

旭川區

一 人

札幌留萌

六 人

宗谷上川

六 人

空知室蘭

六 人

浦河各支廳

六 人

管内

六 人

函館檜山

三 人

後志各支廳

三 人

管内

三 人

根室釧路

一 人

河西網走

一 人

各支廳管内

一 人

(根室支廳管内千島ニ屬スル諸郡ヲ除ク)

沖繩縣

一 人

那霸區

一 人

郡

三 人

(相島勘次郎君登壇)

(拍手起ル)

○相島勘次郎君 私ハ今茲ニ關直彦氏以下四名ニ依テ提出致シマシタコロノ衆議

院議員選舉法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、此議案ハ毎年提

出スルノデアリマス、併ナガラ立憲國ノ問題トシテハ最も重大ナル問題ナリト信ズルガ故

ニ、例年提出スルノ理由ヲ以テ簡單ニ其趣旨ヲ辯明スルト云フコトハ出來マセヌ、併ナ

ガラ成ルベク昨年ノ此議案ニ於テ申シマシタコロノ點ハ避ケマシテ、提出ノ理由ヲ申述

ベタイト思ヒマス、申スマデモナク選舉法ト申シマスモノハ國民ノ中ヨリ代表者ヲ選出

スルトコロノ方法ニ就テノ法則デアリマスカラシテ、選舉法ノ理想トスル所ハドンナモノデ

アルカト云ヘバ最も適當ナル代表者ヲ得ル方法ヲ講ズルト云フノニアリマス、最も適當ナ

ル候補者 最も適當ナル國民ノ代表者ト云ヘバソレハ優良ナル政治家デナケレバナラ

ヌト云フコトハ論ヲ俟チマセヌ、又併ナガラ優良ナル政治家思慮堅實ニシテ主義政見ア

ル政治家ヲ選出スルト同時ニ、國民中ノ總テノ階級、有ラユル團體ニ利益アル者ヲ成

ルベク廣ク代表スルト云フコトカ必要デアラウト考ヘラレマス、ソコデ第一ノ優良ナル立

派ナルコロノ政治家ヲ出スト云フコトノタメニハ、選舉權ト云フモノハ成ルベク狹イ方ガ

宜シイカモ知レナイ、成ルベク狹イ範圍ニ制限シタ方ガ偉イ人ガ出ルカモ知レマセヌ、併

サレテ居ルノデアリマス、勿論我等ハ度々申ス通り、普通選舉ノ理想ヲ持ッテ居ル者デア

リマス、議會ノ勢力ヲ最も鞏固ナラシムルト云フコトハ國民ノ後援ヲ最も多ク求メルト云

フコトデアッテ、國民後援ノ力ヲ最も廣ク最も大ニ求メルト云フコトハ如何ニイロクノ

反對者ガアリマシテモ、ドウシテモ普通選舉ヨリ他ニ手段ガナイト私ハ確信シテ居リマ

ス、併ナガラ今ハ其時機ニ日本ノ文明ノ程度ハ達シテ居ラヌカノヤウニ考ヘマスカラシ

テ、此制限選舉法ヲ提出シタ譯デアリマス、デ此サウ云フ考ニ基イテ提出シタノデアリマ

スガ、此議案ノ主眼トスル所ハ從來ノ選舉資格ヲ直接國稅十圓トアルノヲ五圓ニ改メ

ルト云フコト、選舉資格ノ二十五歳ヲ二十歳ニ引下ゲルト云フコト、被選舉資格

ノ三十歳ト云フノヲ二十五歳ニ引下ゲルト云フコト、所謂智識階級、府縣立師範學

校、中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校又ハ

文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學、政治學、理財學ヲ教授スル私立學校ヲ卒

業セル者、此智識階級ヲ加ヘタコトガ主眼トナッテ居リマス、此ノ年ヲ何故ニ引下ゲタカ

ト云フヤウナコトニ就テハ、前ノ議會ニ於テ申上ケマシタカラシテ私ハ深く申上ケマセヌ

ケレドモ、併ナガラ成ベク人間ヲ早ク活動ノ緒ニ著カセルト云フコトガ國家ノ理想

デナケレバナラヌデアッテ、此理想ガアッテ初メテ國ハ發展スルノデアル、申スマデモナク所

謂「アングロサクソン」ト云フヤウナ人ハ準備ノ時代ト云フモノヲ成ベク短クシテ、活動ノ

時間ヲ成ベク長クスルコトガ茲ニ英國ガアリ、茲ニ米國ガアルノデアリマス、ソレ故ニ我日

本ニ於テモ教育制度調査會ト云フヤウナモノガ行ハレテ、成ベク短イ時間ニ於テ世ノ

中ノ役ニ立ツ人間ヲ得ヘタイト云フ現ニ議論ノアルト云フコトモ、同ジク準備時代ハ成

ベク短クシテ、サウシテ活動ノ時間ヲ長クシタイト云フ精神カラ出ルノデアリマス、此理想

ハ此選舉法ニ於テモ加味シナケレバナラヌデアッテ、成ベク若イ人ニ選舉權ヲ與ヘルト

云フコトハ、若イ時分カラシテ政治ト云フコトニ趣味ヲ以テ、當リ前ノ人間トナルト云フ

資格ヲ與ヘルノデアリマスカラ、唯モウ此事カラ申シマシテモ年若イ人ニ選舉權ヲ與ヘ、

若クハ被選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ國ノ發達ノ上ニ於テ洵ニ必要ナコト、私ハ考ヘマ

ス、又若イ人ニ選舉權ヲ授ケルト云フコトハドウデアルトカ、斯ウデアルトカ云フ議論ガアリ

マセウケレドモ、併ナガラ政治ノ事ト云フモノハ將來ノコトデアル、政治ハ過去ノ學問デア

ナイ將來ノ學問デアルガ故ニ、將來日本ノ憲政ヲ如何ニスベキヤト云フコトヲ最も慎重ニ

考フベキコトデアッテ、是マデ若イ人ガドウデアルトカ、斯ウデアルトカ云フヤウナコトハ殆ド眼

中ニ置ク必要ガナイト思フ、ソレ故ニ私ハ此ノ年代ヲ引下ゲテ、サウシテ若イ人ニ選舉權

ヲ與ヘタイトデアリマス、又中學校ヲ卒業シテモ常識ガナケレバ仕方ガナイデハナイカト云

フ非難ガ此前ノ議會ニ於テ横田君カラ 非難ト申スヨリハ御注意ガアッテデアリマ

ス、ソレ故ニ私共一方ニ於テ中學校學科制度ノ上ニ於テノ議案ヲ出シテ居リマスルガ、

成程中學校ヲ卒業致シマシテモ常識ガ發達シナケレバ仕方ガアリマセヌ、ソレ故ニ常識

ト云フコトハ最も大事ニ致スノデアリマスカラ、圓滿ナル常識ヲ發達スル爲メニハ中學校

ノ方ノ改正ノ建議ヲ私ハシテ居リマスガ、要スルニ誰ガ常識ガアルト云フコトハ外ニ方法

モナイ、直グオ前ハ常識ガナイト云フヤウナ次第ニハ參リマセヌカラ、已ムヲ得ズ中學校以

圓以上直接國稅ヲ納メル人ニハ選舉權ヲ與ヘルト云フコトマデニ進歩シテ居ルト云フコトデアル、唯智識階級ヲ加ヘルコト、年齢ヲ引下ルト云フコトニ就テハ、政府ノ是ヨリ差出サントスルトコロノ案ニハナイト云フコトデアリマスガ、吾々ハ何レカト言ヘバ財産ニ資格ヲ置イテ選舉權ヲ定メルト云フコトハ、本當ノ理窟ニハ適ハナイト思フテ居ルデアアル、唯併ナガラ國家ノ代表者ト云フモノヲ、丁度國ノ進歩ニ應ジテ適當ナル人ヲ出サウトスレバ、誰カガ之ヲ代表シテ出サナケレバナラヌ、其代表スベキ人トシテハ先ヅ以テ當リ前ノ財産ノアル人ガ宜カラウト云フ見地カラ、此五圓ノ資格ヲ置クノデアアル、之ヲ最モ適當ナル資格トハ認メテ居ラヌデアリマスカラ、茲ニ智識階級ヲ加ヘルノデアリマス、又是モ諸君ノドナタモ御存知ノコトデアアルガ、唯今英國ニ於テ選舉權ヲ持テ居ル人ハドウカト云フト、百分ノ一七、佛蘭西ハ百分ノ二七、六、獨逸帝國ハ二二、二、白耳義ハ二二、ソレデアアルニ日本ハ僅ニ二九ト云フ數デアッテ、非常ニ選舉權ガ少ナキノデアアル、是ガ非常ニ國ニ害ヲ爲スノデアアル、現ニ英國ノ上院ガ次第々々ニ勢力ノ衰ヘルノハ何ノ爲メデアルカト云フト、國民ノ公選ニ依ラズシテ彼等ハ云フ事ニナッテ居ルカラシテ、次第々々ニ衰ヘテ來ルノデアリマス、ドウシテモ國民多數ガ政治ヲ了解シ國民多數ガ政治家ノ後援ヲスルト云フ、所謂政治上ニ於テノ無責任者ガ少ナクナレバ少クナル程國ノ政治ハ良クナルノデアッテ、低イ階級ト云フモノニ此選舉權ヲ與ヘタナラバ、ソレガ爲メニ政治ヲ害スルト云フヤウナ議論ハ全ク古臭イ説ト言ハネバナラヌデアリマス、私ガ考ヘマスルノ今同ノ議案ノ如キ——今回政府ガ提出シタル所ノ豫算案ナドヲ見マスルト云フト、軍事費ト云フモノガ總テノ豫算案ノ非常ナル部分ヲ占メテ居ッテ、サウ云フ豫算ガ出來ルト云フコトハ何ノ爲メカト云フト、是ハ國ノ國防ト云フコトヨリハ寧ロ薩長ノ權衡ヲ取ルト云フヤウナ、其蠶絲タル惡シキ傾向ガデス、ソレハ非常ナル豫算案ノ上ニ軍事費ノ多額ヲ來スコトガアルカモ知レヌ、ソレヲ吾々議員ガ本當ニ良心ノ命ズル儘ニ之ヲ斷ズルコトモ出來ナイト云フコトハ何デアルカト云フト、國民後援ノ力ガ弱イカラデアアル、國民後援ノ力ガ強ケレバ解散モ糞モアツタモノデナイ、直ニ斯ウ云フ議案ト云フモノハ排斥シ得ルノデアアル、然ルニ是ガ出來ナイト云フハ國民後援ノ力ガ少ナキノデアアル、是ガ少ナイト云フコトハ選舉權ノ少ナイト云フコトデアアル、苟モ民一票ノ選舉權ヲ持テサウシテ責任ヲ持ッテ、政治ニ間接ニ關係スル人ガ多ケレバ國ノ教育ハ年々進歩スルノデアリマスカラ、此進歩シタル國民ガ百人千人万人ト多ケレバ多イ程後援ノ力ガ強クナッテ、ソレヲ正シイ道ニ導ケバ立憲政體トシテハ是ガ理想デアアルデアアル、又現政府ハ何カト云フト——現政府ガスルノデナイカモ知レナイ、或ハ御用新聞ガソレヲ受ケテスルノカモ知レナイガ、解散風ガ能ク吹クノデアルケレドモ、解散風ハ怖クナイ、解散ト云フハ寧ロ何方ガ正シイカト云フコトヲ國論ニ問フノデ、之ヲシテ貴ハナケレバ自分ガ正シイカ正シクナイイカ分ラヌデアアル、然ルニ解散ト云フコトヲスル方デモサレ方デモ苦痛ニ思フノハ何デアアル、選舉ト云フモノニ非常ナ弊害ガアルノハ勿論デアルケレドモ、弊害ハカリデハナイ、是ガ或僅ノ人ニ限定サレテ居ルノガ病ノ本デアルト私ハ確信シテ居ル、若モ此選舉權ガ私ノ言フヤウニ五圓以上ノ直接國稅二十年以上ノ男子、或ハ中學校程度ノ學科ヲ卒業シタルト云フ知識アリ常識アリ、若クハ恆心アリ恆産アルトコロノ人ニ、モウ少シ多ク

振撒カレテ、サウシテ少クモ英國ノ半分位マデ進シタラバ、國ノ政治ハ必ズ改善サルルニ違ヒナイト私ハ熱心ヲ持ッテ考ヘテ居リマス、此議案ハ年々差出シマシテ、サウシテ何時モ否決ノ運命ニ遭フデアリマスガ、併ナガラ今日ノヤウナ時局ヲ見ル度ニ從來反對ナステ居ル御方々モ、是ハドウシテモ選舉權ヲ擴張シテ國論ノ後援ヲ正シク受ケナケレバナラヌト云フコトヲ御考ニナッタコトデラウト私ハ考ヘテ居リマス、ドウゾ今年ハ時代モ此通り變リ、政變モ亦良キ教育ヲ吾々ニ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、全會一致ヲ以テ吾々ノ此案ニ贊成サレンコトヲ希望致スデアリマス(拍手起ル)

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(與繁二郎君) 中村君ノ發議ニハ贊成ガアリマシテ且ツ反對ガナイト認メマス、依テ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ可決ニナリマシタ——日程第二、蠶絲業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、高津仲次郎君

第二 蠶絲業法中改正法律案(高津仲次郎君外四名 第一讀會 提出)

蠶絲業法中改正法律案

第二十六條中「府縣ノ負擔トス」ヲ「國庫ノ負擔トス」ニ改メ但書ヲ削ル

第二十七條 削除

(高津仲次郎君登壇)

○高津仲次郎君 本案ハ是レマデ屢々提出セラレタ問題デゴザイマスカラ、私ハ簡單ニ提出ノ理由ヲ説明致サウト思ヒマス、本案ハ蠶絲業法中第二十六條「蠶病豫防事務及地方種蠶審查會ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス」トアリマスノヲ「國庫ノ負擔トス」ト改メマシテ、但書「國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得」トアリマスノヲ削除致シマス、次ニハ第二十七條「府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關スル手数料ヲ徵收ス」トアリマスノヲ削除致スノ改正案デゴザイマス、我國ノ蠶絲ハ貿易輸出品中ノ三分ノ一ヲ占メテ居リマス、貿易ノ均衡ヲ保ツトコロノ重要物産デアルト云フコトハ今更申上ゲルマデモゴザイマセヌ、而シテ此蠶絲業ノ盛衰ト云フコトハ、直ニ國力ノ消長ニ關スル程ノ大切ナル物産デゴザイマシテ、此蠶絲業ノ改良發達ト云フコトニ付キマシテハ、種々ナル方法モゴザイマスルガ、就中蠶病ノ豫防種蠶ノ検査ト云フコトハ最モ急務ナルコトデアリマス、蠶病ノ豫防ヲ爲シテ蠶絲業ヲ保護シ蠶業ノ發達ヲ圖リ、又種蠶ノ審查ヲ遂ゲテ種蠶ノ統一ヲ圖リ、品質ノ改良ヲナシ、歐羅巴ノ生絲ノ聲價ヲ爭フト云フコトハ、今日急務中ノ急務ナルモノデアリマス、此蠶病ノ豫防種蠶ノ審查ト云フコトハ、獨リ一地方一府縣ノ事業ニアラズシテ、中央ニ於テ當然ナスベキコトノ事業デアリマス、然レバ此事業ニ對スルトコロノ費用ニ付テハ、勿論國庫ニ於テ負擔スルガ當然デアラウト思フデアリマス、然ルニ本案ニハ之ニ關スル費用ハ「府縣ノ負擔トス」トシテアリマスガ、之ヲ改メマシテ「國庫ノ負擔トス」ト云フコトニ致スヲ當然ナルコトデアラウト思フ、又第二十七條ノ蠶種検査手数料ヲ、検査ヲ受クルトコロノ者ヨリ徵收スルト云フコトハ、勅令ニ依テ今日ハ特別蠶種一枚ニ付テ三錢、普通蠶種一枚ニ付テ二錢ト云

フ過重ナルトコロノ手數料ヲ蠶種製造家ヨリ徵收致シテ居リマス、一體蠶種ノ検査ト云フコトハ獨リ蠶種製造家ヲ保護スルニアラズシテ、蠶種ヲ需要スルトコロノ養蠶家ヲ保護スルト云フノ目的デアリマス、其故ニ蠶絲業界全般ノ保護全般ノ利益ヲ圖ルト云フノ目的デアリマス、即チ國家公益ヲ圖ルト云フノ目的デアリマス、然ルニ蠶種検査ニ對スルトコロノ費用ヲ、蠶種検査ヲ受クルトコロノ蠶種製造家ヨリ徵收スルト云フコトハ甚ダ不當デアラウト思フデアリマス、若シ是レガ蠶種製造家ノ希望ニ依テ蠶種検査ヲ受クルト云フナラバ、蠶種検査ヲ請求スル者ヨリ徵收スルコトハ當然デアリマセウガ、法律ヲ以テ強制的ニ検査ヲ行フト云フ場合デアラバ、當然是レハ國庫ニ於テ其費用ヲ負擔スルト云フコトハ論ノナイ話デアラウト思フ、恰モ肺結核病豫防ノ爲メニ要スルトコロノ費用ヲ肺結核病患者ヨリ徵收スルト同ジコトデアリ、不當ト云フヨリハ甚ダ殘酷ナル方法デアルト私ハ考ヘルデアリマス、ソレ故ニ第二十七條ヲ削除致シマシテ、蠶種検査手數料ヲ全廢シヤウト云フデアリマス、今日ハ歐洲ノ蠶業國ニ於キマシテハ、佛蘭西ナリ伊太利ナリ、埃太利ナリ、總テ此蠶絲業界ノ保護獎勵ト云フコトニ付キマシテハ、多額ナル國費ヲ投ジテ熱心ニ力メテ居リマス、然ルニ外國ノ蠶絲業界ハ前申シマス通り、貿易品ノ二分ノ一ヲ占ムルトコロノ大切ナルトコロノ事業デアリ、ソレニモ拘ラズ此蠶絲業ニ對シテ政府ガ何等保護獎勵ニ付テ見ルベキモノハナイト云フコトハ、甚ダ私ハ痛嘆ニ堪ヘヌデアリマス、獨リ保護獎勵ノ不十分ナルノミナラズ、唯今申上ケマスルヤウニ蠶絲業界ノ發達ヲ阻害スベキトコロノ本案ノ改正案ニ付テ、是マデ屢々本會ニ提出致サレマスガ、之ニ對シテ政府當局者ガ本案ニ對スル態度ノ甚ダ冷淡ナルコトハ、私ノ實ニ遺憾トスル所デアリマス、ドウゾ諸君ハ斯業ノ發達ノ爲メニ本案ヲ通過ニ務メラレンコトヲ切望ニ堪ヘマセヌ

(贊成々々「拍手起ル」)

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 中村君ノ發議ニ贊成アリト認メマス、仍テ中村君發議ノ通り議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ——日程第三、營業稅法廢止法律案、第一讀會ヲ開キマス、大口喜六君

第三 營業稅法廢止法律案(高木益太郎君外五名提 第一讀會 出)

營業稅法廢止法律案

營業稅法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大口喜六君登壇)

○大口喜六君 私ハ提出者ニ代ハリマシテ、營業稅全廢ニ關スル理由ヲ説明致シタイト思フデアリマス、凡ソ我國ノ營業稅ナルモノガ根本的惡稅デアルト云フコトハ天下ノ輿論デアルト信ズルデアリマス、然ルニ前通常議會ニ於テ本問題ニ關シマシテ大分反對ノ意見モ現ハレタノデゴザイマスガ故ニ、私共ニ於キマシテハ更ニ其研究ヲ進ムルコトニ

意ヲナカッタデアリマス、然ルニ是ガ研究ヲ累ネテ見レバ、累ネテ見ルボド益々吾々ハ本稅ガ惡稅デアルトコトヲ信ジテ疑ハナイデアリマス、ソレ故ニ本議會ニ於キマシテモ重ネテ本問題ヲ提出シテ次第デアリマス、本問題ノ理由ニ付テハ此前ノ通常議會ニ於テモ議論ヲ致シタコトデアリマスガ、故ニ成ルベク其時ニ觸レナカッタ事柄ニ付テ申述ベルコトニ致シマシテ、重複ハ避ケタイト思フデアリマス、免ニ角本問題ニ關シマシテ之ヲ歴史的二研究シテ見マスルト、營業ナルモノハ全體如何ナル理由ニ依テ我國ニ起ッタノアルカ、御承知ノ如ク日清戰爭ニ當リマシテ、我國ハ戰時費トシテ非常ナル費用ヲ要求シタデアリマス、ソレ故ニ非常特別稅トシテ此營業ナルモノヲ起サレタデアリマス、ハ隨分重稅デアルト感ジタデアリマス、我國民ハ非常ノ稅デアリマスガ故ニ、斯ル時ニハ之ヲ受ケナクテハナナイ、若シ戰爭終ッテ財政ノ整理ガ出來タ場合ニハ、此稅金ハ廢セラレ、モノデアルト信ジタコト、私共ハ疑ハヌデアリマス、然ルニ戰爭ガ濟シタ財政整理ガ出來テ此稅金ガ廢セラレカト思ッテ居ルノニ、却テ此戰後ノ經營ノタメニ營業稅ハ續ケラル、コトニナッテ、會テ非常特別稅ナリシモノガ普通ノ稅金ト相成ッタデアリマス、ケレドモ我國民ハ今ハ戰爭後デアリマスガ故ニ、種々ナル設備ガ要ルデアリ、經營ガ要ルデアラウ、其間ハ已ムヲ得ザルモノトシテ尙忍ンデ居ッタデアリマスガ、幸ニ經費ノ節減モ出來行政ノ整理ガ出來タナラバ、此營業稅ハ全廢セラレ、ト云フコトハ、今尙國民全體ガ期待シテ居ルコト、私共ハ信ズルデアリマス、斯ノ如キ譯ニ依テ出來上ッタトコロノ營業稅デアリマスガ故ニ、吾々ハ此際出來得ル限リハ此稅金ノ全廢ヲ圖ッテ、我國民ヲシテ其ノ希望スルトコロニ副ハシムルニ非サレバ、決シテ我國國家ト云フモノ、信用ヲ國民ニ得ルノ所以デナイ、斯様ニ私共ハ信ジテ疑ハナイデアリマス、是ハ歴史上ノ問題デアリマスガ、曩ノ通常議會ニ於テ此營業稅全廢ニ反對ヲサレタイロノ中ニ、地租トノ關係ガ出タヤウニ記憶スルデアリマス、是ハ少シク新シキ議論デアリマスガ故ニ、此地租ト營業稅トノ關係ニ付テハ一言茲ニ辯ジテ置ク必要ガアルト思フデアリマス、或論者ガ其當時言ハレマシタコトニハ、地租ト營業稅トハ極メテ權衡ヲ取ルベキモノデアリ、故ニ地租ノ存スル以上ハ營業稅亦之ヲ存セザルヲ得ズト云フガ如キ議論ガアッタヤウニ私共ハ思フデアリマス、果シテ然リトスレバ是ハ極メテ間違ッタ議論デアルト私共ハ思フデアリマス、地租ト云フモノハ我國ニ於テハ古ヨリ取ラレテ居ル稅金デアリ、歴史ノ上ニ於テモ何千年以前カラ此地租ノ形式ハアッタデアリマス、而シテ續イテ參ッテ一ノ地租ト相成ッテ居ルデアリマスカラ、歴史ノ上ニ於テ一般人民ノ之ヲ認メテ居ルトコロノコトデアリ、營業稅ハ之ニ反シテ唯今申シマシタ如ク非常特別稅トシテ日清戰爭後ニ起ッタルトコロノ稅金デアリデアリマス、既ニ歴史ノ上ニ於テ頗ル其趣ヲ異ニシテ居ル、ソレノミナラズ吾々ノ信ズルトコロニ據リマスレバ、地租ナルモノハ所謂土地ニ掛ケラレルトコロノ租稅デアリマシテ、土地ハ即チ國家ノ所有シテ居ルトコロノモノデアリ、然ルニ一般人民ガ之ニ對シテ特殊ノ所有權ヲ得ルガ故ニ、之ニ對スル一ノ補償料デアルト吾々ハ觀ルベキモノト思フデアリマス、然ルニ營業稅ハ全ク之ニ反シテ一面カラ言ヘバ行為稅デアリマス、又一面カラ言ヘバ入頭稅ノ如キ形式ヲ具ヘテ居ルデアリマス、即チ商工業者ニ對シマシテハ賣上ニ依テ稅金ヲ取ルデアリマス、資本金ニ依テ稅金ヲ取ルデアリマス、其人ノ營ンデ居ルトコロノ營業ノ資金ノ貸賃價格ニ依テ稅ヲ取ルデアリマス、又從業者ニ依ッテ稅ヲ取ルデアリ

マス、斯ノ如キ譯アリマスガ故ニ、商工業者ノ受ケル營業稅ナルモノハ、一面カラ言ヘ
バ行爲稅アリマス、又人頭稅アリマス、土地ニ向テ國家ガ地租ヲ取ルノトハ全ク其
租稅ノ性質ヲ異ニシテ居ルモノト私共ハ信ジテ疑ハヌデアリマス、ソレノミナラズ此商工
業者ト云フ者ハ地租ヲ拂テ居ラナイカト言ヘバ、ヤハリ是ハ地租ヲ拂テ居ルノデアリマ
ス、商工業ヲ爲ストコロノ者ハ所謂賃貸價額ヲ取ラレ——家屋ニ向テ賃貸價額ヲ取
ラレノデアリマスガ、其家屋ナルモノハ言フマデモナク必ズ土地ノ上ニ建テ居ルモノデア
ル、賃貸價額ヲ掛ケラレル家屋ニ對スル土地ニハヤハリ地租ヲ取ラレテ居ルノデア
ル、度農業家が耕スガタメニ田地ヲ持テ居ル、其田地ニ對シテ地租ヲ取ラレト同ジ如ク、
商工業者が商賣ノタメニ建テ、居ル倉庫並ニ店舗ト云フモノ、建テ居ル土地ニモ、ヤ
リ地租ヲ掛ケラレテ居ルノデアリマス、而シテ此市街宅地ト云フモノハ又郡村宅地ト云
フモノニシテモ、宅地ノ地租ト云フモノハ非常ニ高マデ居ルノデアリマス、明治四十二年
二月ノ地價改正法——市街宅地並ニ郡村宅地ノ地價改正法ト云フコトニ依テ見マ
シテモ、市街宅地ハ十八倍ノ稅ヲ限度トシテ地價修正ガサレタデアリマス、郡村宅地
ハ丁度七倍ニ割ト云フモノヲ標準トシテ地價修正ガサレタデアリマス、故ニ唯今ノ宅地稅
ト云フモノハ非常ニ高キモノニナッテ居ル、以前ニ較ベマスレバ——百分ノ二箇半ニ較ベ
マスレバ十八倍、郡村宅地デアリマシテモ七倍ニ割ト云フ租稅ヲ見テ居ルノデア
リマス、ヤハリスノ如キ高キ地租ヲ拂テ居ル其ノ上ニ賃貸價格ヲ取ラレ、從業者デ
稅金ヲ取ラレ、賣上ニ依テ稅ヲ課セラル、ノデアルガ故ニ、商工業者が特別ニ重
キ稅ヲ拂テ居ルト云フコトハ爭フベカラザル事實デアルト思フデアリマス、勿論私
共ハ地租ニ向テハ減稅ヲ主張スルモノデアリマシテ、是ハ私共ノ同僚カラ說
明スルデアラウト思ヒマスガ、ヤハリ本年ノ議會ニ向テモ地租五厘減ヲ主張シテ居
ルノデアリマス、此事ニ付テハ後ニ說明スル者デアリマスガ、斯ノ如キ地租ニ向テモ
吾々ハ減稅ヲ主張スル者デアルガ、是ト同時ニ營業稅ノ全廢ハ當然ナルコトデア
ルト云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、殊ニ此營業稅ノ非常ナル缺點トスルコ
ロハ、惡稅ナ
リトスルコトハ一重稅ニナリ、二重稅ニナリ、或ハ四重稅ニナルト云フコトデア
リマス、或物品ヲ製造スルコト云フト之ニ對シテ製造業者トシテ營業稅ヲ課
セラレノデア
ル、之
ヲ仲買ニ賣ッテヤルト卸賣ノ稅ヲ取ラレノデア
ル、是ガ又小賣人ノ手ニ渡ルト小賣稅ヲ
取ラレノデア
リマス、斯ノ如ク一箇ノ物品ニ對シテ製造ニ稅ヲ取ラレ、卸賣ニ稅ヲ取
ラレ、仲買ニ稅ヲ取ラレ、小賣ニ稅ヲ取ラレノデア
リマスカラ、物品ニ對スルコ
ロノ稅金
ハ二三重四重ニモナッテ其結果ハ商人ノ損害ニナリ、又消費者ガ高キ物ヲ買ハナ
ケレバナ
ラヌト云フ現象ヲ來スノデア
リマス、是ガ營業稅ノ根本ニ於テ誤ッテ居ルトコロノコ
トデア
ルト思フ、ソレノミナラズ此商品ヲ倉庫ニ入レテ倉庫業ヲ利用シテ資本ヲ借入
レヤウトシ
テ倉庫ニ預ケル、此倉庫業者ハヤハリ倉庫業者トシテ營業稅ヲ取ラレノデア
リマス、斯
ノ如キ譯ニナルノデア
リマスガ故ニ、我日本帝國ノ商工業者ト云フモノハ營業稅ノタ
メニ
非常ニ苦メラレテ居ルモノデア
ル、斯ウ云フコトハ信ジテ疑ハナイコトデア
リマス、殊
ニ私が最モ遺憾ニ思フノハ、此賃貸價格デア
リマス、都ノ營業者ハ小サイ家ニ於テ其營
業ヲスルコトガ出來ルノデア
リマスガ、比較的邊鄙ノ都市ノ營業家ト云フモノハ頗
ル廣

キ家屋ヲ持テ居リマス、己レ自ラ其ノ處ニ住ンデ、而シテ其處ニ營業ヲシテ居
ル、己レ
ノ寢ル所客間ト云フモノマデヤハリ營業所ト看做サレテ、而シテ此賃貸價格ヲ取
ラレテ
居ルト云フノハ事實ノ上ニ現ハレテ居ルノデア
リマス、元來此ノ全國ノ各都市ヲ見
マス
ルト云フト、家屋稅ヲ課シテ居ルトコロノ都市ト云フモノハ比較的少ナイデア
リマス、吾
吾ノ考ヘルトコロニ依レバ戶別割ヨリモ寧ろ家屋稅ヲ取ッテ方ガ非常ニ便利
デア
ラウト信
ジマスニ、日本全國各都市ノ中ニ家屋稅ヲ課シテ居ルノガ、比較的少ナイノハ如
何ナ
ル理由デア
ルカ、家屋ニ稅ヲ課スルト云フコトハ種々ナル事情ガアッテ出來ナイ
結果デア
ルデア
リマス、然ルニ營業ハ既ニ一種ノ家屋稅、即チ賃貸價格ヲ課セラレト云フガ如
キコトハ、一般商業家ノ一大苦痛トシテ居ルトコロデア
ルノデア
リマス、ソレノミ
ナラズ此
營業ト云フモノハ損ヲシテモ稅金ヲ取ラレノデア
ル、懸金が取レナクテモ一旦賣
タナッ
タ以上ハ、稅金ヲ取ラレノデア
リマス、其ノ上ニ稅務官吏ニ屢々踏込マレテ檢査
ヲサ
レ、店ニ度々來ルトコロノ稅務官吏ハ屢々客ノ妨ケラスル、非常ナ面倒ヲシナ
ケレバナ
ラヌ、屆書ヲ出スニモ容易ナラヌ手數ガ掛ケテアリマスガ故ニ、一般此商工業
者ト云フ
モノハ此稅金ノ爲メニ容易ナラザル打撃ヲ受ケテ居ルトコトハ、爭フベカラザ
ル事實ト私共思
フデア
リマス、唯今此營業稅ノ全體取扱費用ハ幾ラデア
ルカ、確實ニ今同ノ豫算ニ
於キマシ
テモ私ハ知ルトハ出來ナイノデア
リマスガ、免ニ角私ノ調ベルトコロニ依
ルト、本
年度ニ於
テモ約百五十萬圓ト云フモノガ、單純ニ此營業稅ヲ徵收シテ居ル爲メニ要
ス
ルトコロノ費用デア
ルヤウニ思ヒマス、其外ニ種々ナル稅ヲ取ル上ニ共通ヲ致
シテ居
ル費用
ガ澤山アル、營業稅バカリデ既ニ二百五十萬圓バカリノ費用ヲ要求シテ居
ルノデア
リマス
ガ此ノ百五十萬圓ノ費用ト云フモノハ直ニ商工業者ニ向ヒマシテ、或ハ檢査
ヲシ、或ハ
屆ヲセシムル等ニ要スルトコロノ費用デア
ル、斯ノ如キ譯デア
ルカ、是ガ全體ノ商
工業
者ニ懸ッテ容易ナラザル迷惑ヲ及ボシテ居ルトコトハ云フマデモナキ事實
デア
ルト、私共思フ
デア
リマス、斯ノ如キ關係カラシテ、此地方ノ者ナゾハ商工業ヲ爲セバコ
ツ、斯ノ如
キ種
種ナル目ニ遭ハナクテハナラナイ、寧ろ公債證書ガアルナラバ之ヲ握ッテ安
樂ニ暮
シタ方
ガ宜イト云フガ如キ者ヲ起スノデア
リマス、現ニ私共ナゾガ屢々商工業
家トシ
テ立ッ
タ時分ニ、
稅務官吏
ニイロノナ檢査ヲセラレルニ當ッテ、屢々苦痛ヲ感シタコトモアルノデア
リマス、
左様ナ事
デ一般ノ人民ノ頭ニ染込ンダナラバ、我が國ノ商工業ト云フモノハ蓋シ阻
害セ
ラレルト
コトデア
ラウト深ク自分ハ信ジテ疑ハナイノデア
リマス、大體申シマス
トスノ如
キ譯デ、
此營業稅ト云フモノハ根本的惡稅デア
ルト信ズルノデア
ル、然ルニ之ヲ廢
シタ曉
ニハドウ
ナルカ、ヤハリ縣稅トシテ取ラレノデア
ルカラ、廢シタトコロガ營業者
ニハ同
ジデ
ハナイカ、
斯様ニ論
ズル人ガアルノデア
リマスガ、縣稅ト云フモノハ唯今ニ於
テモヤ
ハリ國
稅ノ附加
稅トシテ取ラレテ居ルノデア
リマス、縣稅ハ國稅ノ附加稅トシテ營業稅
ヲ取
ッテ
居ル、而
シテ其縣ノ豫算收支ハ相償ッテ居ルノデア
リマスガ、故ニ或ハ營業稅
全廢ノ
結
果、縣稅
營業稅ニ於
テ其縣ノヤリ方ニ依リマシテハ、幾分ノ増稅ヲ見ルト云
フ結果
デア
ルカモ知
レナイノデア
リマスガ、蓋シ此國稅ヲ廢シタカラテ縣稅營業稅
ガ大ニ増
スト云
フ理由ハ
ドウシテモナ
イト思ヒマス、又此財源ニ對シテ議論スル人ガアルデア
ラウト思
ヒマ
ス、成ホ
ド宜イコト
デア
ル、營業稅全廢ハ吾々モ贊成デア
ルガ、國家ニ財源ノナイ場合
ハ、
是
ドウス
ルカ、人民ハ忍
ンデ之ヲ受ケナ
ケレバナ
ラヌト云フ議論モアルデア
ラウト思
ヒマス、
是

第四 地租條例中改正法律案(高木益太郎君外四名 第一讀會提出)

地租條例中改正法律案

地租條例中左ノ通改正ス

第一條第一項中「田畑地價百分ノ四箇五」ヲ「田畑地價百分ノ四箇」ニ改ム
同條第二項中「田畑地價百分ノ三箇二」ヲ「田畑地價百分ノ三箇」ニ改ム

附則

本法ハ大正四年分地租ヨリ之ヲ適用ス

(山谷虎三君登壇)

○山谷虎三君 諸君、私ハ茲ニ地租條例中改正ノ箇條ヲ説明致シマス、地租條例中第一條第一項中「田畑地價百分ノ四箇五」トゴザイマス、田畑地價百分ノ四箇「ト云フコト」改正ヲ致シマス、同上ノ第二項中「田畑地價百分ノ三箇二」トゴザイマス、田畑地價百分ノ三箇「斯ウ云フコト」改正メタイト云フノガ本案ノ趣意デゴザイマス、御承知ノ如ク日露戰爭前ニ於テハ地租ハ百分ノ二箇半デゴザイマシタガ、明治三十八年ノ戰爭中ニ一回ノ増加ヲ以チマシテ百分ノ五箇五ト云フモノニナツテ居リマス、更ニ此五ト云フモノヲ減シタイト云フノガ本案ノ趣意デゴザイマス、本案ハ度々同様に案ヲ本議會ニ提出セラレマシテ、其改正ノ趣意ニ付キマシテモ、其時々詳細ニ諸君ノ前ニ説明シテ居ラレマス、私ハ深ク此際ニ於テ説明ヲ要スルノ必要ヲ認メマセヌ、農民ガ非常ニ困難ヲシテ居ル狀態、或ハ農民ノ數ノ他ノ人口ノ非常ニ増加スルニモ拘ラズ、五十萬前後ノモノガ農業ヨリ離レテ居ル有様、農村ノ荒廢ニ傾キツ、アル事情等ニ付テハ、毎々本議案ノ說明中ニ論セラレテ居ルコトデゴザイマス、是等ノ事ニ付テ重ネテ茲ニ詳細ノ辯論ヲ試ミルコトハ避ケマス、唯此案ハ何レノ時ニ於テモ諸君ノ間ニ御不贊成ガナクシテ、財政狀態ノ爲メニ其目的ヲ達スルコト能ハズシテ、其都度僅カニ言譯的ノ不満足ナル修正ノ爲メニ此目的ヲ達シ得ズシテ今日ニ至ツタノデアリマス、所ガ今日ノ經濟界ノ狀態ニ照シマスルト、本案ノ益、必要ヲ感ズルニ至ツタノデゴザイマス、其點ニ付テ極單簡ニ一二ヲ指摘致シマスレバ、日露戰爭ノ後ニ於キマシテハ無論大戰ノ後非常ナリ經費ヲ要シタ後デゴザイマス、財政上ノ大整理ヲ要シマス、其相當デアツタノニ、遂ニ此戰後ノ財政策ト云フモノハ大ナル整理ヲ加フルニ至ラズシテ、實ニ姑息放漫ノ一時的ノ財政策ヲ執ツタ來タト云フ有様デ、借金ニ借金ヲ重ネ種々名ノ下ニ財政ノ膨脹ヲ圖ツテ、コレガ爲メニ又民間ニ於テモ戰勝ニ醉フノ餘リ、政府ノ財政策ト相呼應シテ隨分無謀ナ事業ヲ計畫ラ企テタト云フヤウナ有様デ、官民相俟ツテ非常ニ經濟上ノ膨脹ヲ來シタト云フノガ此十年間ノ歷史ノ證スル所デア、固ヨリ財政策ノ上カラ見マスルト、斯カル財政策ハ誠ニ姑息ナ財政策デアツタ大ナル誤リデア、今日ニ於テハ甚ダ遺憾ニ感ズル次第デゴザイマス、他ノ半面ニ於テハ斯カル財政策ノ爲メニ一時ノ繁榮狀況ヲ呈シタト云フコトハ又明デア、商業ニ於テモ買ハハ相當ナ利益ヲ生ズレバ其製造シタモノハ相當ナ額ヲ増シテ行ク、商業ニ於テモ買ハハ相當ナ利益ヲ得ルト云フノガ、此姑息ナ財政策ノ當時現ハレタコトノ現象デゴザイマス、斯ウ云フ時代ニ於キマシテハ非常ニ租稅ノ苦痛ニ苦ム場合ニ於キマシテモ、苦痛ノ程度ト云フモノハ機分カ緩和セラレルデア、例ハ農家ノ生産物タル所ノ米ヲ取ツテ見マシテモ、之ヲ

モ一應最ノ議論デアリマスガ、何レ豫算會議ニ於テ吾々意見ヲ述ベル考デアリマスガ、吾等同志ノ調査スルコトニ依リマスレバ、今回出シタコトノ豫算ノ中ニ於テ、明カニ行政並ニ財政ノ整理ノ結果トシテ、二千六百萬圓ヲ得ルコトガ出來ルト云フ考デアリマス、既ニ政府モ大藏大臣ノ口ニ依ツテ、益々行政財政ノ整理ヲスルト云フコトヲ明言サレテ居リマス以上ハ、必ずハ實行サレルモノデアラウト思フ、吾々ノ方針ヲ以テ之ヲ立テ、見レバ、結局二千六百萬圓ヲ得ルコトノ出來ルコトヲ信ズルデアリマス、斯ノ如クニナリマシタラバ、營業稅ヲ全廢致シマシタル結果ハ約一千八百萬圓、地租ノ五厘減ヲ行ツタ結果ハ約六百萬圓、合計二千四百萬圓ト致シマシテモ、吾々ノ査定通りニ依レバ立派ニ恆久的財源ヲ得ル譯デアラウト思ヒマス、假リニ數歩ヲ讓ツテ吾々ノ査定案ガ通過シタイトシタコトデ、今回ノ豫算ノ中ニハドウデア、鐵道ノ費用ヲ増スガ爲メニ五千萬圓ト云フ毎年々返スベキ國債整理基金ヲ割イテ、二千萬圓ヲ特別會計デアルトコロノ鐵道費用ニ廻サウト云フ案ガ出テ居ルデアリマス、之ヲ吾々ハ鐵道ハ鐵道ダケデアレバ宜イト云フ論デア、併ナガラ國家ノ交通機關ヲ害シヤウトハ思ハナイデアリマス、ヤハリ鐵道ノ特別會計ノ中ニ於テ總テノ作業費ヲ節約致シマスレバ、約二千萬圓ヲ得ルコトハ難カラザルモノト信ジテ居ルデアリマス、事業ハ決シテ中止シナイ、而シテ總テノ費用ニ於テ節約スレバ十分ニヤリ得ルコトヲ信ズルデアリマス、コレ故ニ鐵道ノ方ハヤハリ特別會計ノ範圍ニ於テ之ヲ行フコトニ致シマスレバ、此二千萬圓ヲ一方ノ減稅ニ廻ハシテ十分ノ餘地ハアルモノト信ズルデアリマス、述ベタイコトハ澤山アリマスガ、成ルベク重複ヲ避ケル爲メニ是ニ於テ大要ヲ盡シタモノト致サウト思ヒマスガ、要スルニ我が帝國現在ノ商業ト云フモノハ、商業ヲ爲スガ爲メニ特別ニ賣上金ニ於テ稅ヲ取ラレ、或ハ資本金ニ於テ稅ヲ取ラレ、而シテ已レノ住宅ニ對シテ商業ニ之ヲ用ユル以上ハ、貸賃價格ナリト致シテ一種ノ家屋稅ヲ取ラレ、召使ニ對シテハ人頭稅——經營者ニ關スル稅ヲ取ラレ、更ニ容易ナラザル手數ヲ掛ケルト云フコトニ相成ツテ居ルデアリマス、其上ニ地租ハ先刻申上ケマスル通り當然之ヲ支拂ヒ、所得稅ハ又普通ノ官吏其他ノハト同シク之ヲ支拂ツテ居ルデアリマス、ドウシテモ我國ノ商業ノ發展ヲ期待スルコト今日ノ時勢、殊ニ此戰亂ノ際ニ當リマシテハ、我が國ノ正貨補充ヲ爲スニハ、ドウシテモ貿易ノ力ニ依ラナクテハナラナイ、商業ノ發展ト云フモノヲ圖ルニハ今ガ絶好ノ時期デア、我々國民ノ熱心ニ向ハナクテハナラヌトコロデア、是ニ對シマシテ之ヲ阻害スル虞レノアルコトノ營業稅ト云フモノガ全廢シテ、以テ我が國ノ商業ノ前途ヲシテ有望ナラシメンコトヲ欲スルモノデア、爾ノデアリマス、願ハクハ諸君ニ於キマシテ滿場ノ御贊成ヲ得タイノデアリマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託サレムコトヲ望ミマス

○議長(奧繁三郎君) 中村君ノ動議ニハ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 異議ガナシト認メマス、依テ中村君發議ノ如ク議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第四、地租條例中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、山谷虎三君

戰爭前ノ十年間ノ平均ノ價格ニ比ベマスルト、戰後十年間ノ價格ハ大ニ騰貴シテ居ル
ノデゴザイマス、デアルカラシテ自分ノ作シタコロノ米ノ價格ト云フモノヨリ、租稅ヲ拂フ
場合ニナリマスレバ幾分力事實ニ於テハ其苦痛ヲ減シテ居タノデアリマス、所ガ斯ノ如
キ姑息ナ財政策ハ長ク繼續ハ許サヌデアアル、遂ニ今日ニ至リマシテハ借金ヲセントスル
ニモ遂ニ貸シ人ガナク、モウ何人ガ此場合ニ於テ財政ノ任ニ當ルニ致シマシタ所ガ、從
前ノ如キ放漫ナル財政策ヲ繼續シテ行クコトハ、四圍ノ事情ガ許サヌヤウナ場合ニナッ
タ、其結果トシテ縮小方針ヲ執ルヨリ外ニナイト云フ結果ハ、遂ニ物價ノ非常ナル下落
ヲ來シタ、斯ウ云フコト今日ノ不景氣ハ私ガ細カニ申スマデモナク殆ド前代容易ニ見
得ベカラザルトコロノ不景氣ニ陷ッタデアアル、米價ハ隨テ非常ナ下落ヲ來シテ、是ト同
時ニ一時ハ事實ニ於テ非常ナ高稅モ多少ノ緩和ヲ生ジテ居タノガ、一層輪ヲ掛ケテ
今日ハ苦痛ヲ覺エル場合ニナッテ來タノデアアル、斯様ナ時世ニ於キマシテハ此改正案ノ
要ト云フモノハ、今マデノ議會ニ於テ御互ニ論ジタヨリハ一層此法律案ノ成立ヲ必要ト
スル事情ガ迫ッテ來タノデアリマス、ツレカラ又他ノ方面カラ見マスルト、米價調節問題
ト云フコトハ本期ノ議會ニ於テ非常ニ諸君ノ御熱心ニ御論ジナッテ居ル問題デアアル、
固ヨリサウデアアル、今日ノ米價ハ實ニ未曾有ノ下落ヲ來タシ、此米價ノ下落ト云フコト
ガ單ニ農民ノ一部即チ生産者ノ苦痛ノミナラズ、是ガ基トナッテ社會一般ノ經濟上ノ
不景氣ヲ來シテ居ル、殆ド恐慌ノ狀態ニ陷ッテ居ルノデアッテ其原因ヲ正セバ米價ノ下
落ニアルト云フコトデアアルカラ、米價調節ト云フコトノ必要ハ諸君ガ御熱心ニ御論ジニナ
ルト云フコトハ相當ナコトデアアル、獨リ議會ニ於テ論ゼラル、ノミナラズ、此議會ニ於テ諸
君ノ熱心ニ論ゼラルトコロノ一節一句ト云フモノハ、直チニ全國ノ取引所ノ相場ニ
反應ヲ來シテ居ルト云フノガ今日ノ有様、誠ニ米價調節ト云フコトハ今日ニ於テ必要
ナ問題デアアルガ、又將來ニ於テモ此米價ノ劇變ヲ防グト云フコトハ重要ナル事柄デア
ルト私ハ信ジマス、所ガ米價調節ト云フコトハ非常ニ必要ナコトデアアルケレドモ、ドウモ一
舉直チニ是ヲ解決スルノ妙案ヲ得ヌト云フノガ又今日ノ有様デアアル、ツレテ將來ニ於テ
日本ノ如キ米價ガ、諸般ノ物價ノ高低ニ起因ヲ成シテ居ル國ニ於テハ、永久ニ米價ノ
激變ト云フモノヲ防グガ、即チ取敢ヘズ産業上ノ不安ヲ防グ一ノ方法デアラウト考ヘマ
ス、ツレデ米價ノ調節ヲ計ルニハ種々ノ方法ヲ將來講ゼラル、デアラウ、又必ズ相當ノ方
法モアルデアラウト考ヘマスガ、私ハ永久ノ米價調節ノ方法ノ一トシテハ、米收穫ノ調
節ヲ計ルト云フコトガ、最モ其根本ノ調節方法ノ一デアラウト思フ、此米產ト云フモノ
ガ多ク天候ニ俟ツモノデゴザイマシテ、米產ノ調節ヲ計ルト云フコトハ餘程困難ナコトデ
ゴザイマスガ、併ナガラ人爲ノ努力ヲ以テ致シマスレバ、或程度マデハ豐凶ノ激變ヲ防グ方
法ハ行ハレルモノデアアル、又今日ノ實際ニ於テ農業従事者ノ努力如何ニ依テハ、相當ニ
天候ニ抗シテサウシテ凶年ノ場合ニモ惡結果ヲ免ル、モノデアルト云フコトニナッテ居ル
デアリマス、人爲ノ二年ノ豐凶ヲ調節スル、即チ人爲ヲ以テ天候ヲ抗シテ行シテ、收穫ニ
非常ノ差異ノ無イヤウニスルト云フコトニ付テハ、相當ノ經費ヲ要スルモノデアアル、即チ
農家ニ之ニ應ズルダケノ資力ヲ與ヘルト云フコトガ必要デアアル、斯様ナ點カラ見マシテモ
即チ此米價調節ノ問題ノ一トシテモ、此場合ニ地租ノ或部分ヲ減ズルト云フコトハ、最
モ必要ナコト、考ヘス、凡ソ一時三十二割ノ増加ヲ來シタト云フ——直稅ニ對シテ十二割

ノ増加ヲ來シタト云フガ如キハ、誠ニ農民ノ多數ハ他ノ部分ニ比較致シマシテ、低級ナル
生活ノ者ニ對シテハ、是ハ永久ニ持續スルト云フコトハ到底堪ヘ得ザルコトデアアル、今日
ノ如ク總テノ點ニ於テ經濟界ノ險惡ナ場合ニ於テハ、一層農民ノ負擔ヲ輕クシテ、根本
ヲ培養スルト云フコトガ最モ必要ナコト、信ジマス、全體此問題ニ付テハ何時モ諸君モ
御贊成デアアルシ、委員會デモ政府ガ農民ノ苦痛ノ多イト云フコトハ認メラレテ居ル、唯
愈々之ヲ改正スル場合ニナッテ來ルト、財源ニ乏シイト云フコトガ、是マデ一ノ理由ニナッ
テ充分ニ行ハレテ居ラヌノデゴザイマス、所ガ今日ハ餘リ徹底セザル理由ノ下ニ二個師
團ノ増師ヲ計畫セラレテ居ル位ニ餘裕ノ財源ガ出來テ居ル際ト見ナケレバナラス、此財
源ニ付テハ前ノ營業稅全廢論者ヨリ細カニ述べラレマシタガ、私共ノ調ベル所ニ依レバ、
充分本年ノ豫算ノ上デハ營業稅ナリ地租ナリ輕減スルノ餘裕ノアルモノト信ジマス、ツ
レ等ヲ外ニ措キマシテモ、今モ言フガ如ク餘リ理由ノ徹底セザル下ニ、二個師團ノ増師
ヲ實行シヤウト云フ程財政ニ餘裕ガアルモノト見マス、目下ニ迫ッテ居ル所ノ農民ノ苦
痛ヲ救フ所ノ財源ニ差向ケルト云フコトニ致シマシテモ、僅ニ其中ノ一部分ノ金ヲ濟ム
譯デアアル、尤モ本年ノ豫算ニ載ッテ居ル増師金額ハ少ナイガ、是ガ成立シタ以後ニ恆
久ノモノトシテヤリマスレバ、本稅ノ輕減位ハ極ク容易ク行ハレルデアアル、百分ノ四個、
五ヲ四ニスルト云フ如キハ、誠ニ農民苦痛ノ度カラ申シマスレバ甚ダ謙讓シタル法案デア
ル、是ダケノコトハ行ハレヌト云フ理由ハ萬ナイト信ジマス、願クハ諸君ニ於テモ今日ノ農民
ノ狀態ヲ御察シ下スッテ、滿場一致ヲ以テ御決議アラムコトヲ希望致シマス

○中村啓次郎君 本案ハ前議案、即チ營業稅法廢止法律案ノ委員ニ付託セラレム
コトヲ希望致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（與繁二郎君） 中村君ノ發議ニハ反對ガナイヤウデゴザイマス、仍テ地租條例
中改正法律案營業稅法廢止法律案ノ十八名ノ委員ニ付託スルコトニ可決致シマシ
タ、日程第五、社寺上地下辰ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

○加賀卯之吉君 定足數ヲ缺イテハ居リマセヌカ

○議長（與繁二郎君） 定足數ハ缺イテハ居リマセヌ——小川平吉君——小川君缺
席デゴザイマス、尙ホ提出者ノ鵜澤總明君——鵜澤君モ缺席デアリマスカラ、是ハ次ニ
延バスコトニ致シマス、日程第六及第七ハ同一委員ニ付託シテアリマスル議案デアリマ
スカラ、一括シテ議題ト爲ス考デアリマス、御異議アリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（與繁二郎君） ツレデハ刑法中改正法律案及刑事訴訟法中改正法律案ノ
第一讀會ヲ續ク開キマス、委員長武部其文君

第六 刑法中改正法律案（宮古啓三郎君 第一讀會ノ續（委員長）
外六名提出）

第七 刑事訴訟法中改正法律案（宮古啓三郎君外六名提出） 第一讀會ノ續（委員長）

○武部其文君 刑法中改正法律案、刑事訴訟法中改正法律案此二案ハ同一委

員ニ付託ニナリマシテ審査ヲ致シマシタ、ツマリ委員會ノ經過ト致シマシテハ二回ノ調査ヲ致シタノデゴザイマス、先ツ政府委員ノ出席ハ申スニ及バヌコトデゴザイマスガ、特ニ委員中ヨリノ請求ニ依リマシテ司法大臣ニ出席ヲ請ヒマシタノデゴザイマス、ツレハ何故カト云ヘバ本案ハ一案トモ大體本議場ノ問題トナルトコロノ人權蹂躪ノ問題ニ關係シタ事柄デゴザイマスガ故ニ、特ニ右様ナ手續ヲ致シタノデゴザイマス、ツレデ委員ノ一人宮古氏ガ司法大臣ニ尋ネマスニハ、是マデ往々司法部内ニ人權蹂躪ト云フコトガアルガ、大臣ニ於カレテハ此事ニ付テハドウ云フ御意見デアルト云フコトデゴザイマスガ、之ニ對シテ司法大臣ハ本大臣ハ人權ヲ尊重スルガ故ニ、是等ノ人權ヲ蹂躪スルト云フコトハ無イコトヲ希望スルノデアル、隨テ又屬僚ノ者ハツレ等ノ如キコトヲ非常ニ注意シテ居ル次第デアルト云フコトデアッ、甚ダ満足ナ答辯ヲ得タノデアリマスガ、ドウカ其通りニ御實行ヲ乞ヒタイト云フコトデアリマシタ、ツレカラモ一ツハ委員會ノ決議ヲ以テ希望ヲ致シタコトデアリマスガ、段々政府委員トノ質問中ニ豫審判事ヲ任命致シマス際ニ、檢事正ガ豫審判事ノ人ニ付テ彼此ト啄ヲ容レル、即チ檢事ガ豫審判事ノ意向ヲ迎ヘルヤウナ弊ガ往々アルガ、是ハドウ云フ風ナコトニナッテ居ルカト云フ即チ政府委員ニ尋ネガザイマシタ、之ニ付テハ鈴木次官ノ曰ク、從來此豫審判事ニ任命致シマスル時分ニハ各裁判所長ガ推薦ヲ致シマスルガ、其時ニハ檢事正ノ意見ヲ徵シテサウシテ上申サスルコトニナッテ居ル、是ハ別ニ規則ガアル譯デハナイノデ、唯監督ノ手續上從來サウ云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フ答辯デゴザイマシタ、サウ致シマスレバ其上申ニ付テハ所長ハ檢事ト是マデ意見ノ違ッタコトハナイカト云フ更ニ尋ネモゴザイマシタ、ケレドモ是ニ付テハ右様ナコトハ今日マデナクシテ圓滿ニ行ハレテ居ルト云フ返事デゴザイマシタ、就テハ委員中カラノ發議ニ依リマシテ、一體此豫審判事ノ任命ニ付テハ檢事正ノ意見ヲ徵スル必要ハナカラウ、サウ云フコトガアルガ故ニ、却テ一般ノ人民ニハ豫審判事ハ何ッ檢事ノ意嚮ヲ迎ヘ又甚ダシキニ至ッテハ檢事ニ隸屬シテ居ルト云フヤウナ考ヲ持ツト云フコトデ、是ハ害ガアッテモ利益ガナイ、以後斯ウ云フコトハ手續上御止メニナッテ下サルヤウニ願ヒタイト云フ、是ハ委員會一致ノ決議ヲ希望ヲ致シタノデアリマス、是ハ前以テ報告ヲ致シテ置キマス、ツレカラ先ツ此刑法中改正案ノ方カラ報告致シマスガ、刑法ノ方ハ豫テ御手許ヘ案ガ廻ッテ居リマスガ別ニ深イ修正デハゴザイマセナシタノデゴザイマス、即チ箇條ガ(能ク分テ居リマス)ト呼フ者アリ)編入シタル箇條ノ順序ガ修正ニナッタルカリデゴザイマスルノデ、即チ申上ケルマデモナク此裁判檢察ヲ行フモノニ對シテ恐嚇詐言ヲ用井タモノニハ懲役若クハ罰金ニ處スルト云フ新ラシイ法ヲ設クル、之ニ對シテ政府ハ本案ハ必要ガナイ故ニ同意シ難イト云フ答辯デアリマシタ、何故必要ガナイカト云ヘバ則チ右様ナコトハ書イテナイガ、萬々一アツタ時分ニハ懲戒處分ヲ以テヤッタナラバ防グコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ趣意デゴザイマス、ケレドモ委員會ニ於テハサウ云フ恐嚇詐言即チ刑事訴訟法ニ豫審判事ハ恐嚇詐言ヲ用ユベカラズト云フコトマデ規定シタルノデゴザイマスガ、若シ用井タ時分ニ規定ガナイノミナラズ、其他檢事及司法警察官ニ付テモ何等規定ノナイノハ甚ダ都合デアッ、獨リ之ヲ懲戒處分ニ委スルト云フヤウナコトハ甚ダ人權上ニ於テ危險ナコトデアル、故ニ此原案通りニヤハリ刑罰ヲ設クル方ガ至當デアルト云フノデ、委員會ハ全會一致決ヲ致シマシタ、(贊成々々)ト呼フ者アリ)ツレカ

ラ刑事訴訟法ノ方ハ原案ニ於キマシテハ、趣意ヲ申シマスレバ檢事司法警察官又ハ司法警察ノ職務ヲ行フ者ガ捜査上ニ拵ヘマシタ書面ハ、裁判上證據ト爲スコトガ出來ナイト云フコトガ一ツト、其文書ヲ豫審ニ係ル時分ニハ其捜査ノ文書ハ添付スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ一項ト二項トノ二ツニナッテ居ッタノデゴザイマス、是ガ段々議論ノ末ニ修正ガ出マシテ、其修正ノ一ツニ於テハヤハリ此原案ノ檢事司法警察官又ハ司法警察ノ職務ヲ行フ者ノ調書ハ、即チ刑事上ノ裁判ニ於テハ原告ノ位置ニ在ル人ガ拵ヘタ書面デアリマスカラ、之ニハ間違ガ多イ、又事實ニ於テ多イノデアリマス、之ヲ證據ト爲スコトハ甚ダ危險デアル、併ナガラ唯一概ニ之ヲ皆裁判上證據ト爲ス得ズトスルト、或ハ此刑事訴訟法中ニ障ル所ガアルト云フノデ即チ修正案ヲ出シマシタ如ク、但書ガ入リマシテ、但本法又ハ他ノ法律ニ於テ特ニ作成ス可キ旨ノ規定アルモノハ此限ニ在ラスト云フ規定ヲ設ケテ、檢事司法警察官其他ノ者ガ作ッタ書面デモ證據トシテ宜イト云フ場合ハ、其規定ニ依ッテ證據トシテ宜イト云フコトヲ採用シタ、ツレカラ今一ツノ此訴訟記錄ニ添付スベカラズト云フ點ニ付テハ、豫審ヲ經ル事件ニハ添付ヲシ、豫審ヲ經ナイ事件ニハ其儘附ケテ置クト云フモノ一體當テ得ナイシ、殊ニ一面即チ此書面ニ付テハ既ニ刑法ニ於テ罰スルト云フマデノコトガ出來テ居ルノデアリマスカラ、右様ナ添付ヲシテモ差支ガナイ、故ニ此原案ノ第二項ヲ削除ヲ致シマシタ、サウシテ今修正案ニ提出ノ如クニ修正ガ出來タノデアリマス、此外ニマデ委員ノ野村君カラ一ツ修正意見ガ出マシタ、是ハ檢事ノ拵ヘタ書面ダケハ證據トシテ宜イシ、其他ノモノハヤハリ原案一項ノ趣意ガ宜シカラウ、夫故ニ第二項ヲ設ケテ檢事ノ作ッタ書面モ——詰リ檢事ノ捜査ノ爲メ作成シタル文書ハ讀上ゲテ本人ノ署名捺印アルモノニ非ザレバ裁判上ノ證據ト爲スコトヲ得ズ、斯ウスル、即チ豫審判事ガ書面ヲ拵ヘタト略、同一ノ形式ヲ履ヤルコトニシテ、檢事ノ捜査上拵ヘタ書面ノ效力アリトシタイト云フ修正意見デゴザイマシタ、ケレドモ是ハ少數ヲ消滅ヲ致シマシテ、即チ御手許ヘ迴ッテ居ル修正案ガ多數ヲ以テ決セラレマシタノデゴザイマス、此段經過結果ヲ御報告致シマス

(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

(政府委員法學博士豐島直通君登壇)

○政府委員(法學博士豐島直通君) 刑法中改正法律案及刑事訴訟法中改正法律案ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテ政府ヨリ反對ノ意見ヲ述ベテ置キマシタガ、尙一應茲ニ同意ガ出來ナイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、先ツ刑法中改正法律案ニ付キマシテハ、此案ノマト、スル事實ト云フモノガ今日存在シナイト考ヘマスノデゴザイマス(ノウウ)ト呼フ者アリ)政府ニ於キマシテハ訴訟手續ノ上カラ生ジマス弊害ト云フモノハ、何處マデモ之ヲ絶滅シタイト云フコトニ努メテ居リマス次第デゴザイマス、然ルニ往々此司法警察官ナドノ不當ノ處分カラシテ、刑事上ノ訴追ヲスルトカ、又ハ其他ニ於テ懲戒ノ處分ニ附シタト云フ例ハ近頃ゴザイマシタ、併シ其事例ト云フモノハ承諾上留置ヲシテ置クト云フヤウナ不穩當ノ處置ヲ致シマシタニ基クノデゴザイマス、調ベラル、者ニ對シテ恐嚇トカ詐言ヲ用ユルト云フヤウナ、調ベラレル者ガ承諾ヲシナイデ不當ノ處置ヲ受クルト云フ事例ハゴザイマセヌ、(ノウウ)ト呼フ者アリ)皆承諾ヲ得テ居リマスル處置デゴザイマス、處分デゴザイマス(ノウウ)ト呼フ者アリ)サウ云フ承諾ヲ

得テ居ル處分ニ付テモ不穩當ト認メタモノニ付テハ懲戒ノ處分ヲ致シ、又ハ其他ノ處分ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ次第デゴザイマスカラ此案ノ適用ト云フモノハ將來無イ考デ居リマス、ツレカラ次ニハ刑事訴訟法中改正法律案ニ付キマシテハ、是ハ手續ノ進行ヲ止メテシマフヤウナ結果ニナリマス、此判決ヲスル上ニ於キマシテモ、又ハ判決以外ノ裁判ヲスル上ニ於キマシテモ、檢事司法警察官ノ搜索書類ト云フモノガ證據ニナラナケレバナラヌト云フコトハ、モウ手續ヲ進行スル上ニ最モ必要ナノデゴザイマス、ツレカラ又證據ニナラヌト云フコトニナリマスレバ、今日豫審ノ無イコロノ區裁判所ナドニ豫審判事ヲ澤山置カナケレバナラヌ、總テ區裁判所ノ事件ニハ豫審ヲ經テト云フコトヲ定メナケレバナラヌ、サウナリマスルト豫審判事ヲ置キマスルニ付テ、百万圓カラノ經費ガ要リマスノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ六七十万圓ノ經費ヲ要スルト申上ゲタト思ヒマスレドモ、段々考ヘテ見マスルト百万圓位ノ經費ヲ要スルノデアリマス、手續進行ノ上カラ致シマシテモ亦經費ヲ要スル上カラ致シマシテモ、此改正案ニ同意スルコトハ出來ナイノデアリマス、ツレカラ最後ニ申述ベテ置キタイト思ヒマスルノハ、先程委員長ヨリ御報告ニナリマシタ豫審判事司法大臣ガ命ジマス場合ニ於キマシテ、檢事ノ意見ヲ聞クト云フ價例ガアルト云フ點デゴザイマス、是ハ裁判所構成法施行前ヨリ致シマシテ、今日ノ事務章程ト云フモノニ當リマスモノノ規定ガゴザイマシタ、ツレ以後今日マデ事務章程ト云フモノニ規定サレテ居リマス、斯ウ云フモノヲ廢シテ宜イカドウカハ尙研究シマスレドモ、多年規定ノ上ニ存シテ居リマスルコロノモノヲ、今日突然廢シテシマフ譯ニハ參リマセヌ、此點ヲチヨット附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○中村啓次郎君 唯今政府ニ於テ反對ノ意見ヲ表明サレマシタガ、餘リ有方ナル意見トモ認メマセヌカラ、兩案トモ議會ノ順序ヲ省略シ、直チニ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕〔反對〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナクハ中村君カラ——尾崎君ノ反對ハ議會省略ニ反對デスカ

〔原案ニモ反對〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 今中村君ヨリ議會省略ノ動議ガ出マシテ、議會省略ニ反對ガアリマスカラ、採決致シマス、議會省略ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(奥繁三郎君) 少數デゴザリマス、ツレデハ議會ハ省略スルニ決シマシタ、是ハ一括シテ委員長報告ニ付テ採決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

刑法中改正法律案(宮古啓二郎君外六名提出)

確定議

刑事訴訟法中改正法律案(宮古啓二郎君外六名提出)

確定議

○議長(奥繁三郎君) 併シ反對ガゴザイマシテ、且ツ重要ナ問題デゴザイマスカラ採決致シマス、委員長報告ニ贊成諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(奥繁三郎君) 多數、過半数ノ決議デ委員長報告通リ可決確定サレマシタ

〔著席ノ人ガ八十八名デスガ差支アリマセヌカ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 制規ノ數ガアルト認メマスレドモ、ツレガ若シナイト云フコトナラバ唯今決議ヲモウ一應採リマセウカ

〔「不必要々々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 決議致シマシタ時ニハゴザイマシタ、次ノ日程ニ移ル管デゴザイマスガ、次ノ日程ニハ政府ヨリ委員長報告ニ反對ノ意見モアリ、尙其時ニハ討論ノ通告ヲナサレテ居ル方モアリマス故ニ、是ハ本日ハ是限リニ措イデ、次ノ本會議ノ日ニ緩々ヤルコトニ致シマス、チヨット報告ガアリマスカラ暫ク……

〔書記朗讀〕

一政府ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

大正三年臨時事件費支辨ニ關スル法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

警部警部補巡查及看守長看守ノ待遇改良ニ關スル建議案

提出者 森田 小六郎君

○議長(奥繁三郎君) 委員ノ氏名ト次ノ日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス、本日は是ニテ散會

午後五時二十六分散會

衆議院議事速記録第八號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
九八	上	二一	四千	九千	同	下	八	範圍	版圖
同	上	三三	生産	生靈					